

極秘

上海再編成案

昭和十七年十二月

上海市政研究會

配布番號

第205號



0008384000

0008384-000

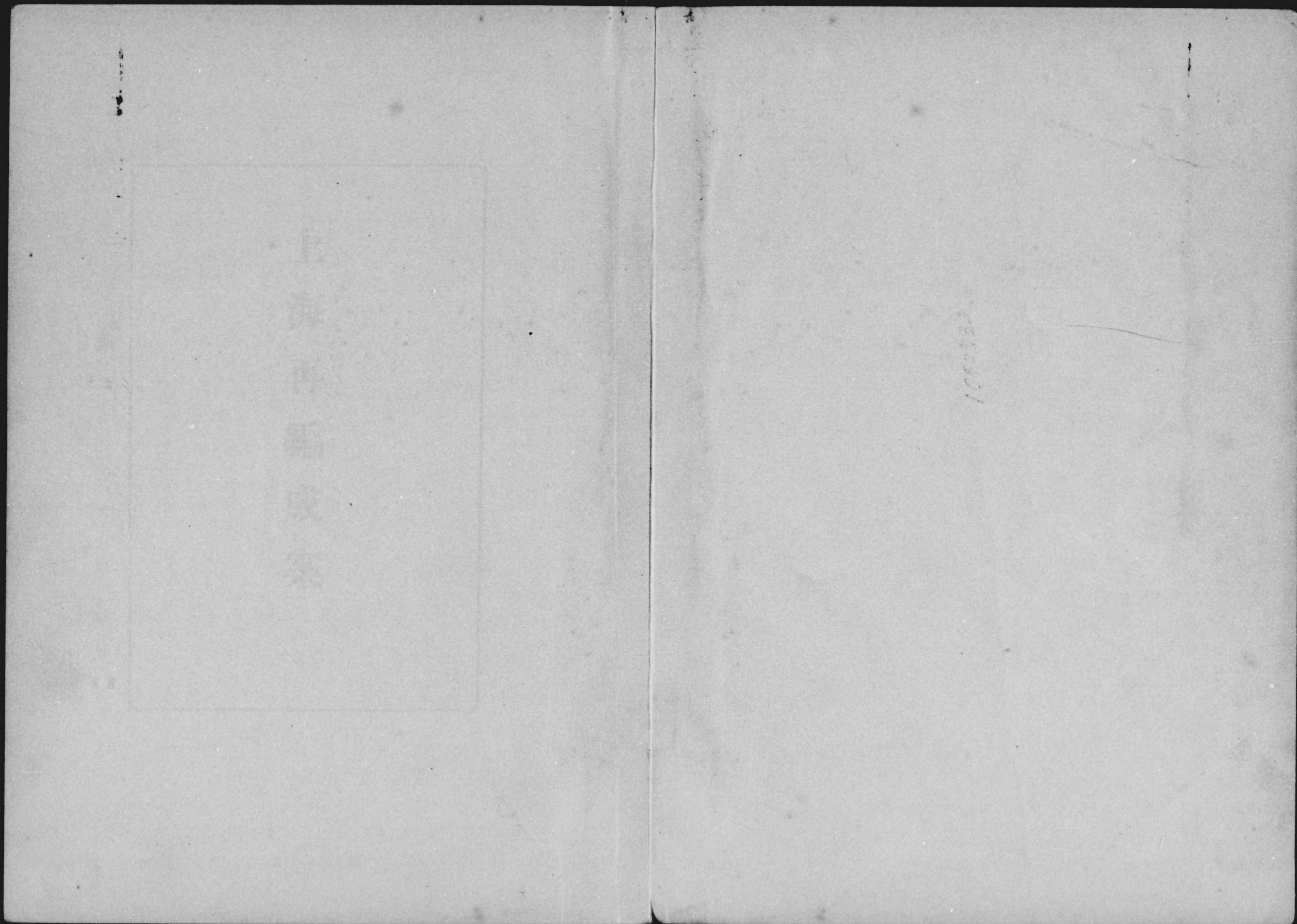
AZ-641-8

上海再編成案

上海市政研究會

1942

ABH



上海再編成案

1000335

AZ
641
8



1000332

例言

- 一、本書ハ大東亞戰爭勃發後約一箇年ニ亘リ上海市政研究會ガ大東亞戰爭完遂竝ニ大東亞共榮圈確立ノ見地ヨリ上海再編成ニ關スル方針及ビ措置要領ニ就キテ調査起案シ關係當局ニ施策ノ參考資料トシテ提出シタルモノヲ輯録シタリ。右起案ニ當リ討議ノ基礎トナリタル諸論稿及ビ諸資料ノ中若干ハ方針及ビ措置案ノ理解ニ便センガ爲夫レ夫レノ款項下ニ之ヲ併セ收メタリ。
- 二、本書中上海再編成ニ關スル基本方針ハ總務委員會、通貨・金融・物價ニ關スルモノハ第三委員會、物資交流ニ關スルモノハ第四委員會、運輸ニ關スルモノハ第五委員會、公共事業ニ關スルモノハ第六委員會、敵産處理ニ關スルモノハ第九(特別)委員會、文化ニ關スルモノハ第八委員會夫レ夫レ分擔シ之ガ調査起案ニ當レリ。
- 三、本書ハ首メニ上海再編成ニ關スル基本方針案ヲ掲ゲ、次ニ第一款ヨリ第五款マデ金融・物資及物價・運輸・企業・文化ノ五款ニ分テテ措置案及ビ其ノ參考資料ヲ採録シ讀者ノ見易キヲ期シタルモ、各案ハ夫レ夫レ作成ノ時期ヲ異ニスルタメ編成替ノ現實ニ照應シテ其ノ間自

ラ不同アリ。仍テ各案ニハ提出ノ時日ヲ明記シ其ノ次第ヲ瞭カニシタリ。

四、本書収録ノ方針及ビ措置要領案ニ就テハ既ニ纏メテ「上海再編成ニ關スル方針及措置要領(案)」上下二卷トシ之ヲ關係當局ニ提出シタルガ其後軍官人事ノ異動アリ新タニ本會事務局ニ之ヲ需ムルトコロ尠カラザルヲ以テ茲ニ稍々體裁ヲ整ヘ再編輯シ印刷ヲ以テ謄寫ニ代ヘ其ノ要請ニ應ヘントスルモノナリ。

五、本書編纂ノ主旨ハ關係當局者施策ノ參考ニ供センガ爲ニシテ固ヨリ公表ノ意ナシ。本書ニ収録セラレタル施策ノ對象ハ既ニ歴史的事實ニ入レルモノ尠カラザルモ、尙本書ノ取扱ニ關シテハ十分ノ注意アラシコトヲ乞フモノナリ。

昭和十七年十二月八日

編者識

目次

例言

上海再編成ニ關スル基本方針(案)

- 一、上海再編成ニ關スル基本方針……………(一)
- 二、說明……………(二)
- (一)軍需物資ノ調達並軍自治ニ對スル役割……………(六)
- (二)占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割……………(七)
- (三)對日滿北支並ニ對南洋民需物資供給地トシテノ役割……………(九)
- (四)大東亞共榮圈物資集散地トシテノ役割……………(二)
- (五)戰後ニ於ケル我が世界政策遂行ノ據點トシテノ役割……………(三)

第一款 金融

第一項 通貨ニ對スル措置要領(案)

- 一、通貨ニ對スル措置要領……………(一七)

二、說明……………(10)

(一)中支通貨改革ノ根本的視角……………(10)

(二)中支通貨ノ急速ナル統一ノ必要及可能性……………(11)

(三)等價兌換回收及流通許容力切下引換回收及流通禁止力……………(12)

(四)本案ノ具體的說明……………(13)

(五)通貨ノ處理ト金融機構ノ再編成……………(14)

參考資料

中支通貨ニ關スル措置(別案)……………(15)

第二項 金融ニ關スル措置要領(案)

一、金融ニ關スル措置要領……………(16)

二、說明……………(17)

(一)東亞興業銀行ノ創設……………(17)

(二)在支事業法ノ制定……………(18)

(三)上海證券取引所ノ改組再開……………(19)

(四)法制ノ整備……………(20)

參考資料

在支事業法案要綱……………(21)

第二款 物資及物價

第一項 物資交流ニ關スル措置(案)

一、物資交流ニ關スル措置……………(22)

二、說明……………(23)

(一)大東亞戰爭ニヨル上海對外貿易ノ變化……………(23)

(二)ストック物資ノ處理……………(24)

(三)對奧地物資交流ノ促進……………(25)

參考資料

一、揚子江下流軍占據地域物資移動取締暫行規定……………(26)

二、工部局ノ物資統制……………(27)

第二項 物價ニ關スル措置要領(案)

一、物價ニ關スル措置要領……………(28)

二、說明……………(29)

參考資料

一、中支物價統制要綱試論……………(30)

二、中支物價問題試論……………(31)

三、工部局價格統制概要……………(32)

第三款 運輸

第一項 上海港港務行政機構再編成措置(案)……………(33)

- 一、上海港港務行政機構再編成措置要領—第一案—……………(三一)
- 二、說明……………(三四)
- (一)上海港々務行政機構ノ現状……………(三四)
- (二)上海港々務行政機構再編成理念並方針……………(三五)
- 三、上海港々務行政機構再編成措置要領—第二案—……………(三三)
- 第二項 ジヤンク動員ニ關スル措置要領(案)……………(三七)
- 一、ジヤンク動員ニ關スル措置要領……………(三七)
- 二、說明……………(三三)
- (一)外洋ジヤンクノ動員……………(三三)
- (二)内河民船ノ動員……………(三六)
- (三)輸送力擴充強化ニ關スル其ノ他ノ措置……………(四一)
- (四)ジヤンク動員ニヨル輸送力增強ノ限界性……………(四四)

第四款 企業

- 第一項 新敵産處理ニ關スル方針及措置要領(案)……………(四七)
- 一、新敵産處理ニ關スル方針及措置要領……………(四七)
- 二、說明……………(五一)
- (一)新敵産ノ合理的取得……………(五一)
- (二)新敵産ノ統一の運營……………(五三)

- (三)新敵産經營ノ具體的方法……………(五五)
- (四)關係アル二、三ノ問題……………(五七)

參考資料

- 新敵産ニ關スル諸資料……………(五九)
- 一、陸海軍最高指揮官布告(三月二十日)……………(五九)
- 二、軍管理企業監督規定(案)……………(六一)
- 三、軍直接管理十五工場ノ民間委託……………(六八)
- 四、委任軍管理工場事業場處理區分表……………(六九)
- 五、委任軍管理工場事業場處理區分表(第二次之部)……………(七五)
- 六、委任軍管理工場事業場處理區分表(第三次之部)……………(八三)
- 七、委任軍管理工場事業場處理區分表(第四次之部)……………(八七)
- 八、碼頭及倉庫……………(八九)
- 九、銀行……………(九〇)
- 十、保險會社……………(九一)
- 十一、敵産事務所用建物管理規定……………(九三)
- 第二項 敵國水租權ノ處理ニ關スル措置要領(案)……………(九七)
- 一、敵國水租權ノ處理ニ關スル措置要領……………(九七)
- 二、說明……………(一〇三)

參考資料

上海ニ於ケル土地永租權……………(三二七)

第二項 公共事業ニ關スル措置要領(案)……………(三五)

公共事業ニ關スル措置要領……………(三五)

(一)方針……………(三五)

(二)措置要領(全般的)……………(三六)

(三)措置要領(業種別)……………(三九)

第五款 文化

第一項 上海文化問題ニ對スル意見書……………(三五)

序……………(三五)

(一)日本文化機關進出ノ必要……………(三五)

(二)上海ニ於ケル日本文化界ノ強化……………(三五)

(三)日本側文化關係當局ノ問題……………(三六)

(四)中國側知識階級ノ獲得……………(三七)

(五)中國側教育機關ノ問題……………(三七)

(六)既存研究機關並ニ資料ノ保存……………(三九)

第二項 上海ニ於ケル放送事業ノ再編成措置(案)……………(六一)

一、放送現態ノ檢討……………(六一)

(一)現地放送事業ノ意義……………(六一)

(二)放送事業ノ現況……………(六一)

(三)大東亞戰前トノ比較……………(六三)

(四)英語放送ノ存在理由……………(六五)

(五)餘論……………(六六)

二、放送事業ノ再編成試案……………(六八)

上海再編成ニ關スル基本方針

上海再編成ニ關スル基本方針(案)

(昭和十七年二月二十七日提出)

一、上海再編成ニ關スル基本方針

大東亞戰爭ノ完遂及大東亞共榮圈ノ確立ノ爲我方ガ上海ヲ利用スルニ當リテハ、上海ノ自然的立地條件ノ優越性、其ノ豊富ナル經濟的遺産並ニ其ノ特異ナル行政機構等ヲ考慮ニ入レ、上海ヲシテ

- (一) 軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割
 - (二) 占據地經營ヲ通ジテ對重慶攻勢ニ對スル役割
 - (三) 對日滿北支並ニ對南洋民需物資供給地トシテノ役割
 - (四) 大東亞共榮圈內物資集散中心地トシテノ役割
 - (五) 戰後ニ於ケル我方世界政策遂行ノ一據點トシテノ役割
- 等ヲ演ゼシムルコトトシ右目的ノ爲必要ナル上海ノ再編成ヲ行フモノトス。

上海再編成ニ關スル基本方針

二、說 明

茲ニ帝國ガシンガポールノ陥落ヲ以テ大東亞戰爭ノ第一期ヲ勝利的ニ完結シ更ニ光榮アル第二期ニ突入セントスルニ當リ、上海ニ於テハ皇軍ノ平和的租界進駐ヲ發端トシテ諸般ノ緊急措置ヲ成功裡ニ結了シ更ニ本格的施策ノ推進ニ移行スルノ時期ニ際會セリ。仍テ全般的事態ノ推移竝ニ將來ノ展望トノ關聯ニ於テ上海再編成ノ問題ヲ提起シ以テ、當路ノ施政ノ參考ニ供セントス。

惟フニ大東亞戰爭ノ完遂竝ニ大東亞共榮圈ノ確立ノ道程ニ於テ上海ノ演ズベキ役割ヲ檢討スルニ際シテハ考慮ヲ要スベキ點ニアリ。即チ

(一) 上海ノ自然的立地條件

(二) 上海ノ經濟的遺產

(三) 上海ノ特異ナル行政機構

之ナリ。

一、上海ノ自然的立地條件

上海ガ長江ノ門口ヲ扼シ其ノ本支流並ニクリーク網ヲ通ジテ豐穰ナル生産ト麗大ナル消費トヲ併有スル背後ト緊密ナル連繫ヲ有スルト共ニ沿海航路及ビ遠洋航路ヲ以テ東亞及ビ世界ノ各港ト連絡シ對外交通ノ要衝ヲ爲シ、以

テ内外物資ノ集散ヲ掌リタルハ言フ迄モナシ。而シテ斯カル優越セル地理的條件ハ我方接收後ト雖モ不動ニシテ今次戰爭ノ進展ト共ニシンガポール、マニラ、バタビヤ、ラングーン等ノ南方諸港ガ我方支配下ニ入り來ル時上海ノ此ノ立地條件ノ優越性ハ新ナル脚光ノ下ニ我々ノ眼前ニ表ハレ來レリ。

二、上海ノ經濟的遺產

上海ガ歐米資本ノ百年ニ亘ル對支活動ノ策源地タリシ必然的結果トシテ碼頭、倉庫、公共事業設備、工場等ノ物的施設並ニ金融商業機構等ノ麗大ナル經濟的遺產ヲ提供セルハ敘説スル迄モナシ。而シテ斯カル遺產ハ長年月ノ蓄積ノ所産ニシテ事情ガ一變シタリト雖モ遽カニ東亞ノ他ノ地點ニ代替物ヲ求メ得ベキモノニアラズ。勿論之ヲ單ナルストラツトシテ利用スルコトモ場合ニ依リテハ已ムヲ得ザレドモ、施策宜シキヲ得テ之ヲ再編成シ東亞ノ經濟的復興ノ有力ナル足場トスルコトモ亦可能ナリ。

三、上海ノ特異ナル行政機構

所謂共同租界並ニ佛租界ノ特異ナル行政區域ヲ濫床トシテ列國資本ト民族資本トノ渾一體ガ上海ニ生成發展シ、以テ中國經濟ノ中樞ヲ形成スルニ至リタルハ何人モ之ヲ認ムル所ナリ。尤モ、租界行政ノ主導權ガ從來英米ニ掌握セラレ居タル結果、支那事變ノ勃發後ハ該區域ハ英米ノ援行爲ノ基地ト化シ、所謂敵性租界トシテ我方事變完遂ノ障礙物トナリ居タルハ周知ノ如シ。今ヤ十二月八日ノ皇軍進駐ヲ劃期トシテ斯クノ如キ敵性ハ芟除セラルルニ至リ、却ツテ列國協働及日支提携ヲ建前トシツツ其ノ間帝國ノ指導意志ヲ貫徹スルニ便宜ナル機構ニ化シツツアリ。

以上ノ諸點ヲ考慮ニ入レ大東亞戰爭ノ完遂及大東亞共榮圈ノ確立ノ爲我ガ方ガ上海ヲシテ演ゼシムベキ役割ヲ檢討スルニ概ネ次ノ諸項ニ要約シ得ベシ。即チ

- (一)軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割
 - (二)占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割
 - (三)對日滿北支並ニ對南洋物資供給地トシテノ役割
 - (四)大東亞共榮圈內物資集散中心地トシテノ役割
 - (五)戰後ニ於ケル我ガ世界政策遂行ノ一據點トシテノ役割
- 之ナリ。以下各項ニ付キ檢討スベシ。

(一)軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割

對米英戰爭ノ開始ト共ニ支那事變ノ完遂、大陸經營ノ推進ハ益々其ノ重要性ヲ加ヘ來レリ。惟フニ事變ノ根本的解決ガ世界的規模ニ於テノミ可能ナルコトハ夙ニ指摘セラレ來リタルガ、今次戰爭ノ開始ニ依リテ此ノ待望セラレタル世界的規模ニ於ケル事變ノ根本的解決ハ遂ニ着手セラレタルモノト言フベク、開戦ト共ニ軍事行動ハ支那大陸ヨリ南洋及ビ太平洋ニ迄擴大セラレタルモ解決ヲ要スル問題ノ基幹ハ依然トシテ大陸ニアリ。支那事變ノ完遂、大陸經營ノ推進ハ大東亞戰爭遂行ノ不可分のナル一環トシテ更ニ一段ノ努力ヲ傾注スベキモノトス。斯クテ支那ニ於ケル皇軍ノ作戰目的完遂ノタメ其ノ支配下ノ凡テノ經濟基地ヲ軍需物資ノ調達並ニ軍自活ノ手段

トシテ動員スベキガ第一ノ要諦タルハ固ヨリ疑フベカラズ。特ニ大東亞戰爭ノ戰線ハ未曾有ニ廣汎ニシテ軍需物資ノ必要量ハ巨額ニ達シ且之ガ輸送ニ困難ヲ感ズル際ニ當リ、大陸ニ於ケル現地軍ガ可及的ニ其ノ所要物資ヲ現地ニ於テ調達シ、能フ限り軍自活ノ方途ヲ講ゼザルベカラザルハ當然ナリ。茲ニ於テ新タニ我ガ支配下ニ入りタル上海共同、佛租界モ亦其ノ保有シタル物資ノ徵發ニ依リ、或ハ現存生産設備ノ運營ニ依リ、更ニ或ハ其ノ特異ナル物資輸移入力ノ利用ニ依リ斯種目的ノ達成ニ役立テシムルハ肝要ナリ。

然レ共大東亞戰爭ハ長期戰ノ覺悟ヲ必要トシ、其ノ一環トシテノ支那事變ノ根本的解決モ亦政戰兩様ノ長期拮据經營ヲ要スルハ瞭カナリ。茲ニ於テ軍需物資ノ現地調達並ニ軍自活モ亦既往ハ蓄積ハ徵用ハミヲ以テ足レリトセズ、寧ロ今ニ於テ其ノ長期ニ亘ル繼續的供給ヲ企劃シ其ノ源泉ハ培養ヲ志向セザルベカラズ。而シテ上海ハ其ノ背後地ハ固ヨリ全支並ニ海外諸邦トノ關聯ニ於テ物資ノ大量集散ノ機能ヲ有スルノミナラズ都市トシテハ支那最大ノ生産力ヲ備フルモノナルヲ以テ、施策宜シキヲ得テ之ガ復興活用ヲ計ルニ於テハ斯種供給力モ亦從ツテ倍化スル可能性ナシトセズ。今次戰爭ノ真相ニ徹シ上海ニ對スル我ガ方恒久措置ヲ企劃スルニ當リテハ此ノ點先ヅ着意スルノ必要アリ。

(二)占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割

支那事變ガ抗日蔣政權ニ對スル武力膺懲戰タルト共ニ其ノ半面占據地域ノ長期建設戰タルベキハ屢々宣明セラレタル所ニシテ、對重慶攻勢ハ軍事的ノミナラズ、政治的、經濟的或ハ文化的ニモ展開セラレ來レリ。今ヤ大東亞

戰爭ノ勃發ガ大陸處理ノ意義ヲ益々重大ナラシメツアルニ當リ、對重慶攻勢ノ一槓杆トシテノ占據地經營ノ前進モ亦益々重要性ヲ加ヘツツアリ。其ノ點ニ於テモ亦上海ノ役割ハ極メテ重大ナリ。即チ、上海ヲ據點トシテ中支占據區域、進ンデハ全支占據區域ノ統一的且強力ナル經營ノ爲ニ邦人資本ノ總動員ヲ計畫化シ、英米等敵國資本並ニ敵性華人資本ノ蠢動ヲ封鎖スルト共ニ、從來抗日蔣政權存續ノ物質的支柱ヲ形成シ來リタル上海華人資本ノ轉向ヲ促進シ、彼等ヲシテ英米資本ト結合シタリシ場合ノ如キ單ナル利己私益ノ立場ヲ放棄シ大東亞建設ノ共同責任者トシテ忍ブベキハ忍ブノ態度ニ改悛セシメ、以テ對重慶經濟攻勢ヲ強化スルハ必要ナリ。其ノ際既成ノ支那財閥ニ秋波ヲ送ルハ罷メ寧ロ我方獨力ニテ事業ヲ經營スルノ覺悟ヲ第一トシ、必要上日華合辦ヲ行フニ當リテモ一層合作精神ノ高揚ヲ志向シ以テ我方ノ援助ニ依リテ新興財閥ヲ勃興セシムルガ如ク着意スルノ要アルベシ。

而シテ上海ノ經濟ヲ把握スルハ實ニ大東亞戰爭遂行中ニ於ケル對重慶攻勢ノ一手段トシテ重要ナルノミナラズ、實ニ我帝國ノ東亞乃至世界ニ於ケル立國ノ條件トシテ一層ノ重要性ヲ有スルモノナリ。蓋シ帝國ガ東亞永遠ノ和平確保ノ中心的勢力トシテ恒久的ニ歐米諸勢力ニ對峙センガ爲ニハ、東亞ノ諸民族就中最大ノ人的資源ト根強キ文化トヲ保有セル支那民族ノ制御進ンデハ其ノ協働ヲ贏チ得ルコトヲ絕對必要トシ、之ガ爲ニハ武力的並政治的手段ト共ニ其ノ國民性及國家機構ニ照シ經濟的把握ヲ最モ有效ナル手段トス。今上海ガ從來共支那經濟ノ中樞ニシテ今後我方ノ施策ニシテ宜シキヲ得レバ其ノ全支經濟ニ對スル關係ノ一層重要味ヲ加フベキニ想到スレバ上海經濟ノ把握ガ我方大陸經營ノ要訣タルヲ知ルベシ。

驟ツテ我方占據地經營ノ躍進ヲ通ジテノ對重慶攻勢ノ展開ハ經濟部面ヲ中核トスト雖モ單ニ同部面ニノミ限ルモノニアラズ、政治的或ハ廣ク文化的攻勢モ之ヲ併セ行ハザルベカラズ。此ノ點ニ關シテモ上海ノ特異ナル行政機構、或ハ其ノ豐潤ナル文化的遺産ハ取リテ以テ我方獨自ノ立場ヨリ再編成シ之ヲ抗日政權打倒ノ武器ニ利用スルト共ニ、進ンデハ右ヲ通ジテ上海ヲ大東亞ノ政治的文化的據點ノ一ニ迄育成スルハ必ズシモ不可能ニアラザルベシ。

(三)對日滿北支並ニ對南洋民需物資供給地トシテノ役割

支那事變ノ大東亞戰爭ヘノ轉回ト共ニ日本並ニ滿州北支ハ益々其ノ主力ヲ軍需物資ノ生産ニ傾注シ、又其レニ必要トスル基幹産業ノ擴充ニカメツツアリ、一般民需品製造部門ハ勢ヒ第二義的トナレリ。固ヨリ中支モ亦重工業原料品ノ對日供給ノ爲相當ノ寄與ヲ爲シ來リ且今後益々之ヲ増大スベキモノナレドモ、東亞共榮圈ノ經濟運營ノ大局ヨリ見レバ中南支經濟ノ特性ヲ利用シテ一般民需品ノ對日滿北支並對南洋供給ニ就キテモ考慮ヲ加ヘザルベカラズ。支那農村ノ供給原料ヲ脱ミ合セツツ紡績、製粉、卵製品其他雜貨ノ製造業ニ就キテハ、之ヲ單ニ支那内部ノ自給自足ニ役立テシムルノミナラズ、更ニ進ミテ東亞共榮圈ニ對スル供給ノ方途ヲ考案スベキモノトス。從來邦商ノ上海進出ハ概ネ日本製品ノ對支賣込ヲ目的トシタルモノニシテ、在華紡其他ノ工業移駐モ亦其ノ轉形ニ過ギズ。支那土產ノ加工對日供給ノ如キハ支那事變ノ開始後漸ク問題化サレ初メタル狀態ナリ。固ヨリ其ノ原因ノ一半ハ日本産業ノ構成並ニ支那土產ノ種類ニ據リタルモノナレドモ、日本産業ノ構成ハ急速ニ變化シツツ

アリ支那土産ノ種類ヲ制約シタル歐米商人ノ對支活動亦停止シタル今日、東亞共榮圈就中對日滿北支輸出ヲ阻害シタル他ノ諸條件ヲ調整シテ物資交流ノ計劃的促進ヲ計ルニ於テハ其ノ前途必ズシモ望ミナキニアラス。上海ハ斯カル物資供給ノ主動地トシテノ役割ヲ果サザルベカラズ。言フ迄モナク斯カル施策ノ成果ハ之ヲ性急ニ期待スルヲ得ザルモ、他面大東亞戰爭ノ展望ハ長期ニシテ其ノ日本經濟ニ與フベキ影響ノ深度ハ固ヨリ之ヲ覺悟セザルベカラズ。茲ニ於テ物資供給ノ對日期待ニ終始シタル上海及中支ハ一轉シテ其ノ對日供給ノ方途ヲ講ズルヲ要スルモノニシテ、其レガ爲今大租界進駐後我方ニ接收シタル生産設備ヲ利用スルハ勿論、内地遊休設備ノ上海移駐運營ヲモ考慮シ、之ト背後地原料供給ノ増進トヲ併セ計劃化シテ、銑後充實ノ一助トスルハ正ニ焦眉ノ急務ナリ。

次ニ南方諸邦ハ從來英米並ニ日本内地及上海等ニ其ノ生活必需品、主トシテ輕工業品ノ供給ヲ依存シ且之等ニ對シ其ノ重要原料ヲ輸出シ來リタルモ、今後ハ主トシテ日本内地上海ニ其ノ供給ヲ俟タザルヲ得ズ。本邦亦新タニ南洋諸邦ヨリハ龐大ナル軍需物資輸入ニ對スル決濟手段トシテ同方面ヘノ民需物資供給ヲ必然的ニ要求スルニ至ルベシ。固ヨリ通貨工作面ニ於テモ各地發券銀行及金融機關等ヲシテ本邦輸入代金ノ決濟ヲ援助セシムベキモ、永キニ彌リテハ通貨工作ノミヲ以テシテハ足ラザルコト瞭カナルヲ以テ、結局ハ物資ノ供給ヲ以テ決濟セザルヲ得ズ。然レ共最近ノ我國對佛印泰貿易ヲ見ルモ明瞭ナル如ク日本内地ノ民需品輸出ニハ限度アリ、斯カル場合土地ト勞力ノ豊富ニシテ運輸ノ便多キ上海ノ物資供給地トシテノ役割ハ極メテ大トナルベシ。更ニ南洋諸邦ノ經濟中ニハ華僑ノ力強ク、之等ハ主トシテ華僑送金並ニ上海及南支諸港トノ貿易ニ依リテ支那經濟ニ結バレアリ

タルガ、華僑送金ガ重慶政權ノ抗戰力ノ重要要素タリシハ周知ノ如クニシテ今後之ヲ完全ニ我方ニ把握スルハ對敵攻勢ノ重大ナル一要素タルベク、進ンデ此ノ送金ヲ南洋ニ對スル我方貿易ノ決濟ニ利用スル必要アリ。而シテ之ガ順調ナル回轉ノ爲ニハ資金ヲ物資ニテ裏付ケルコト必要ニシテ、之ヲ爲スモノハ從來今後共上海製品タルベシ。

(四)大東亞共榮圈内物資集散中心地トシテノ役割

惟フニ上記ノ如キ軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割モ、占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割モ、或ハ對日滿北支並ニ對南洋物資供給地トシテノ役割モ、共ニ上海ヲ大東亞共榮圈内ノ中心の物資集散地トシテ發展セシムルコトニ依リ愈々十全ニ遂行セラルルモノナリ。蓋シ、上海ノ優越性ハ其ノ立地條件ヨリシテ、其ノ設備ノ蓄積ヨリシテ、其ノ金融商業機構ノ集中ヨリシテ、内外物資ノ龐大ナル吞吐力ヲ有スル點ニアリ。豫定セラルル大東亞共榮圈ノ地域ハ廣大ナリト雖モ人口四億五千萬ヲ擁スル支那ノ生産力消費力ニ匹敵スルモノハ他にナク、而シテ上海ハ此ノ最大ノ消費地ニ通ズル最適ノ供給路タルト同時ニ豐富ナル奥地物産ノ搬出路タル長江ノ門口ニ位スルモノニシテ、且東亞ノ地勢上略々中央ニ居ヲ占メ物資集散市場トシテ實ニ恰當ナル立場ニアリ。之ヲ活用シテ大陸ニ或ハ南海ニ作戰スル皇軍ノ所要物資調辨ニ資セシムルト共ニ、更ニ大東亞共榮圈經濟確立ノ撥條タラシメザルベカラズ。

大東亞共榮圈經濟ノ具體的構想ハ未ダ其ノ詳細ニ接セザルモ、諸般ノ措置ノ累積ハ勢ノ赴クトコロ東京ヲ爲替、

金融ノ中心トシ、上海ヲ物資集散ノ中心地トシテ之ヲ編成スルニ至ルガ如シ。雄大ナル構想、逞マシキ意欲ハ今ヤ帝國ノ内外ニ醜態シツツアリ、上海亦目前ノ困難ニ壓倒セラルルコトナク從來ノ物資搬出入統制等ニ再調整ヲ行ヒ以テ其ノ使命ノ達成ニ邁進スルヲ要ス。此ノ意味ニ於テ上海ノ演ズベキ役割ハ單ニ中支的或ハ全支的ナルノミニアラズ、洵ニ大東亞的ナリ。

既ニ上海ハ大東亞的役割ヲ課セラル。今ヤ事變勃發ヨリ十二月八日ノ前夜ニ至ル四箇年半ノ經略施策ハ言ハバ大東亞戰爭前段期ノ其レトシテ歴史的使命ヲ完了シタルモノト言フベク、其ノ豐富ナル經驗ト潤澤ナル教訓トヲ承繼シテ而モ新タナル構想ノ下ニ新タナル役割ノ遂行ニ移行スルハ目今ノ急務ナリ。斯クシテ例ヘバ上海ノ分立錯綜セル都市行政ニ對スル措置、其ノ周邊地域トノ間ノ物資交流狀況ニ關スル再檢討、産業計劃及勞務對策ノ樹立、通貨金融問題ノ解決、或ハ文化的諸問題ノ處理等々ノ如キ何レモ上海ノ大東亞的役割ノ視角ヨリ取上グル必要アルニ至レリ。

(五)戰後ニ於ケル我が世界政策遂行ノ據點トシテノ役割

大東亞戰爭ハ今ヤ漸ク其ノ第一期ヲ完結シタルニ止リ、其ノ前途ノ展望ハ疑モナク長期戰ナリ。然レドモ我々ハ帝國ノ徹底的勝利ハ後ニ何時ノ日カ平和ハ克復スルヲ豫期シ、戰爭遂行中ニ於ケル諸施設モ亦常ニ我が廣汎ナル戰後經略トハ連關ニ於テ之ヲ措置スルヲ要ス。特ニ上海ハ過去ニ於テ列國ノ對支活動ノ基地タリシモノニテ、戰後ハ其ノ形態ヲ異ニスルモ平和的通商其他ノ理由ニ基キ再ビ歐米勢力ノ渡來ヲ見ルベキハ豫メ想像スルニ難カ

ラズ。米英蘭白等ノ條約上ノ諸特權ハ廢棄セラルルトモ、上海ハ東西兩洋ノ諸邦ノ國際的商業地トシテ新タナル繁榮ノ相貌ヲ呈スルニ至ルベシ。斯クシテ帝國ガ上海ニ負ハシムベキ役割ハ戰後ニ於ケル我が世界政策遂行ノ一據點トシテノ役割ナリ。戰爭遂行中ニ於ケル上海ノ大東亞的役割ハ戰後ニ於ケル其ノ世界的役割ト不可分ノ連鎖ナリ。

上海ヲシテ再ビ歐米諸國ノ帝國主義的對支侵略ノ策源地タラシムルコトナク、而モ彼等ニ對シテモ東亞ニ於ケル平和的商業活動ヲ營ム限リニ於テハ上海ノ利用ヲ許容スベキハ帝國ノ方針ノ骨子トナルベシ。支那モ亦其ノ所要物資ノ輸入ノタメ同時ニ土產ノ輸出ノ爲單ニ東亞ノ諸邦ノミナラズ、歐米ノ諸國トノ通商ヲ再開スルニ至ルハ必然ニシテ、上海ハ其ノ貿易港トシテ之ヲ再興セザルヲ得ズ。問題ハ其ノ日ノタメニ確乎搖キナキ對策ヲ今ヨリ準備シ置クニアリ。惟フニ歐米ノ平和的通商ト帝國主義的侵略トハ實ニ紙一重ニシテ、之ガ排除ヲ保證スルモノハ我が方經濟實力ノ確立扶植ヲ措キテ他ニナシ。而シテ我が方對策ハ斯カル防衛的施策ニ止マルコトナク、進ンデ歐米トノ交流ヲ利用シテ世界ニ於ケル帝國指導權ノ確立ニ邁進セザルベカラズ。列國協働竝ニ日支提携ヲ建前トシツツ其ノ間帝國ノ指導意志ヲ貫徹スル爲ニ上海ヲ最大限ニ活用スルハ戰時戰後ヲ通ジテ我が方施策ノ基本タルベク、斯クシテ上海ハ我が世界政策遂行ノ一據點トナラントス。

右第一ヨリ第五ニ至ル役割ノ遂行ヲ上海ヲシテ果サシメンガ爲ニハ、日本の視角ヨリスル上海ノ全キ再編成ヲ必要トスルハ論ナシ。而シテ其ノ役割ノ重大且廣汎ナルニ照應シ再編成モ亦行政、財政ハ固ヨリ金融、貿易、運輸、公共事業、産業及勞働或ハ文化的諸部面ニ亘リ廣汎且綜合的ナルヲ要ス。加之、斯カル再編成ヲ通ジテ上海

ノ主觀的體勢ヲ一應整備シタル後ニ於テハ、更メテ其ノ周邊地區ハ固ヨリ廣ク全東亞トノ關聯ヲ調整スベキモノナリ。

茲ニ於テ首記ノ如ク上海再編成ノ方針ヲ起案シタル次第ナリ。

第一款 金融

第一項 通貨ニ對スル措置要領(案)

(昭和十七年三月二十五日提出)

一、通貨ニ對スル措置要領

最少限度ノ我方負擔ニ於テ現地派遣軍ノ所要物資ヲ調辨シ併セテ上海及中支占據區域ニ於ケル基幹的物資ノ交流及生産ヲ嚴格ナル我方規制下ニ置カンガ爲、上海ヲ中心トシテ中支占據區域一帯ニ亘リ物資交流及生産部面ニ於ケル諸般ノ統制ヲ推進スルト相俟チ、通貨部面ニ於テハ舊法幣使用ノ根絶、中央儲備銀行券ノ單一流通化ヲ強行スルコトトシ左記ノ如ク中支通貨ニツキ改革ヲ行フモノトス。

甲、基本措置

一、某月某日ヲ期シ命令ヲ以テ上海ヲ含ム中支占據區域内ニ於テ舊法幣ヲ使用スルコトヲ禁止ス。
違反者ハ嚴罰ニ處ス。

- 二、右發令ノ當日ヲ以テ前日迄ノ一切ノ舊法幣建債權債務ハ儲備券ニ對スル舊法幣ノ五割價值切下ノ下ニ儲備券建債權債務ニ切替ヲ行ハシム。
爾後舊法幣建ノ債權債務ハ一切之ヲ認メズ。
- 三、國民政府ハ儲備券建ノ舊法幣整理公債(五分利、十年据置、三十年償還)ヲ發行シ儲備券ニ對スル舊法幣ノ五割價值切下ノ下ニ之ヲ以テ舊法幣ヲ引換回收ス。
但シ銀行錢莊其他金融機關ノ手持舊法幣ニ對シテハ右公債引換ニ強制的ニ全額即時回收ヲ行ヒ一般民間ノ手持舊法幣ハ指定銀行錢莊ヨリ右公債賣出ノ方法ニヨリ之ヲ回收スルモノトス。
右公債ニ依ル舊法幣ノ回收ハ一箇月ヲ以テ打切り其後ハ如何ナル事情アルモ之ヲ行ハズ。
- 四、中央儲備銀行ハ金融機關タルト一般民衆タルトヲ問ハズ必要ト認ムル場合ハ之ニ對シ舊法幣整理公債ヲ抵當トスル貸付又ハ該公債ヲ抵當トスル手形ノ割引ヲ行フ。
右ト共ニ要スレバ租界内不動産及指定商品其他ヲ抵當トスル貸付ヲモ併セ行ヒ且強制買上物資ノ代金支拂其他ノ儲備券拂ヲ促進シ儲備券不足ニ依ル極端ナル金融阻塞ヲ防止スルモトス。
- 五、回收舊法幣ハ敵産トシテ我方方ニ於テ之ヲ處理ス。

乙、附帶措置

- 一、儲備券ヲ一定爲替レイトヲ以テ日本圓ニリンクセシム。

日本銀行ト中央儲備銀行トノ間ニ相互ニ夫レ夫レ右レイトニ依ル圓預金及儲備券預金ノ預合ヒヲ行ヒ我方方儲備券資金ノ獲得ニ便ナラシム(此ノ外我方方押收舊法幣ノ引換ニ依リ取得シタル舊法幣整理公債ハ甲四ニ基キ之ヲ抵當トシテ中央儲備銀行ヨリ儲備券ノ貸出ヲ受ク)。

- 二、成ルベク早キ時期ニ軍票ノ新規發行ヲ停止シ能フ限り儲備券ヲ使用ス。

既發軍票ノ價值維持ハ我方方儲備券資金ヲ以テ行ヒ從來ノ物資ニヨル軍票價值維持機構ハ漸次儲備券ノ價值維持機構ニ轉換ス。

- 三、上海ニ本店ヲ置ク日華合辦ノ民間商業銀行ヲ設立シ其ノ奧地支店網ヲ急速ニ整備シ右ラシテ中央儲備銀行トタイ・アツプシテ儲備券ノ奧地普及、内地金融爲替市場ノ我方方指導性確立竝ニ華人預金ノ大量吸收及我方方商工業所要資金ニ融通ノ資セシム。
中央儲備銀行ハ其ノ奧地支店ヲ漸次右銀行ニ移讓シ商業的業務ヲ營マザルコトトシ銀行ノ銀行ニ進ムコトトス。

- 四、儲備券ノ放出量増大ト共ニ漸次甲四ニ依ル貸出ヲ回收スルガ如ク措置シ其他ノ諸方法ト併セテ通貨調節ニ依ル物價安定ヲ期ス。

二、說 明

大東亞戰爭ノ完遂及大東亞共榮圈確立ノ爲我方ガ上海ヲ利用スルニ當リテハ、上海ノ自然的立地條件ノ優越性其ノ豐富ナル經濟的遺産並ニ其ノ特異ナル行政機構等ヲ考慮ニ入レ、上海ヲシテ

(一) 軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割

(二) 占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割

(三) 對日滿北支並ニ對南洋民需物資供給地トシテノ役割

(四) 大東亞共榮圈內物資集散中心地トシテノ役割

(五) 戰後ニ於ケル我方世界政策遂行ノ一據點トシテノ役割

等ヲ演ゼシムルコトトシ、右目的ノ爲必要ナル上海ノ再編成ヲ行フベキモノト思料シ、右ニ關シテハ嚮ニ提出セル「上海再編成ニ關スル基本方針(案)」ニ於テ之ガ詳細ナル説明ヲ試ミタリ。茲ニハ右方針ニ準據シ先ヅ主トシテ中支通貨ニ關スル改革ノ措置要領ヲ述ベントス。蓋シ通貨ニ對スル措置ハ其ノ性質上他ノ萬般ノ經濟的措置ノ基礎ヲ提供スルモノニシテ、其ノ措置如何ガ延イテ他ノ諸措置ノ内容ヲ規定スルニ至ルモノナレバナリ。

(一) 中支通貨改革ノ根本的視角

上海再編成ノ一部トシテ中支通貨ノ改革ヲ行フニ當リテハ、其ノ根本的視角ハ可能ナル最少限度ノ我方方負擔ニ於テ現地派遣軍ノ所要物資ヲ調辨シ、併セテ上海及中支占據區域ニ於ケル基幹的物資ノ交流及生産ヲ嚴格ナル我方方規制下ニ置カンガ爲、上海ヲ中心トシテ中支占據區域一帯ニ亘リ物資交流及生産兩方面ニ於ケル諸般ノ統制ヲ推進スルト相俟チ、通貨部面ニ於テ之ヲ掩護スベキ如何ナル施策ヲ行フベキヤニアラザルベカラズ。

惟フニ大東亞戰爭ハ軍事的ニハ大勝利ヲ以テ進展シツツアルモ、之ヲ可能ナラシムル爲日本産業ノ負ヘル負擔ハ未會有ニ歴大ニシテ日本國民ノ拂ヘル犠牲亦決シテ生易シキモノニアラズ。例ヘ南方占據區域ニ於テ我方方ノ入手セル諸種ストツクノ量ハ歴大ナリトモ現地作戰完遂ノ爲直チニ之ヲ使用スル量モ同様歴大ナルベク、又占取シタル諸種資源ガ如何ニ豐富ナリトモ之ヲ我方方生産擴充ニ寄與セシメ得ルニハ一定ノ時日ヲ要スルモノト見ザルベカラズ。我々ハ茲ニ相當ノ長期ニ亘リ困難ナル條件下ニ上海及中支占據區域ノ經營ヲ遂行シ、其ノ間我方方ノ最少ノ負擔ニ於テ軍所要物資ノ現地調辨ヲ強行スルノ覺悟ヲ必要トス。前記上海ノ役割モ亦差當リテハ(一)(二)(三)特ニ(一)ニ主點ヲ置キ可能ナレバ他ノ諸項ニモ留意スルコトトシ、將來之ガ成功的遂行ヲ基礎トシテ漸次全役割ノ完遂ニ進ムベキモノナリ。

斯カル立場ヨリスレバ中支經濟ノ健全化乃至中支民生ノ安定等ノ如キハ能フベクンバ之ガ實現ヲ希フハ勿論ナレドモ萬止ムヲ得ザレバ勢ヒ後廻シニセザルヲ得ズ。中支經濟ト言ヒ中支民生ト言フモ當面ハ大東亞戰爭完遂並ニ大東亞共榮圈確立ノ爲ノ我方方必要ニ寄與スル所無ケレバ所詮ハ縁ナキ衆生ナリ。從ツテ我方方トシテハ一面中支經濟及中支民衆ノ大部分ヲ我方方必要ニ寄與セシムル爲ノ積極策ヲ講ズルト共ニ、他面昔日ノ甘夢ヲ忘レズ利

己私益ニ狂奔シ大東亞戰爭完遂ノ共同責任分擔ヲ拒否スルガ如キ部分ニ對シテハ假借ナク一擊ヲ加フベキモノニシテ、現實ノ緊迫ハ再編成ノ手段ヲモ苛酷ナルモノトセザルヲ得ズ。尤モ斯ク言フハ我方大東亞戰ノ完勝コソ結局ハ新生支那ノ解放ヲ約束スルモノナルガ故ニシテ、同時ニ支那民衆ニ對スル「可愛イ子ニハ旅サセロ」ノ親心ヨリスルモノナリ。

既ニ我方方ノ援助ニヨリ成立シタル國民政府ノ中央發券銀行タル中央儲備銀行ヲ如何ニ育成シ且如何ニ利用シテ行クベキカノ問題モ斯カル視角ヲ離レテハ之ヲ取上グル能ハズ。即チ、儲備券ヲ如何ニシテ中支ノ支配的通貨トシツツ中支占據區經營ノ我方方必要ニ寄與セシメ行クカ、コレ問題ノ骨子ニシテ、其レニ對スル諸々ノ障礙ガ舊法幣ノ流通ニ依リテ惹起セラルルガ故ニ之ヲ適當ニ處理スルコトガ問題ノ他ノ反面ヲ構成スルモノナリ。而シテ中支占據區經營ノ我方方必要トハ第一ニハ我方方戰完遂ノ爲ニ我方方最少ノ負擔ニ於テ其ノ所要物資ヲ現地調辨シ、第二ニハ其レヲ可能ナラシムル爲ニ基幹的物資ノ交流及生産ヲ嚴格ニ規制シ、最後ニハ其等一切ノ圓滑ナル進行ノ爲ニ必要ナル限リニ於テ一般物資ノ交流ヲ促進シ行クノ三點ニ盡ルベシ。中央儲備銀行券ノ普及並ニ舊法幣ノ處置ハ右ノ施策ヲ掩護シ且拍車スルニアリ。

(二)中支通貨ノ急速ナル統一ノ必要及可能性

右ノ爲ニハ急速ニ中支通貨ヲ統一シ且我方方指導下ニ置ク必要アリ。蓋シ上海及中支占據區域ハ廣汎ナル非占據區域、特ニ重慶政權ノ通貨工作ニ依リ直接コントロールセラレ居ル地域ニ圍繞セラレ、前述ノ如ク大東亞戰ニヨリテ轉換ヲ必要トスルニ至リタル我方方施策ハ斯カル中ニ於テ之ヲ實施シ行クモノナリ。大東亞戰爭ノ勃發並ニ皇軍ノ租界進駐ト共ニ上海ハ重慶トノ連繫ヲ切斷セラレ我方方指導下ニ立ツニ至リタレドモ、重慶政權ハ逸早く我方方占據地域ヘノ法幣撤出禁止ヲ解除シ新事態ニ對處スル所アリ、斯クテ敵地區ト我方方占據地區トハ其ノ通貨的連繫ヲ通ジテ微弱ナガラ其ノ交流ヲ持續セリ。

然ルニ我方方施策ノ效果アル運營ノタメニハ、能フ限リ最小限度ノ我方方負擔ニ於テ軍所要物資ヲ調辨スル爲ニモ基幹的物資ノ交流及生産ヲ我方方規制下ニ置ク爲ニモ、現地ニ於テ通貨ヲ創造スルノ必要アリ。斯カル通貨ノ創造ハ上海及中支占據區域一帶ニ亘リ我方方指導下ノ發券銀行ノ發行スル紙幣ノミガ流通スル場合ニノミ可能ナリ。次ニ基幹的物資ノ交流及生産ヲ嚴格ナル我方方規制下ニ置カンガタメ物資交流及生産部面ニ於ケル統制ヲ推進スルニ當リテハ、占據區域特ニ上海ニ於テ諸金融機關ニ付其ノ資金放出ヲ統制スルノ必要アリ。斯カル資金統制モ亦我方方指導下ノ中央發券銀行ニ依ル通貨統一ヲ基礎トシテ該發券銀行ト全金融機關トノ連繫ヲ密ニシタル場合ニ於テノミ可能ナリ。更ニ前記ノ目的遂行ノ爲ニハ物價ノ安定ヲ必要トスルコト言フ迄モナク、其ノ爲物價統制ト共ニ通貨供給ノ調節ヲ行ハザルベカラズ。斯カル通貨調節ノ可能ナルタメニモ我方方指導下ノ中央發券銀行ニヨル通貨ノ統一ヲ必要トス。最後ニ物資ノ敵地流出、或ハ尠クトモ對敵地移出超過ヲ防止スルノ必要アルハ勿論ニシテ其ノ最大ノ保障ハ我方方指導下ノ中央發券銀行ニヨル通貨統一ヲ斷行シ敵側ヲシテ舊法幣ニヨル物資買付ヲ不可能ナラシムルニアリ。右ノ諸事情ヲ考慮シ急速ニ中支通貨ヲ統一シ且我方方指導下ニ置クヲ必要トス。然ラバ中支通貨ノ急速ナル統一ノ可能性アリヤ。此ノ場合第一ニ我々ノ念頭ニ置カザルベカラザルハ、我方方援

助ノ下ニ成立シタル中央儲備銀行ガ既ニ滿一年以上業務ヲ運營シ、上海及中支金融界ニ拔クベカラザル地步ヲ占メ、其ノ發行セル儲備券ハ今ヤ確乎搖ギナキ位置ニ坐セルノ一事ナリ。我々ハ中支通貨ノ我方指導下ニ於ケル統一ノタメニ茲ニ全ク新ナル通貨ヲ發行スルモノニアラズ、又ソノ必要ヲ認メズ。儲備銀行一年有餘ノ辛酸ヲ白眼視シ儲備券ノ取得竝ニ使用ヲ故意ニ拒否シ居リタル徒輩ガ事態ノ一變ニ狼狽シ、恰モ當面セル中支通貨ノ統一ノ問題ヲ全ク新ナル通貨ニヨリテ置換ヘルガ如キ措置ニ誘導セントスルハ笑止ナリ。問題ハ中央儲備銀行ノ育成強化竝ニ儲備券ノ普及ノ線ニ沿ヒテ解決スベキモノナルハ論ナク、然ルガ故ニ全ク可能性アルモノト言フベシ。

他方ニ於テ上海及中支占據區域ニ於テハ尙ホ其ノ流通ヲ許容セラルル舊法幣ノ處理ノ問題アリ。舊法幣ガ上海兩租界ノ特殊地位ニ授護セラレ重慶政權竝ニ授蔣諸國ト結付キ敵性經濟活動ノ仲介者タル役割ヲ果シ來レル敵性通貨タルハ言フ迄モナク、我方ガ其ノ流通ヲ許容シ來レルハ一面國際的協約ニ基ク租界權益ヘノ國際政治的願慮ニ基クト共ニ、他面之ヲ利用シテノ我方利益モ尠カラザリシニ據ルモノナリ。然ルニ今次戰爭ノ勃發ト共ニ、上海ノ香港其他ヲ通ズル敵地區竝ニ授蔣諸國トノ關係ハ切斷セラレ敵性經濟活動ハ中斷スルト共ニ、當地ノ發券銀行タリシ中交農四行及ビ平衡資金ノ操作ニ依リ舊法幣ヲコントロールシ居タル敵性外國銀行ノ機能停止竝ニ當地ト重慶及非占領地域トノ銀行取引ニ依ル資金交流ノ杜絶ノ結果舊法幣モ亦其ノ敵性通貨タルノ機能ヲ麻痺スルニ至レリ。而シテ尙時ニ其ノ從來ノ我方利用性モ上海ニ關スル限りハ之ヲ喪失シタリ。上海及中支占據區域ニ於テコノ殘骸ノ舊法幣ヲ救助セントスレバ、中支經濟及中支民衆ノ大部分ヲ我方必要ニ寄與セシムル爲必要トスル限度内ニ於テ適當ナル手段ヲ以テ行フベキハ勿論ニシテ、右ニヨリ敵性經濟活動ノ慣行未ダ其ノ記憶ヲ去ラザル上海華商ノ全面的救済ノ如キハ固ヨリ之ヲ意圖スベカラズ。而モ現在ノ政治的環境ニ於テ、且中央儲備銀行ノ基礎確立ノ現時期ニアリテハ、斯クノ如キ處理モ亦全ク可能ナリト言フベシ。

(三) 等價兌換回收及流通許容カ切下引換回收及流通禁止カ

右ニ關シ、一ノ試案トシテ上海及中支占據區域ニ於ケル從來ノ舊法幣建債債務ヲ一括等價ヲ以テ儲備券建ニ移行セシメ、且舊法幣ノ大部分ヲ等價ニテ兌換回收スルト共ニ、殘存舊法幣ノ流通及其ノ市中相場ニヨル交換、竝ニ新規ノ舊法幣建債債務ノ設定ハ其後モ引續キ之ヲ許容スベシト言フ案アリ。其ノ意圖スルトコロハ中支經濟及ビ中支民衆ニ動搖ヲ與ヘズ且其ノ負擔ニ於テ急速ニ新法幣ニヨル中支幣制ノ統一ヲ達成セントスルニアルモノノ如シ。

惟フニ上海及中支占據地域ニ於ケル物資、生産力及物價ト通貨(儲備券及舊法幣)トノ存在ノ關係ニ就キテハ次ノ諸事情ヲ考慮スル必要アリ。即チ、

- (一) 事變以來ノ上海及占據地域ヨリ非占據地域ヘノ移出超過ノ繼續、聯銀券工作ニヨル北支ヨリノ上海向資本逃避竝ニ歐洲動亂以後ノ國際浮動資金ノ上海還流等ニヨリ上海及中支占據地域ノ舊法幣流通額及退藏額ハ意外ニ多カルベキコト

(二) 右ニ伴フ上海物價ノ奔騰ハ工部局及公董局ノ日常必需品直輸入廉賣竝ニ一般輸入品ノ最高公定價格制等ヲ

積杆トシテ租界開闢以來ノ強行手段ニヨリ抑壓セラレ、中支占據區域ノ我方低物價政策モ結果的ニハ之ヲ援護シ居リタルコト

(三)然ルニ今次戰爭ト共ニ外國ヨリノ物資供給ハ杜絶シ、原料入手難ニヨル工場閉鎖乃至操業短縮ノ爲生産力ハ一舉低下シ、且皇軍租界進駐ト共ニ其ノストツクノ沒收或ハ強制買上ガ行ハレタルヲ以テ、通貨ト物資及生産力トノ稍ハ愈々擴大セルコト

之ナリ。物價ノ現狀ハ必然騰勢ヲ持ツツアリ。斯カル際舊法幣ノ等價兌換回收ハ通貨ノ供給過多從ツテ物價ノ騰貴ヲ依然トシテ存続セシムルモノナルガ、通貨ノ創造ト之ニ加ハル場合ハ更ニ高騰ニ拍車ヲカクルニ至ルベシ。若シ三十億元ノ舊法幣ヲ儲備券ヲ以テ兌換回收シタル上假ニ更ニ二十億元ノ増發ヲ行フ場合モ、之ヲ例ヘバ五割價值切下ヲ行ヒ十五億元ノ儲備券ニテ回收シタル上更ニ十億元ノ増發ヲ行フ場合モ、物資ノ總量ニ對スル通貨ノ兌換分ト増發分トノ比率ハ三對二ニテ變リナシト言フガ如キハ一ヲ知リテ二ヲ知ラザルノモナリ。物價ノ騰勢ガ十割ノ可能性アリトシ舊法幣ノ五割切下儲備券兌換ガ之ヲ一應テエツクスルモノト假定スレバ、切下回收後ノ物價漸騰ハ専ラ儲備券増發ニ由ルコト自明ナリ。或ハ適當ナル通貨調節ト物價統制トヲ行ヘバ其ノ漸騰モ或ル程度マデ抑制シ得ベシ。物價ノ奔騰ヲ豫期シテ通貨統一ヲ行フガ如キハ、儲備券ノ信用ヲ動搖セシムルモノトシテ固ヨリ採リ難シ。之ヲ回避セントスレバ我方物資ノ提供ヲ必要トスベク、冒頭通貨統一ノ根本立場ト相反スルニ至ラン。

但シ、右ハ儲備券ノ發行稀少ニシテ舊法幣ノ流通ガ壓倒的ナル場合ナリ。然ルニ事實ハ既ニ相當量ノ儲備券發行アリ。今ヤ惡貨ト化シ去レル舊法幣ノミ市場ニ流通シ儲備券ハ庫中ニ退藏セラレタル觀アリト雖モ、舊法幣ノ儲備券ニヨル兌換回收後ハイヰレハ現ハレ出ヅル性質ノモノナリ。舊法幣ノ切下兌換ニヨリテ起ルベキ通貨不足ノ如キハ餘リニ過大ニ豫想スベカラズ。況ンヤ之ヲ匡救スル道モ他ニアルニ於テオヤ。且通貨不安ニ慣レタル支那財界特ニ上海財界ノ如キハ純粹ナル舊法幣ノミノ所有者舊法幣建債權ノミノ所有者ノ如キ金利生活者殆ンドナク概シテ金ト物ノ兩建ナルヲ以テ、舊法幣及舊法幣建債權ノ價值切下ニヨル中支經濟及中支民衆ノ動搖ノ如キハ到底アルベキ筈ナシ。唯々儲備券及儲備券建債權ノ所有者ニ對シ從來等價ナリシ舊法幣及舊法幣建債權ノ所有者ガ嫉視シ、爲ニスルデマヲ放ツベキ餘地ハアルヲ以テ、斯クノ如キハ其ノ華人タルト外人タルト或ハ一部ノ邦人タルトヲ問ハズ不逞分子トシテ處罰スルノ用意肝要ナリ。

尙ホ上海及中支占領區域ノ舊法幣ハ上海諸金融機關ノ手持額約十六億元ヲ基礎トシ其他民間手持七億元ヲ加ヘテ二十三億元ト推定シ且上海以外ノ分ヲ含メテ總額約三十億元ニ見積ルハ必ズシモ信ヲ置ク能ハズ。上海華商間ニ於テハ既ニ早クヨリ現金取引ガ一般化シキタルコロ今次戰爭ヲ見越シテ手許現金ヲ充實シモラトリアムニ備ヘタル向多ク、銀行其他ノ金融機關亦其ノ沒收ヲ恐レ名目的貸付ヲ設ケテ現幣ノ隱匿ヲ計リタルモノアルベキコト金融及物資集散ノ中心地タル上海ニ於テ舊法幣ガ儲備券ニヨリテ等價兌換セラレタリトセバ其レニ對スル取引ノ必要ヨリ奧地諸都市並ニ其ノ近隣モ亦同様ノ兌換ニ殺到スベキコト、特ニ重慶政權ハ前述ノ如ク我方占據地域ニ對スル舊法幣搬出禁止ヲ解除シタレバ斯カル等價兌換ヲ行ハンニハ計畫的ニ舊法幣ヲ搬入シ來リ儲備券資金ノ蓄積ヲ計ルベキコト等ニ依リ、兌換ヲ要スル舊法幣ハ案外多額ニ上ルヤモ知レズ、寧ロ四十億乃至五十億元ト豫想

スベキカ。

最後ニ回收後ニ於ケル殘存舊法幣ノ流通及ビ其ノ市中相場ニヨル交換並ニ新規ノ舊法幣建債債務ノ設定ヲ許容スベキカ否カノ問題アリ。舊法幣ノ流通ヲ許セバ勢ヒ新規ノ舊法幣建債債務モ許サザルヲ得ズ。而シテ之ヲ許容セントスルハ現在舊法幣ノ奧地物資買付能力ガ儲備券ニ勝レル點ヲ考慮シ一面從來ノ我方奧地物資買付ヲ停滯セシメズ且上海及奧地間ノ物資交流ヲ阻塞セシメザランコトヲ期スルニアリ。但シ兌換回收ヲ行フ以上ハ一應ハ回收後ノ流通禁止ヲ建前トシ、實行上ニ於テ地域別及部門別ニ其ノ緩嚴ヲ考慮スベク、且能フ限り速カニ其ノ根絶ヲ計ル爲他ノ幾多ノ金融的措置ヲ講ズベキモノナリ。

(四) 本案ノ具體的説明

本案ハ先ヅ舊法幣モ舊法幣建債債務モ共ニ一定率ノ價值切下ヲ主張スルモノナルガ、右ニ關シテハ前記第三、ニ於テ詳述シタレバ之ヲ再説セズ。又舊法幣ノ流通禁止並ニ新規ノ舊法幣建債債務ヲ一應禁止スル意味ニツキテモ既ニ述ベタリ。

茲ニ一定利付ノ十年据置、三十年償還ノ公債(但シ印刷間ニ合ハザレバ一時登録ノ形ヲトリ印刷出來ト共ニ漸次引渡スモ可ナリ)ヲ以テ一括引換回收スルハ舊法幣ヲ引揚ゲテ全然儲備券ヲ引渡サザル趣旨ニハアラズ。寧ロ儲備券豫備額ノ不足ト市場資金ノダブツキ防止トヲ考慮シ、一應總引揚ゲノ形ヲトリ他方右公債抵當ノ貸付又ハ割引手形等ノ形式ニヨリ必要ト認ムル場合ニ貸出ヲ行フモノニシテ、其他ノ諸方法ニヨル儲備券放出ヲ併用シ儲

備券不足ニヨル金融阻塞ヲ防ガントスルモノナリ。舊法幣回收ニヨル儲備券引渡分ノ一部分ヲ其儘同額ノ預金ニ罐詰ニスル方法モ同一效果ヲ有スルモノナレドモ、一應流通禁止ノ處置ヲ採ルベキ舊法幣ニ對シ沒收ノ報償トシテ利付ノ公債ヲ交付シ更ニ其一部分ヲ抵當トシテ貸出ヲモ行フ二重ノ恩惠ヲ與ヘル趣旨ヲ含メ、且貸出ナルヲ以テ後來必要ニシテ可能ナル場合ニハ之ヲ回收シ通貨調節ニモ便ナラシメンガ爲一括公債交付ノ形ヲ採ルヲ提議ス。尤モ少額ノ分ニ對シテハ一定金額ヲ限り兌換回收ノ便法ヲ講ズル必要アリ。

但シ右ニ依リ公債交付ノ結果、若シ公債ガ五分利トシテ全回收舊法幣四十億、五割切下ゲトシテ二十億元ノ儲備券公債ヲ發行シタリトセンカ、國民政府ノ支拂フベキ利子ハ年額一億元ニ達スベシ。右ハ現状ヨリスレバ國府財政上ノ過大ナル負擔トナルモノナレドモ、之ニヨリテ利益ヲ受クル中央儲備銀行ニ對シテハ納付金制度ノ實施、通貨安定ニ依リテ利益ヲ受クル一般財界ニ對シテハ租稅増徴、或ハ差支ヘナキ限りニ於ケル儲備銀行ヘノ公債交付ニヨル利拂財源ノ造出等々ヲ併用スレバ些シテ影響スルトコロナカルベシ。尙ホ當面ハ公債ノ利拂ノミガ問題ニシテ、元金ノ返済ハ十年ノ据置期間後ナルガ、儲備券ノ十年後ノ狀況、中支經濟ノ十年後ノ狀態ハ今日ヨリ想像スルヲ要セズ。

通貨ノ統一ハ最初ヨリ其ノ徹底ヲ期シ、特ニ上海地區ニ於テハ其ノ全額回收ヲ目指シ、其ノ爲ニハ必要ナル強行手段ヲ準備スル必要アリ。若シモ何等ノ理由ヨリスルニセヨ相當額ノ未回收乃至非回收部分ヲ殘シ且ソノ流通ノ抑制セザルニ於テハ、儲備券ノ經濟實生活ヨリノ乖離即チ軍票化ヲ惹起スル虞ハ多分ニアリ。特ニ軍事ニ弱シト雖モ金融經濟工作ニ狡智ナル重慶政權ハ我方措置ノ間隙ヲ縫フテ其ノ無力化ニ全力ヲ擧グベキハ固ヨリ想像ス

ルニ難カラズ。寧ろ通貨ノ統一ハ上海地區ノ儲備券一色化、其ノ影響ノ奧地ヘノ積極的普及、回收舊法幣ノ活用等ノ連打ニ依リ對敵攻勢ヲ展開スベキモノナリ。茲ニ於テモ亦攻撃ハ最善ノ防禦ナリ。從ツテ又、回收シタル舊法幣ハ敵産トシテ我方ニ於テ之ヲ處理スベキモノトス。

儲備券ニヨル通貨ノ統一ト共ニ物價ノ儲備券建ニ移行スルハ當然ナリ。既ニ儲備券ガ支配的通貨トナリ、物價マタ儲備券建トナルニ於テハ、日支ノ物資及資金ノ交流ニ便センガタメ日本圓ト儲備券トノ間ニ一定ノ爲替レートヲ建ツベキモ亦言フヲ俟タズ。而シテ右爲替レートハ能フ限り固定シテ財界ニ急激ナル衝動ヲ與フルコトナキヲ期スベキガ故ニ、通貨ノ放出規制竝ニ回收ニヨリ過剩購買力ヲ吸收シ以テ物價ノ騰貴ヲ抑制スルノ要アリ。他方ニ於テ右ニ伴ヒ日本銀行ト中央儲備銀行間ニ相互勘定ヲ設ケ我方儲備券資金ノ獲得ヲ便ナラシムルト共ニ、專ラ右儲備券ヲ使用スルコトトシテ軍票ノ新規發行ヲ停止スルノ域ニ進マザルベカラズ。斯クテ既發軍票ノ價值ニツキ之ガ維持操作ヲ行フ必要アル場合ハ我方儲備券資金ヲ之ニ充用シ、從來ノ物資ニ依ル軍票價值維持機構ハ漸次儲備券ノ價值維持機構ニ轉換セシメ行ク必要アルベシ。

我方指導下ノ中央發券銀行ハ之ヲ不必要ニ濫用スベカラズ。儲備券ノ増發ニハ嚴格ナル規制ヲ施クベキハ前述ノ如クナルガ、其レ故ニ又我方所要資金中一般物資ノ買付竝ニ生産力擴充資金ノ如キハ能フ限り華人資金ノ大量吸收ニヨリテ調達スルノ工夫ヲ要ス。然ルニ從來ノ上海邦人銀行ハコノ點全ク無能ニシテ、邦人ヨリノ預金竝邦人ヘノ貸付ニ共喰ヒノ觀アリ。出來得ベクンバ此際敵性華人銀行中ノ親日的ナル人的要素及設備ヲ糾合シ、之ニ華興商業銀行等ヲ加ヘ、更ニ日本ヨリ優秀ナル邦人職員ヲ招致シ、以テ上海ニ本店ヲ置ク日支合辦ノ民間商業

銀行ヲ設立セシメ、右目的ノ實現ニ當ラシムルモ一方法ナリ。而シテ、該銀行ヲシテ其ノ奧地支店網ヲ急速ニ整備セシメ、儲備券ノ奧地積極普及ト儲備券建内國爲替ノ普遍化ニ努メシメ、一般華人銀行ヲシテコレニ倣フノ風潮ヲ溫暖セシムベシ。バンド邦人銀行ヲシテ匯豐、麥加利、花旗ニ代リ華人銀行ノ親銀行タラシメ之ヲ以テ華人金融界ヲ統御スルハ勿論必要ナレドモ之ノミヲ以テシテハ必ズシモ充分ナラズ。目的既ニ英米ト異ル所アリ、手段亦之ヲ異ニスベキハ當然ナリ。

(五) 通貨ノ處理ト金融機構ノ再編成

以上述ブル所ハ主トシテ中支通貨ニ關スル改革ノ措置要領ナルガ、通貨ノ處理ナクシテハ金融機構ノ整備ノ問題モ取扱ヒ難キヲ以テ、茲ニ頭初ニ論究シタリ。然レドモ屢々見ル如ク通貨ノ論議ニ終始シテ支那金融經濟ニ於テ演ズル金融諸機關ノ役割、其ノ特殊ナル構造、之ニ對スル我方施策ノ方向等ニツキテ思ヒヲ致サザレバ通貨ノ論議モ亦架空ナリ。通貨ノ安定ガ經濟發達ノ前提タルハ固ヨリ異論ナキモ、内戰ト惡政ノ交替ニ基ク慢性的通貨不安ノ中ニ生成發展シ來レルモ亦支那金融經濟ナリ。斯ルガ故ニ商業銀行ト言ヒ、儲蓄銀行ト言ヒ、信託公司ト名乗ルモ其ノ機能、作用ハ必ズシモ日本或ハ歐米ノ其レト同ジカラズ。一般金融業務ト共ニ商業、運送業、倉庫業等ヲ併セ營ミ、一般商社ト軒軒ナキモノ多ク、歐米流ノ機能分化主義ニ對シテ綜合主義ヲ發揮シテ止マル處ヲ知ラザル觀アリ。從ツテ通貨ノ改革、舊法幣ノ儲備券ニ依ル置換ヘモ其レノミニシテコレラ金融機關ノ活動統制ニ如何ナル效果ヲ齎スベキヤハ必ズシモ分明ナラズ。コレ通貨ノ處理ト共ニ金融機構ノ再編成ヲモ必要ト思料セ

ラルル所以ニシテ、其ノ研究ハ我々ノ次ノ課題タルモノナリ。茲ニハ單ニ問題ヲ指摘スルニ止メントス。

〔參考資料〕

中支通貨ニ關スル措置(別案)

(昭和十七年三月二十二日提出)

目次

- (一)基本方針
- (二)前提條件ノ吟味
 - 一、舊法幣ノ非敵性化
 - 二、舊法幣ノ不安性
 - 三、新法幣一色化ノ利益
- (三)新法幣一色化ノ具體的提案
 - 一、方針
 - 二、要領
 - 三、説明
- (四)常提案ノ眼目
 - (一)不等價交換ガ財界ヲ混亂セシムル理由
 - (二)不等價交換論ニ伴フ誤謬

- (四)一定期間内ニ交換ヲ完了スル必要ト其ノ可能性
- (五)儲備銀行ニ對スル發券準備ノ賦與
- (六)回收舊法幣ノ處理
- (七)一色化後ニ於ケル舊法幣ノ取引
- (四)一色化後ニ於ケル新法幣ノ價值維持
- 一、新法幣ノ性格
- 二、價值維持ノ具體案

(一)基本方針

一、上海市政研究會ノ提案ニカカル「上海再編成ニ關スル基本方針」ガ經濟部面ニ於テ要請スルところハ、之ヲ要約スレバ新條件ノ下ニ上海ヲ再編成シ能フ限り速カニ其ノ生産ヲ起シ以テ現地軍ヲ始メトシ、日滿支南洋等大東亞共榮圈全般ニ對スル最大限度ノ經濟的寄與ヲ爲サシメントスルニアリ。

二、依ツテ通貨部面ニ於テ、右ノ要請ニ應ズベキ施策ヲ求メントスレバ、先ヅ以テ通貨ニ可及的安定性ヲ與フルコトヲ擧ゲザルベカラズ。蓋シ通貨ノ安定即チ物價ノ不動搖ハ凡ユル經濟的施策ノ基礎タルベキモノニシテ之ヲ他ニシテハ凡テノ經濟工作ハ其ノ根底ヲ破壊セラルベキヲ以テナリ。

次ニ掲グベキ目標ハ通貨ヲ可及的統制可能ノモノハタラシムルコト之ナリ。惟フニ此ノ要請ハ畢竟スルニ第一ノ通貨安定ノ目的ヲ達成スル手段ナルト考ヘラレザルニ非ザルモ、一方ニ於テ今後我方ハ物資獲得ノ爲ニ通貨増發ノ必要アルベキヲ以テ、其ノ點ニ於テ自ラ別個ノ必須條件タリ。

右ノ外通貨工作ニヨリ重慶攻撃ノ目的ヲ達セントスル等ノ意圖ハ之ヲ無視スベキニハ非ザルモ、上記二ツノ要請ニ比スレバ其ノ比重ニ於テ到底同日ノ談ニ非ザルヲ以テ、暫ク之ヲ問ハズ、專ラ上記二件ノ要請ニ施策ノ目標ヲ集中スルノ必要アリト考ヘラル。

(二)前提條件ノ吟味

一、舊法幣非敵性化

租界進駐以後ノ新事態トシテ上海地區ノ舊法幣ハ重慶ノ管理ヲ離レタルノミナラズ當地ノ金融機關ハ殆ンド完全ニ我方方統制下ニ入りタルヲ以テ占領地區ノ法幣ハ著シク其ノ敵性ヲ喪失シ一種ノ中性的存在ト化シタリ。依ツテ若シ舊法幣ガ我方方最高目標タル安定通貨附與ノ目的ニ適フモノトセバ暫ク舊法幣ヲ使用スルコト敢テ差支ヘナキモノト言フベク、進駐以前ノ理念タル舊法幣敵性論ハ根本的修正ヲ要スルコトヲ先ヅ以テ認識セザルベカラズ。

但シ舊法幣ノ重慶トノ繋リハ未ダ完全ニ斷絶セラレタルモノニハ非ズシテ接敵地區ニ於ケル現實ノ交流ハ今尙遮斷セラレタリト言フベカラズ。故ニ若シ上海地區ガ完全ニ新法幣ヲ以テ統一セラルルトセバ一層可ナルコト言フヲ俟タズ。

二、舊法幣ノ不安性

進駐以後上海地區ノ舊法幣ハ極メテ不安ナル存在トナリ些少ナル刺戟ニ對シテモ崩落ノ危險アルモノト成リタ

ルコトハ疑ナシ。而シテ右ノ事實ハ今後皇軍ノ戰果擴大、重慶政權ノ弱體化ニ伴ヒ益々加重セラルベキコトモ亦疑ナシ。

依ツテ惟フニ今後舊法幣ニ對シ適當ナル措置ヲ施シ以テ可及的安定性ヲ附與セントスル方策ハ其ノ或ル程度可能ナル事ハ之ヲ認ムベキモ、長ク之ヲ維持シ得ベカラザルハ又論ナキトコロナルベシ。

三、新法幣一色化ノ利益

右ノ事實ヲ認識シテ之ヲ前記二要請トノ關聯ニ於テ靜思スレバ、若シ茲ニ財界ニ動搖ヲ起サシメズシテ上海並ニ占領地區ノ舊法幣ヲ新法幣ニ一色化スルコトヲ得ルトセバ、正シク之最良ノ方策タルヲ知り得ルト同時ニ、若シ之ヲ爲シ得ズトスレバ中支經濟ハ常ニ潛在的通貨不安ニ脅カサレザルヲ得ザルモノタルコトヲ知ルベシ。依ツテ茲ニ最良ノ方策タル新法幣一色化ヲ提案セント欲スル次第ナリ。

(三)新法幣一色化ノ具體的提案

一、方針

我方派遣軍現地調辦ノ便益ニ資スルト同時ニ我方方ノ諸般ノ經濟的工作ノ基礎ヲ確立センガ爲、中支經濟及中支民生ニ動搖ヲ與ヘルコトナク而モ中支民衆ノ負擔ニ於テ急速ニ中央儲備銀行券ニ依ル中支幣制統一ヲ達成セントス。

二、要領

(一)某月某日ヲ期シ國民政府、工部局及ビ公董局ノ命令ヲ以テ上海及ビ占據區域ニ於ケル一切ノ既存ノ舊法幣建債債務ヲ等價ヲ以テ儲備券建ニ移行セシム。

爾今法幣建ノ債權債務ハ舊法幣建ノ明示ナキ限り儲備券建ト見做ス。

(二)同日以後中央儲備銀行ハ一定期間儲備券ヲ以テ銀行、錢莊、其ノ他一般民衆ノ手持舊法幣ヲ等價ニテ交換ス。金融機關手持舊法幣ノ交換ハ強制トス。

儲備銀行ハ一ヶ月ヲ以テ右ノ等價交換ヲ打切り其ノ後ハ兩者ノ交換及ビ其ノ交換相場ハ市場ノ自由ニ放任ス。

(三)等價交換ニ伴フ儲備券ノ發行ニ對シテハ後記A案乃至D案中ノ一案ニヨリ華人ノ負擔ニ於テ適當ナル發券ノ準備ヲ賦與ス。

(四)回收舊法幣ハ別途之ヲ處理ス(後述)。

三、說明

(一)當提案ノ眼目

右ノ處置ニ於テ其ノ眼目タルモノハ一切ノ債權債務ノ等價ニヨル新舊切換及ビ夫ニ伴フ當然ノ處置トシテノ新舊法幣ノ等價交換ナリ。凡ソ通貨ヲ代替セシメ債權債務ノ切換ヲ伴ハザルハ事ノ末節ヲ捉ヘテ根本ヲ忘レタルモノニシテ又苟モ一切ノ債權債務ヲ新通貨ニ切換ヘンガ爲ニハ等價ヲ以テセザレバ重大ナル紛糾混亂ヲ招來スベキコト火ヲ賭ルヨリモ瞭カナリ。即チ中支幣制ノ圓滑ナル新奈化ハ此ノ二ツノ眼目ヲ離レテハ到底期待スベカラズ。

(二) 不等價交換方財界ヲ混亂セシムル理由

例ヘバ四割ノ打歩付ニテ不等價交換ヲ行ヒタル場合ヲ想像スルニ新法幣ニ對シテ從來ノ物價ガ均シク四割ノ低落ヲ示シ從來百元ノ商品ガ六十元トナルモノトセバ一應論理的ニハ問題ナキ筈ナルモ事實ハ決シテ然ラズシテ百元ノ商品ハ新法幣ニ對シテ百元舊法幣ニ對シテハ百四十元トナルベシ。カルガ故ニ打歩付交換ハ要スルニ一般物價ノ突發的引上ゲヲ殊更ニ命令スルニ等シク其ノ結果ハ財界ノ混亂、商取引ノ停止、破産失業ノ増加、其ノ結果タル生産ノ減退等凡ユル惡結果ヲ招來スルト共ニ換物運動ト賣惜ミトヲ誘發シテストツクヲ四散セシメ、軍其ノ他物資買付ヲ困難ナラシムルコト必定ナリ。

(三) 不等價交換論ニ伴フ誤謬

(イ) 舊法幣ノ價值ハ重慶及英米敗戰ノ結果低落スベキモノナルガ故ニ不等價交換ハ當然ノ歸結ナリト爲ス者アレ共一種ノ錯覺ナリト云ハザルベカラズ。

重慶ノイソフレ政策乃至抗戰力ノ低下ニヨリ舊法幣ノ價值ガ低落シタルコトハ事實ナルモ夫ハ今日ノ舊法幣ノ價值ニ既ニ具現シ居ル筈ナリ。而シテ今後更ニ低落スベキ必然性アルコト亦疑ナキモ我方ヨリ進んで不等價交換ヲ強要スルコトニヨリ求メテ此ノ低落ヲ惹起セシムル必要ハ更ニ之ナシ。

冒頭述べタルガ如ク通貨ノ安定、即チ物價ノ暴騰ヲ避クルコトガ我等ノ最高ノ課題タルコトヲ牢記セザルベカラズ。

(ロ) 舊法幣ヲ不等價ヲ以テ交換セバ其ノ範圍交換ヲ爲スモノノ負擔ガ輕減セラルルト爲シ此ノ點ヲ過當ニ重大

視スル者アレ共之亦一種ノ錯覺ナリ。當案ニ於テハ後述スルガ如ク華人ノ負擔ニ於テ準備資産ヲ據出スルモノニツキ此ノ點ハ敢テ深ク意トスルニ足ラザルモノナリ。

(ハ) 舊法幣ヲ等價交換スルコトハ所持人ニ對スル恩惠行爲ナリト爲ス者アレ共之モ亦錯覺ナリ。儲備銀行ノ交換停止等ニヨリ既ニ不等價ノ事實ガ現レタル後ニ於テハ等價交換ハ誠ニ恩惠ナレ共茲ニ論ズベキハ斯クノ如キ不等價ノ事實ヲ起サシムベキヤ否ヤノ點ナリ。

尙此ノ關係ニ於テ特ニ注意スベキハ等價ト言ヒ、不等價ト言フハ單ニ紙幣所持人ノ利害ノミニ關スルモノニ非ザルコト之ナリ。既ニ指摘シタルガ如ク不等價交換ハ一般物價騰貴ノ問題ナルヲ以テ其ノ財界ヲ混亂セシムル點ヲ暫ク措キ單ニ利害ノ點ノミヨリ之ヲ見ルモ之ニヨリテノ損失ヲ蒙ル者ハ紙幣所有者ニ止マラズ、銀行預金者、公社債所有者、俸給生活者等々ノ總テノ金錢的債權ノ所有者ナリ。新舊法幣問題ヲ論ゼントスルモノハ先ヅ此ノ點ヲ深ク認識スル必要アリト云ハザルベカラズ。

(四) 一定期間内ニ交換ヲ完了スル必要ト其ノ可能性

既ニ述べタルガ如ク舊法幣ノ接敵地區ヨリノ流入ハ未ダ完全ニ遮斷セラレタルモノニ非ザルヲ以テ等價交換ヲ行フトセバ、一定期間ヲ以テ打切ルベキ必要アルハ敢テ説明ヲ要セズ。現在占據地區ニ於ケル舊法幣流通高ハ三十億元ト推算セラルトコロ儲備銀行ノ新券印刷ハ未ダ到底右ノ數量ニ達セザルヲ以テ一見等價交換ハ不可能ナルガ如ク見ユレ共左記方法ニ依レバ之ガ交換ニ困難ナカルベシ。

(イ) 金融機關庫中ニアル舊法幣ハ概算十五億元ト計算セラルトコロ之等ニ對シテハ其ノ數量ヲ登録スルニ止

メ、現實ノ交換ハ外部ニ對シテ實際支拂ヲ必要トスル限度ニ限ルコト。
(ロ)一般ノ舊券預金ハ當然自動的ニ新券預金ニ切換ヘラルトコロ其ノ拂出ニ就テハ一定限度以上ハ必ラズ小切手ヲ以テスル所謂匯割制度ヲ實施スルコト。

(ハ)一般民衆所有ノ舊法幣ハ一應銀行ニ預金セシメ右ノ措置ニ準ズルコト。

(ニ)右ノ處置ヲ以テ尙新券ニ不足スル時ハ舊法幣ノ一部ヲスタンフシ暫行的ニ新券ニ代用スルコト。
此等ノ點ニ關シテハ別ニ技術的細目ノ研究アレ共此處ニハ深く觸レザルベシ。

(五)儲備銀行ニ對スル發券準備ノ賦與

以上述べルトコロノ方法ニヨリ一般債權債務ノ等價切換並ニ新舊法幣ノ等價交換ヲ行ヘバ最モ圓滑ニ占領地區ノ新券一色化ヲ成就シ得ベキトコロ、此處ニ問題トナルハ儲備銀行ノ新券發行ニ對スル準備ノ一點ナリ。
コノ點ニ關シテハ數箇ノ提案ヲ考慮シ得ベシ即チ左ノ如シ。

A 案

元來儲備銀行ノ回收スベキ舊法幣ハ支那全土ノ舊法幣ノ一部ニ外ナラズ。漸テ我方方ノ完勝ニヨリ重慶ノ降服ヲ見ル時ハ支那全土ノ舊法幣ニ對シ何等カノ處理ヲ必要トスルヤ論ナシ。依ツテ儲備銀行抱キ込ミノ舊法幣ハ其ノ儘ニ之ヲ保持シ問題ヲ其ノ時ニ讓ルモ可ナリ。
此ノニ據ルトキハ儲備銀行ニ對シ敢テ何等ノ準備資産ノ賦與ヲモ必要トセザル次第ナレ共儲備銀行ハ其ノ發行規定ニ背反スルノ疑アルニ付此ノ點南京政府ヨリ何等カノ保證ヲ爲ス必要有ルベシ。

B 案

右南京政府ノ保證ヲ稍具體化シ實質的保證物件ヲ與フルトセバ南京政府ハ儲備銀行ニ對シ放出新法幣額ニ相當スル交付公債ヲ爲スコト一案ナリ。
其ノ場合ニ於ケル問題ハ其ノ交付公債ノ利拂ヲ如何ニスルヤノ點ナルトコロ、利拂所要額ニ對シ更ニ其ノ金額ノ交付公債ヲ爲シ以テ全面平和ノ到來ヲ俟ツモ可ナリ。斯クセバ實質ニ於テハ何等ノ出費ナクシテ而モ一應發券準備賦與ノ形態ヲ整フルコトヲ得ルモノト言フベシ。

C 案

交付公債ハB案ト同様トスルモ利拂ハ之ヲ新規交付公債ニ據ルコトナク現實ニ資金ヲ交付スル案之ナリ。
其ノ財産據出ノ方法トシテハ課税ニ依ルモノト、公債ヲ發行シ民衆ニ引受ケシムルモノトノ二手段アリ。今、假ニ三十億元ノ交付公債ニ對シ三分ノ利子ヲ附スルトセバ利拂所要額年九千萬元ニ付此ノ財源ヲ新規課税ニ求ムルコトハ或ハ困難ナリトスルモ此ノ程度ノ公債發行ハ敢テ難事トイフベカラズ。若シ此ノ點ニ不安アラバ、當案實施ニ當リ銀行公會、其ノ他各種ノ同業者團體ヲシテ豫メ引受ノ約束ヲ爲サシムルコト固ヨリ可能ト信ゼラル。

D 案

準備資産賦與ヲ公債ニ求メズシテ財界ノ直接負擔トスルハ一層高級ナル方策ト言フベシ。即チ新舊法幣ノ圓滑ナル入レ換ニ依リ最モ利益ヲ受クベキモノハ中支財界人ナルガ故ニ彼等ヲ論シテ應分ノ寄與ヲ爲サシムル案

ナリ。

其ノ方法概ネ左ノ如シ。

(イ)各種同業團體ヲ仲介トシ、所屬團體員ヲシテ各々其ノ資産ヲ擔保トシ應分ノ利付債務證書ヲ發行署名セシム。

(ロ)軍ノ監督下ニ、南京政府ヲ中心トシ、右各種同業團體ヲ會員トシ發行準備管理委員會ヲ組織シ右債務證書ヲ管理セシメ擔保資産ノ確保並ニ利拂金ノ取立ニ任ゼシム。

(ハ)儲備銀行ニ對シテハ其ノ舊法幣回收額ニ應ジ當管理資産ヲ讓渡ス。

尙右準備資産據出ニ當リ南京政府ガ交付公債ニヨリ其ノ一斑ノ負擔ニ任ズルコト固ヨリ差支ヘナク、進ンデハ我方ニ於テモ對支援助ノ意味ヲ以テ敵性押收資産等ヲ之ニ充當スルコトトセバ民心把握ノ上ニ於テ頗ル效果多キモノト言フベシ。

各案ノ利害得失

右一聯ノ諸案ニ於テ最モ單純容易ナルハA案ナレ共新券ノ信用保持ノ上ニ於テ若干物足ラザルモノアリ。抑々管理通貨ノ理論ニ於テハ準備資産ノ有無ハ必ラスシモ問題ナラザル次第ヲ中支民衆ノ心裡ニ於テハ適當ナル準備資産ヲ有スルコト可ナルハ論ナシ。尤モ舊法幣ニ對スル民衆ノ信賴ハ未ダ消滅シタル譯ニハ非ザルヲ以テ儲備銀行ガ舊券ヲ引換ニ新券ヲ放出シタル事實ハ決シテ新券ハ無準備發行ナリトノ印象ヲ與フルモノニ非ザルモノト言フベク、A案ハ一見架空ナル所説ノ如ク見ユレ共事實必ズシモ然ラザルコトヲ注意スベキナリ。

D案ハ最モ堅實ナルモノナレ共其ノ缺點トスベキハ之ガ實行ニ多大ノ政治力ヲ必要トスベキコト之ナリ。但シ一度コノ方法ニシテ成功シタリトセンカ新券ハ完全ニ中支財界自カラノ支持スル通貨トナリ今後ノ通貨工作上計リ知ルベカラザル便益アリ。夫レノミナラズコノ案ヲ實施スルコトニヨリ我方ト南京政府トノ中支財界就中所謂浙江財閥トノ提携ハ最モ大規模ニ華々シク實現セラルルヲ以テ其ノ事實ハ取モ直サズ重慶政權ニ對スル一大痛棒トナルベシ。

B案及C案ハ右兩者ノ中間ニ位スルモノニ外ナラズ。

今現状ヲ以テ右孰レノ案ヲ採擇スベキカラ勸フレバC案中交付公債ノ利拂財源ヲ公債發行ニ求メ各種團體ヲシテ其ノ引受ヲ豫約セシムル案ニヨルカ若シクハA案ニヨルコトヲ適當トスベキガ如シ。

(六)回收舊法幣ノ處理

回收舊法幣ノ處理ハ當案ノ重點ヲ離レタル問題ナルヲ以テ簡單ニ一言スレバ上記A案ニヨルトキハ全面和平ノ到來迄其ノ儘保持スベキコト勿論ナルモ、B案以下ニ於テハ貨幣理論上之ヲ廢棄スベキモノタリ。但シ接敵地區ニ於テ敵地物資買付ニ利用シ乃至ハ謀略的ニ敵地帯内ニ於テ之ヲ使用スルコト勿論差支ナシ。

(七)一色化後ニ於ケル舊法幣取引

提案中ニ於テ儲備銀行ノ舊券回收ノ打切り後、舊法幣ハ市場ノ自由ニ放任スベキ旨ヲ述ベタリ。舊法幣攻撃ノ潔辯論ヨリスレバ新券一色化ノ後ニ於テハ舊券取引ハ之ヲ禁止スベキモノニ似タレ共寧ろ之ヲ自由放任スルヲ可ナリト信ズ。

惟フニ一色化ノ後ニ於テハ上海南京等ニハ殆ンド舊券ノ姿ヲ見ザルベク若シ之有リトスルモ其ノ相場ハ恐ラク新券ニ對シ舊券十ノ程度ニ低落スベシ。新舊兩法幣間ニ斯クノ如キ交換比率ヲ生ジタル上ハ重慶地區ニ於テ占領地區物資ヲ取得セントスル者ハ舊券建十ノ價值アル物資ヲ持込ミテ初メテ新券一ヲ取得スルヲ得ル次第ナルヲ以テ、從來重慶地區物價高ヲ原因トシテ占據地區ノ物資ガ流出ノ傾向ニアリタルコトハ逆轉スベシ。而シテ占據地トイフモ未ダ要スルニ狭少ナル地域タルヲ免レザルヲ以テ將來上海ヲ中心トスル中支經濟ノ再編成ヲ爲サントスルニ當リテハ非占據地區トノ物資交流ハ之ヲ遮斷セズシテ我方ニ利用スルノ着想ハ絕對ニ必要ナリ。今新券一色化ニヨリ新舊法幣間ニ格段ノ交換差ヲ生ズルトキハ勞セズシテ右ノ着想ヲ實現シ得ベキ時トナルヲ以テ新舊法幣ノ交換ガ接敵地區ニ於テ行ハルルコトハ我方方ハ之ヲ歡迎スベキ筋合トナルベシ。カルガ故ニ提案ニ於テハ其ノ自由放任ヲ可トシタル次等ナリ。

(四)一色化後ニ於ケル新法幣ノ價值維持

一、法幣ノ性格

從來新法幣ハ堅實ナル正貨準備ヲ誇リタル通貨ナレ共右ノ措置ノ結果トシテ、一轉シテ管理通貨ノ性質ヲ帶フベシ。

之ガ今後ニ於ケル價值維持ハ決シテ容易ナルモノニハ非ザレ共又敢テ悲觀スベキモノニモ非ズ。何トナレバ舊法幣ニ内在スル脆弱性ハ固ヨリ新法幣ノ繼承スルトコロニ非ズ。占據地ニ於ケル發券額ハ舊法幣ト同様ノ多額

タルベキモ此ノ通貨インフレハ既ニ物價ニ折リ込ミ濟ニツキ敢テ夫ノミニテ將來ノ物價高ヲ豫約スルモノニハ非ズ。之ヲ要スルニ新法幣ノ將來ノ價值ハ專ラ今後ノ放出及ビ回收ノ如何竝ニ中支生産ノ増強度如何ニ係ル問題ナリ。

二、價值維持ノ具體案

通貨價值ノ真正ノ基礎ハ生産力ニアルヲ以テ生産増強ニ關スル施策ハ總テ通貨價值維持ノ方法ト見ルベキモノナレ共茲ニハ之ヲ論セズ。又物資側ニ於ケル價格統制策モ通貨價值維持ノ重要部面ナレ共之亦茲ニハ觸レザルコトトシ、純通貨部面ノミニ價值維持方法ニツキ其ノ概要ヲ述ブベシ。

(イ)放出ノ規制

此ノ問題ハ軍ノ現地調辨、南京政府ノ政費、日本向輸出ノ爲ニスル我方物資買付ノ如何ニヨルモノナルトコロ之等ハ大東亞戰現下ノ事態ニ於テ或ル場合ニ於テハ中支經濟ノ利害ヲ超越スル要求タルベキヲ以テ中支經濟ノ爲ニ夫等ノ放出ヲ嚴重ニ規制スベシト言フハ多クノ場合本末顛倒ナリ。此ノ意味ニ於テ放出面ニツイテハ今後必要ナル放出ハ甘ンジテ之ヲ忍ブノ態度ニアルベキモノト云フベシ。

(ロ)過剩購買力ノ吸收

右ノ次第ナルヲ以テ今後ノ施策ハ專ラ資金ノ回收即チ過剩購買力ノ吸收ノ方向ニ向ツテ注意ヲ集中セザルベカラズ。此ノ點ニ關シテ別ノ機會ニ於テ細論スベキモ進駐以後所謂上海ノ遊資ハ海外逃避ノ途ヲ斷タレ、物資購買ノ機會ヲ塞ガレ、新規事業ヲ興スニ由ナク徒ニ銀行ノ庫中ニ眠レル状態ニアルコトヲ見レバ右ノ方向

ニ於ケル施策ニハ相當多大ナル可能性アリト言フベシ。

(ハ)銀行ヲ通ジテ爲ス資金統制

内地ニ於ケルガ如キ資金統制ノ實施スベカラザルハ勿論乍ラ支那側銀錢業者ハ總テ我方統制下ニ入りタルヲ以テ之等ヲ通ジ或ル程度ノ資金統制ヲ爲スコト可能ナリ。此ノ點ニツイテハ當案ノ實施ガ民衆ノ保持スル現金ヲ自ラ自動的ニ銀行預金ト化シ且夫ニ對シ新匯割制度ガ實施セラルルモノナルコトハ此ノ施策ニ對シ頗ル有利ナル基礎事實ヲ造出スルモノナリ。

(ニ)軍票ニ對スルリンク

新法幣ハ我方管理下ノ通貨タルノ點ニ於テ全ク軍票ト同性質トナリタルヲ以テ兩者ガ一定比率ヲ以テリンクスルコトハ頗ル歡迎スベキ筋合ナリ。殊ニ最近ノ事態ニ於テハ軍票經濟圈ハ中支經濟圈ノ基礎勢力トナリツツアレバ軍票ニリンクスルコトハ疑モナク新法幣信認獲得ノ良策否寧ロ其ノ根本策ト言フベキナリ。

(ホ)日本圓ニリンクスベキヤ

既ニ軍票ニリンクシタル以上日本圓ニリンクスルコトハ其ノ必要ナキノミナラズ、誤ツテコノ途ニ深入リスルトキハ北支聯銀券ガ圓元パー問題ニ於テ苦難シタルト同轍ヲ踏ムコトトナルベキヲ以テ之ヲ避クルヲ可トス。舊法幣ガ特別圓ヲ以テ日本圓ニ聯繫シタルト同様新法幣ガ特別圓相場ヲ持ツコト勿論不可ナキモ其ノ相場ハ現在同様可變不公表ノモノタラシムルヲ要シ以テ中日間物價差ノ變動ニ即應スル用意ヲ怠ラザルコト肝要ナリ。

(ヘ)他地域トノ爲替交流

滿洲、北支、南支及ビ南方諸國等苟モ物資並ニ資金交流ノ必要アル地域ニ對シテ可及的速カニ爲替決済ノ途ヲ啓クコトハ自ラ新法幣ノ價值維持方策タルベシ。其ノ方法トシテハ特別圓ノ如キモノヲ仲介トスルモ滙申ノ如キ直接ノ爲替ヲ建ツルモ結果ニ於テハ同様ナリ。

(ト)裏付物資ノ必要度

一色化ノ後ニ於テハ軍票ニ對スル裏付物資ハ軍票ガ法幣ニ對シテ低落スルコトヲ支フル意味ニ於テハ其ノ必要ナキニ至ルベシ。何トナレバ新券ハ軍票ニリンクセラレ軍票ガ新券ノ支柱タルニ至ルベキコト既ニ述ベタルガ如クナルト同時ニ今後我方ハ軍ノ支出ニ軍票ヲ使用セズ新券ヲ用フルコトヲ得ベク尙場合ニヨリテハ儲備銀行抱キ込ミノ舊法幣ヲ適宜使用スルコト可能ナルニ至ルベキヲ以テナリ。

但シ軍票及新法幣ヲ一體トスル我方管理下ノ中支通貨ガ其ノ全體ニ於テ低落スルコトハ果シテ上記(ロ)乃至(ヘ)ノ施策ガ克ク之ヲ防止シ得ベキヤ否ヤハ甚ダ問題ナリ。此ノ意味ニ於テ日滿北支殊ニ南方圈ヨリノ物資輸入ハ中支ニトリテ絶大ナル援助トナルベキモノナレ共船舶ヲ初メトシテ種々ノ制約アリ、今、此ノ點ニ關シ何等カノ豫測的觀測ヲ下スコトハ勿論不可能乍ラ當案ニ基ク通貨方面施策其ノ宜シキヲ得ルトセバ、中支經濟ハ相當程度ノ負擔ニ堪エ得ルモノタルコトヲ信ズルモノナリ。

第二項 金融ニ關スル措置要領(案)

(昭和十七年六月十九日提出)

一、金融ニ關スル措置要領

中支通貨ニ對スル措置ハ成功裡ニ一應完了ヲ見ントスルニ際シ其ノ線上ニ於テ更ニ我方方施策ヲ推進スルコトトシ、次デ

(一) 差當リテハ大東亞戰爭完遂並ニ大東亞共榮圈確立ノ爲ニ支那ノ金融ヲ最大限ニ我方方ガ利用スルコト

(二) (一)ノ暫定措置ヲ通ジテ終局的ニハ金融ヲ通ジテノ支那經濟把握ニ步ヲ進メ金融方面ヨリスル日支國交調整ノ長計ニ資スルコト

ヲ目的トシテ左ノ如ク措置スルモノトス。

(一) 中央儲備銀行ノ育成強化ト現存日支金融機關ニ對スル統制

一、中央儲備銀行ノ育成強化

(イ)中央儲備銀行券ノ流通ニ就キテハ差當リ上海地區並ニ中支主要都市儲備券一色、其他ノ中支占據區域新舊折半、外廓地帶舊法幣ナルベキモ、之ニ満足スルコトナク漸次上海及中南支占據區域ノ完全ナル儲備券一色化、外廓地帶ヘノ儲備券進出ノ域ニ進マシムルコト。

(ロ)中央儲備銀行ハ當分ノ間事實上或ハ名實共ニ上海分行ヲ本行トシ南京本行ヲ分行トシ、支那金融界ノ中樞タル上海金融界トノ連繫ヲ密ニシ、其ノ急速ナル保育ニ資セシムルコト。

(ハ)中央儲備銀行ハ從前ノ中央銀行ノ如ク商業業務ヲ營ムコトヲ罷メ、専ラ中央發券銀行トシテノ業務ニ專念セシメ、以テ一般商業銀行トノ相尅ヲ避ケ之ヲ領導スルノ資格ヲ養ハシムルコト。

(ニ)中央儲備銀行ヲシテ支那側銀行、錢莊及其他金融機關ニ對スル一元的金融ノ操從者タラシメ、資金ハ我方方ノ東亞共榮團建設ノ國策ノ線ニ從ツテ有效ニ利用セラルル如ク統制セシムルコト。

右ノタメ凡テノ支那側銀行、錢莊及其他金融機關ヲシテ一定率ノ預金準備ヲ中央儲備銀行ニ預入レシムルト共ニ、他方資金統制法ノ如キモノヲ考慮シ其ノ實施方法ハ支那ノ狀況ニ即應セシムルコト。

(ホ)中央儲備銀行ヲ中心トスル手形交換所ヲ作ルコト。

二、現存日支金融機關ニ對スル統制

(イ)華人商工業者ニ對スル金融ハ支那側銀行、錢莊及其他金融機關等ヲシテ之ニ當ラシムルヲ本則トスルモ、日華經濟合作ノ見地ヨリ支那重要生産者ニ對スル我方方ノ干與ヲ目的トシテ我方方ヨリノ金融ヲモ考慮スルコト

(ロ)支那側銀行、錢莊等ニシテ資力信用薄弱ナルモノハ之ヲ整理統合セシメ、華人商工業者ニ對スル資金融通ニ際シ其ノ統制ニ便ナラシムルコト。

(ハ)在中支本邦系銀行ヲシテ其ノ對支活動ヲ積極化セシメ、特ニ華人預金ノ吸收ニ努力セシムルコト。

右ノタメ現在ノ銀行團ノ強化、支店長以下行員ノ長期滞在制、華人職員ノ採用、銀行統制方式ノ改善等ヲ考慮スルコト。

(ニ)本邦系信託會社、保險會社ノ計畫的進出並ニ組織的活動ヲ計リ華人資金ノ吸收ニ當ラシムルコト。

(ホ)右ノ措置ヲ以テ不十分ナル場合ハ他ノ事情ヲモ併セ考慮シ此ノ際次ノ如キ特別ノ措置ヲ講ズルコト。

(二)東亞興業銀行(假稱)ノ創設

一、目的

(イ)儲備券ノ奧地積極普及ヲ計ルコト。

(ロ)儲備券建内國爲替ノ普遍化ニ努ムルコト。

(ハ)華人預金ノ大量的吸収ヲ行フコト。

(ニ)華僑送金ヲ我方方ニ吸收スルコト。

(ホ)我方方所要資金特ニ商工業資金ノ融通ヲ行フコト。

二、組織

- (イ)上海共同租界中央區ニ本店ヲ置キ差當リテハ上海市内竝ニ中南支一帶ニ亘リ支店網(分行、支行、辦事處、通訊處等)ヲ張ラシムルコト。
- 又對南洋工作トシテ南洋樞要地ニモ支店ヲ設置スルコト。
- (ロ)右ノ爲支那敵性銀行ニシテ整理ヲ要スベキモノ及華僑筋諸銀行等ノ親日的ナル人的要素竝ニ物的諸設備ヲ糾合シ、之ニ華興商業銀行等ヲ吸收シタル上、更ニ本邦内地ヨリモ有力ナル職員ヲ招致スルコト。
- 但シ首腦部ハ主トシテ日本人ヲ以テ構成スルモ適宜支那人ヲモ最高幹部(重役、總經理、經理等)ニ登用シ特ニ窓口ハ極力支那人ヲ使用スルコト。
- (ハ)本行ハ在支事業法(假稱—後記)ニヨリ設立シタル日本法人トシ上海乃至支那ノ特殊事情ニ應ジ我國銀行法ノ規定以外ノ業務ヲ營ムコトヲ得セシムルコト。

三、事業

- (イ)(一)所掲ノ目的ニ從ヒ事業ヲ行フモノナレドモ特ニ支那及支那人ヲ主要對象トシテ左記ニ主力ヲ注グコト。
- (ロ)差當リテハ上海對奧地、次イデ對北支、對滿州、對日本、對南方諸地域間ノ物資交流ヲ再開、擴大乃至促進スルタメノ商業資金ノ大量的融通ヲ行フコト。
- (ハ)大東亞戰爭後軍管理トナリタル米、英、蘭、白等ノ敵性企業ノ我方方運營ノタメニ必要トスル資金、中支那振興傘下諸事業ノ現地調辨ヲ必要トスル資金、或ハ從來ノ日本人及華人企業ニシテ上海再編成ノ國策遂行上其ノ擴張乃至復活ヲ行ハシムルニ必要トスル資金ノ計畫的融通ヲ行フコト。

- (ニ)右ノタメ華人側儲備券資金ノ大量吸收ノタメ華人預金ノ大量吸收、華僑送金ノ上海吸引、或ハ在支事業法(後記)ニヨル諸會社ノ株式ノ華人ヘノ解放ニヨル資金調達等、諸般ノ措置ヲ講ズルコト。

(三)在支事業法(假稱)ノ制定

一、目的

- (イ)支那ノ通貨事情ノ變化竝ニ今後モアリ得ベキ變動ニ即應シテ我方現地企業ノ經營ヲ便宜ナラシメ且新通貨ノ普及信用増大ニ資セシムルコト。
- (ロ)從來本店ヲ日本ニ置キ營業所ヲ支那ニ有スル商社ヲシテ其ノ現地ニ有スル設備及資金ヲ以テ獨立會社ヲ設立スルニ便宜ナラシムルコト。
- (ハ)米、英、蘭、白等ノ敵性企業ヲ經營スルタメ、從來共現地ニ支店又ハ本店ヲ有スル日本商社ハ勿論、新ニ進出シ來ルモノモ亦現地ニ本店ヲ置ク獨立會社ヲ設立シ現地事情ニ即應スル經營ヲ行ハシムルコト。
- (ニ)在支日本法人ノ株式ヲ所有スルコトヲ支那人ニモ解放スルノ途ヲ開クコト。
- (ホ)我國會社法(銀行法、信託業法、電氣事業法等々ヲモ含ム)ノ規定以外ノ經營ヲ可能ナラシムルコト。

二、內容

- (イ)本法ハ日本ノ勅令又ハ法律ニテ公布サルモノナルコト。
- (ロ)本法ニヨリテ設立セラルル會社ハ本店ヲ支那領土内ニ置クモノナルコト。

(ハ)本法ニヨリテ設立セラレタル會社ハ我國會社法ノ規定以外ノ行爲ヲナシ得ルコトトシ、該行爲ノ範圍ハ在支本邦官憲ガ之ヲ指定スルコト。

(ニ)右ノ指定行爲ノ範圍ハ尠クトモ左ノ諸項ヲ含ムモノナルコト。

一、資本金、積立金等ハ固ヨリ其ノ貸借、事業收支ヲ備備券建ニテ行ハシムルコト。

二、株式會社ノ場合ハ例ヘバ株式ヲ甲種及乙種ノ二種ニ分ケ、甲種ハ日本人ノミ之ヲ所有シ且讓渡質人等ニ制限ヲ附シ、乙種ハ國籍ノ如何ニ拘ラズ之ヲ解放シ且其ノ自由賣買ヲ許スコトヲ得シムルコト。

三、銀行ノ儲蓄、信託兼營、電氣事業會社ノ他業兼營等ノ如ク全面的ニ多角經營ヲ行フヲ得セシムルコト。

四、日支合辦企業或ハ支那人企業ニシテ本法ニヨリテ設立シタキモノハ事情ニヨリ之ヲ許容シ得ルコト。

三、實施方法

(イ)本法ニヨリ東亞興業銀行(假稱)並ニ上海信託投資株式會社(假稱)ヲ設立スルコト。

東亞興業銀行ハ主トシテ前記ノ目的及組織ノ下ニ前記ノ事業ヲ行フコト。

上海信託投資會社ハ軍管理企業中直接軍管理以外ノ全敵產ノ一括信託ヲ受ケ、其ノ一部ハ次ニ掲グル各獨立會社ヲシテ其ノ經營ヲ行ハシメ他ハ既存會社ニ委託經營セシムルコト。

(ロ)米、英、蘭、白等ノ敵性企業ニシテ現在我方方ノ力ニテ經營スル必要アリ且將來共我方方ニテ把握スル必要アルモノ(例ヘバ電力、瓦斯、水道、碼頭、倉庫、或種ノ工業等)ハ日本ノ最優秀ナル技術及人的要素ヲ導入シ本法ニヨリ獨立會社ヲ創立セシムルコト。

(ハ)從來存在スル紡績、製粉、煙草等々ノ主要ナル會社モ本法ニヨリ改組セシムルコト。

(ニ)上海業業公所(華名)ヲ改組シ本法ニヨリ株式會社上海證券取引所トシタル上之ヲ再開セシメ我方方ヨリスル資本市場ノ動員ニ資セシムルコト。

(四)上海證券取引所ノ改組再開

一、目的

(イ)我方方在支主要企業ノ株式ヲ華人ニモ解放シ、コレヲ通ジテ日支經濟利害ノ一致ヲ齎サシメツ、併セテ我方方所要資金ノ調達ニ資セシムルコト。

(ロ)米、英、蘭、白等敵性企業ニ對スル華人側持分ヲ生カシ、其ノ凍結資産ヲ解除スルノ恩惠ヲ與フルコトニヨリ、民族資本ノ我方方吸引並ニ其ノ經濟活動ノ活性化ヲ促スコト。

(ハ)換物運動ニ集中セル華人資本ノ一半ヲ證券投資ニ赴カシメ物價安定ノ一助トスルト共ニ、右ニヨリ吸收資金ヲ生産増強ニ振向ケシメ、以テ儲備券經濟ノ擴充並ニ健全化ノ槓杆トスルコト。

二、組織

(イ)上海業業公所ヲ改組シ在支事業法(假稱)ニヨリ日本法人株式會社上海證券取引所トシタル上之ヲ再開セシムルコト。

(ロ)日本ヨリ經驗及信用ヲ有スル株式取引員ヲ招致シ之ニ從來ノ支那側取引員ヲ加ヘ堅實ナル取引機構ヲ作ル

コト。

(ハ)上場株式ハ差當リ在支事業法(假稱)ニヨリ設立セラレタル日本法人ノ乙種式(三、(二)(ニ)ノ二、参照)及び支那法人ノ優良株ニ限ルコト。

(ニ)東亞興業銀行(假稱)ト密接ナル關係ニ立タシムルコト。

(五)法制ノ整備

(イ)在支事業法(假稱)ヲ制定スル外在支本邦金融機關ノ金融ヲ利便ナラシムルタメ左記ノ諸點ヲ考慮スルコト。

(ロ)工場財團抵當貸付、其他工業金融ヲ容易ナラシムル法制ヲ整備スルコト。

(ハ)不動産金融ヲ容易ナラシムル法制ヲ整備スルコト。

(ニ)其他。

二、說 明

響ニ提出シタル「通貨ニ對スル措置要領(案)」ノ姉妹篇トシテ茲ニ「金融ニ關スル措置要領(案)」ヲ起案シ當局施策ノ參考ニ供セントス。舊法幣使用ノ根絶、中央儲備銀行券ノ單一流通化ヲ目指ス中支通貨ノ改革ハ成功裏ニ一應ノ完了ヲ見ントシツツアリ。大東亞戰完勝ノ爲ノ金融戰時體勢ノ形成ハ斯クシテ其ノ第一歩ヲ踏ミ出シタリ。

然レ共右ハ固ヨリ其ノ第一歩ニ過ギズ上海及中支ニ於ケル我方金融上ノ今後ノ施策ハ此ノ通貨改革ノ線上ニ於テ更ニ其ノ趣旨ヲ徹底セシムルコトニアルベキハ言フ俟タズ。即チ、我方援助ノ下ニ成立セル中央儲備銀行ニヨル通貨統一ヲ槓杆トシテ、差當リテハ大東亞戰爭完遂(特ニ英米ノ完全ナル走狗ト化シ去レル重慶政權ノ打倒)竝ニ大東亞共榮圈確立(特ニ支那經濟ノ共榮圈經濟ヘノ包攝)ノ爲ニ支那ノ金融ヲ我方ガ最大限ニ利用シ、右ヲ通ジテ終局的ニハ金融ヲ通ジテノ支那經濟把握ニ歩ヲ進メ以テ金融方面ヨリスル日支國交調整ノ長計ニ資センコトヲ志向スルヲ要ス。之ガタメ一面中央儲備銀行券ノ流通ニ就キ上海地區竝ニ中支主要都市儲備券一色、其他ノ中支占據區域新舊折半、外廓地帯舊法幣程度ノ現狀ニ満足スルコトナク漸次上海及中南支占據區域ノ完全ナル儲備券一色化、外廓地帯ヘノ儲備券浸透ノ域ニ進マシムルト共ニ、他面我方在支金融機關ノ對支活動ヲ積極化セシメ華人資金ノ大量吸收、我方方所要資金(特ニ商工業所要資金)ノ計畫的供給ニヨル物資交流ノ促進、生産ノ増強ニ歩ヲ進メザルベカラズ。

而シテ前者ニ就テハ日本圓ト儲備券トノリンク、物資ニヨル儲備券ノ裏付、軍票ノ處理等々ノ問題アレドモ、茲ニハ中央儲備銀行ソノモノノ育成強化竝ニコレト一般商業銀行トノ關係ノ規制ニ關シテ簡單ニ掲記スルニ止メ、主トシテ後者ニ就キテ研究ヲ試ミタリ。蓋シ華人資金ノ大量吸收ニヨル我方方所要資金ノ調辦ハ從來共最モ缺除シ居リタル點ナルガ、大東亞戰爭開始後ニ於テハ現地軍所要物資ノ調辦ノ爲ノミナラズ奧地物資買付ノ爲ニモ現地生産増強ノ爲ニモ或ハ接收敵産ノ我方方經營ノ爲ニモ巨額ノ資金ヲ必要トスルニ至リ、而モコレラ商工業資金ノ調達ハ能フ限リ發券機構ノ利用ニヨル造出ヲ避ケ寧ロ民間資金ノ吸收ニ俟ツベキモノナレバナリ。加之、民族

資本ノ動員、日支經濟合作ノ推進ハ所謂日支合辦企業ノ劃一的手段ニノミ依據スルヨリモ、進ンデ金融部面ヨリ
スル資金吸引ヲモ併セ行ヒ、右ヲ通ジテ事實上ノ合作ヲ促進スルヲ良策トスベシ。斯カル見地ヨリスレバ現存日
本系金融機關ノ最大限ノ活用ノ外、此ノ際特別ノ措置トシテ、

(一) 東亞興業銀行ノ創設

(二) 在支事業法ノ制定

(三) 上海證券取引所ノ改組再開

(四) 法制ノ整備

等ニ關シテ考慮ヲ加フベキモノト思料ス。以下各別ニ之ヲ論ズベシ。

(一) 東亞興業銀行ノ創設

華人預金ノ吸收、我方所要商工業資金ノ融資ニ際シテ、先ヅ以テ現存日本系銀行ヲ最大限ニ活用スベキハ言フ
マデモナシ。右ノタメ現在ノ銀行團ヲ強化シ、或ハ銀行團ニ各少壯分子ヨリ成ル幹事會ヲ附設シテ業務狀況ノ檢
討並ニ企劃立案ノ機關ヲラシムルト共ニ、支店長以下行員ノ長期滞在制、華人職員ノ採用等ニヨル支那人ヘノ結
付キ強化策ヲ講ジ、又華人側預金ノ便宜ヲ計ル爲銀行統制様式ヲ改善スル等斯種ノ方策ヲ考慮スルヲ要ス。其他
本邦系信託會社及保險會社ノ計畫的進出並ニ組織的活動ヲ計リ華人資金ノ吸收ニ當ラシムルモ亦肝要ナリ。
然レ共右ノ措置ヲ以テスルモ從來ヨリノ經驗ヨリスレバ必ズシモ所期ノ目的ヲ達シ得ルモノトハ言イ難シ。今、

在上海ノ本邦系支店銀行及本店銀行八行ヲ見ルニ別ニ其ノ業務ニ根本的相違ヲ見出ス能ハズ、其ノ能率増進ノ見
地ヨリ假ニ機能分化ヲ行フモ主トシテ全世界ニ亘ル爲替取引ヲ正金、主トシテ朝鮮滿洲トノ爲替取引ヲ鮮銀、主
トシテ臺灣南洋トノ爲替取引ヲ臺銀、主トシテ同系又ハ關係事業ノ金融ヲ三井、三菱及住友、又主トシテ地場商
人ノ金融ヲ漢口及上海ノ各行ニ割當テ得ルノミニテ、主トシテ支那及東亞共榮圈內華人資本ノ吸收ヲ對象トシ特
ニ奧地金融並ニ華僑ノ吸引等ヲ業務トシ得ルガ如キモノナシ。仍テ此ノ際コノ最後ノ缺陷ヲ補ハンガタメ新ニ東
亞興業銀行(假稱)ヲ起シ、斯種目的ヲ達成セシムルモ一法ナリト思料セリ。

即チ同銀行ハ從來ノ八銀行ト異リ在支事業法(後記)ニヨリテ設立シ、日本法人タル點ニ於テ從來ノ日華合辦銀行
ノ基礎薄弱ヲ免レシムルト同時ニ華人資本ノ參加ヲ可能ナラシメ、普通銀行業務ト共ニ儲蓄、信託、業務、場
合ニヨリテハ倉庫業其他ノ兼營ヲモ行ハシメ、支那金融業ノ特殊構成ニ即應セシムルコト第一ノ特徴ナリ。本邦
内地ヨリ有力ナル銀行家ヲ招致シ、之ニ華興商業銀行等ヲ吸收スルト共ニ、特ニ支那敵性銀行ニシテ整理ヲ要ス
ベキモノ(中央及中國農民ハ營業停止清算、中國及交通ハ改組再開、中國通商、中國實業、四明及中國國貨ハ現
在ノ儘會計監督派遣等ノ如ク措置セララルガ如クナレドモ尙ホ研究ヲ要スベシ)及華僑筋諸銀行(各地區々ニ處理
セラレツツアルガ如シ)等ノ親的ナル人的要素並ニ物的諸設備ヲ糾合シテ組織シ、例ヘ首腦部ハ日本人ヲ以テ
構成スルモ適宜支那人ヲモ最高幹部ニ登用シ特ニ窓口ハ極力支那人ヲ使用スルコト第二ノ特徴ナリ。本店ヲ上海
特ニ共同租界中央區ニ置クト共ニ、上海市内並ニ中南支一帶ニ亘リ分行、支行、辦事處、通訊處等ノ支店網ヲ張
リメグラシ、又對南洋工作上南洋樞要地ニモ支店ヲ設置スルコト第三ノ特徴ナリ。斯クシテノミ華人資金ノ吸收

軍ハ華僑送金ノ吸引ハ可能ナリ。

其ノ事業モ亦必ズシモ從來ノ本邦系銀行ノソレト同ジカラズ。即チ、中央儲備銀行ヲバツクシ之トタイ・アツプシテ儲備券ノ奧地積極普及、儲備券建内國爲替ノ普遍化ニ努ムルコト第一ノ任務ナリ。差當リテハ上海對奧地、次デ對共榮國各地間ノ物資交流促進ノタメ商業資金ノ大量融通ヲ行フコト第二ノ任務ナリ。米、英、蘭、白等ノ敵性企業ノ我方運營ノタメニ必要トスル資金、中支那振興傘下諸事業現地ノ調辦ヲ必要トスル資金、或ハ從來ノ日支企業ニシテ復活乃至擴張ヲ行ハシムルニ必要トスル資金等ノ大量的融通ヲ行ヒ以テ現地ニ於ケル生産増強ニ役立テシムルコト第三ノ任務ナリ。右ノタメ上海信託投資會社及上海證券取引所（イヅレモ後記）トハ特ニ密接ナル關係ニ立タシムベキモノトス。

之ヲ要スルニ儲備券ニヨル中南支通貨統一ヲ掩護シ推進シツツ其ノ内部ニ於テ華人資金ノ大量動員シ我方所要ニ寄與セシメンガ爲メ集約的努力ニ外ナラズ。

(二) 在支事業法ノ制定

前項述ブル所ヲ金融市場ノ戰時動員トスレバ、本項說カントスル所ハ言ハバ資本市場ノ戰時動員ト言フベシ。

惟フニ英國ガ前世紀後半以來其ノ在香港及在支會社ヲ香港條例 Hongkong Ordinanceニ據リテ設立セシメ、香港政廳及駐支大使館ノ指揮ノ下ニ一面幾多ノ制限ヲ加フルト共ニ他面諸種ノ保護ヲ與ヘ、平時ハ支那經濟ノ特殊事情ニ即シテ其ノ進出ヲ容易ナラシメ非常時ニハ本國ノ必要ニ應ジテ之ヲ巧ニ利用シタル其ノ深謀ハ就キテ計ヌ

ベキモノ尠カラズ。米國亦一九二二年對支通商條例 China Trade Actヲ制定シテ（一九二五年改正）主トシテ上海ニ本據ヲ置ク在米國商社ノ活躍ニ資スル處アリタリ（此ノ兩條令ノ内容竝ニコレト在上海英米商社トノ關係等ニ付テハ目下事務局ヲシテ研究セシメツツアリ）。獨リ本邦商社ニノミ斯カル例ナシ。

固ヨリ過去ニ付テ是非スルハ本論ノ目的ニアラズ。然レ共今次戰爭ノ開始後上海ヲ再編成スルニ當リテハ、差當リ戦力培養ノ見地ヨリスルモ敵性企業ノ經營ノ爲、或ハ重要産業ノ維持擴張ノ爲必要ナル統制並保護ヲ加フベキモノアリ、之ヲ戰後經營トノ聯關ニ於テ考フレバ米英勢力ノ排除東亞共榮圈ノ完成ノ爲今ヨリ其ノ基礎確立ヲ計ルベキ事業尠カラズ。而モ之等ヲ遂行スルニ當リテハ一面支那ノ特殊事情ニ即應シ、他面華人資本ノ活用ニ俟ツコトヲ必要トス。茲ニ於テ在支本邦系商社ニ對シ在支事業法ヲ制定シ條上ノ條件ヲ充タスコトヲ必要ト認メタリ。

即チ、支那經濟ノ特殊事情ニ即應シテ我方經濟權益ヲ確保シ戰時戰後ヲ通シテ我方必要ニ寄與セシメンガ爲ニハ、第一ニハ其ノ本據ヲ飽クマデ支那内部ニ置キ拮据經營ヲ必要トシ從來ノ支店上海ノ惡弊ヲ一掃スベシ。第二ニハ支那ノ通貨事情ノ變動ニ即シ事業經營ヲ行ハシメ從來ノ一律的ナル圓建ヲ停止スベシ。第三ニハ我國會社法ノ羈絆ヲ脱シ支那財界ト照應スル屈伸性アル多角經營ヲ行ハシムベシ。華人資本ヲ利用シ且日華利害ノ一致ヲ促進センガ爲ニハ、第一ニハ商社ノ組織ヲ在支本邦官憲公認ノ日本法人トシテ信用ヲ確實ナラシムベシ。第二ニハ商社ノ統制我方手中ニ確保スルタメ甲種株ノミ日本人所有トシ其ノ讓渡質入等ヲ制限スルト共ニ、乙種以下ノ株ハ支那人ニモ之ヲ解放シ且其ノ自由賣買ヲ許スベシ。第三ニハ日支兩國人合資ニヨリ或ハ支那人獨資ニヨリ

事業ヲ起スニ當リ日本法人トシテ商社設立ヲ行ヒタルモノハ事情ニヨリテ之ヲ許容スル途ヲ講ズベシ。而シテ上記在支事業法ニヨル商社設立ハ必ズシモ民間ノ申請ニノミヨルモノニアラズ、必要ノ場合ハ在支官憲之ヲ命ズルコトヲ得シムルモノナリ。ノミナラズ、右商社ニ對シテハ適切ナル保護助成ヲ加フルコトアルベキモノナルト共ニ必要ノ事情アレバ株式公開、資金運用其他ニツキ強制命令ヲ行フヲ得シメザルベカラズ。

在支事業法ニヨル商社ノ設立ハ差當リ(一)東亞興業銀行、上海信託投資會社、上海證券取引所(イヅレモ假稱)等ノ中核的事業、(二)敵性企業中電力、瓦斯、水道、碼頭、倉庫、或種ノ工業等ノ如キ現在我方ノ力ニテ經營スル必要アリ且將來共我方ニ把握スル必要アル事業、(三)從來ヨリ存在スル紡績、製粉、煙草等ノ優秀會社ニシテ國策遂行上其ノ株式公開、資金運用其他ヲ命ズルコトノ可能ナル事業等ニ指ヲ屈スベシ。

(三)上海證券取引所ノ改組再開

東亞興業銀行ノ創設、在支事業法ノ制定ヲ論ジ來レバ其ノ不可分の連鎖トシテ上海證券取引所ノ開設モ必然アリ。

從來ノ上海業業公所 Shanghai Stock Exchange ハ英國籍ニシテ其ノ上場株ハ英米系商社株ヲ主トシ、英國ノ上海證券市場動員ノ機關トナリ居タリ。一昨年及昨年ノ金融緩漫、遊資横溢ノ時期ニ當リ英國系在支商社ガ其ノ株式ヲ公開シ華人資金ヲ吸收スルト共ニ多額ノプレミアム利益ヲ攫取シ去レルハ尙吾人ノ記憶ニ新タナリ。而シテ同公所ニ上場セラレアリタル邦人商社株ハ上海紡一種ニ過ギズ、從來ノ上海ニ於ケル我方證券市場ノ利用ハ見ルベキモノナシ。

上海業業公所ハ今次戰爭勃發後營業停止中ナルガ、之ヲ我方ノ手ニヨリ完全ニ改組シタル上再開スルハ必要ナリ。即チ、右ヲ通ジテ第一ニハ前項在支事業法ノ制定ニ於テ述ベタル如ク、我方在支主要企業ノ株式ヲ華人ニモ解放シ、コレヲ通ジテ日支經濟利害ノ一致ヲ齎サシメツツ併セテ我方所要資金ノ調達ニ資セシムルヲ得ベシ。第二ニハ米、英、蘭、白等ノ敵性企業ノ株式ニ對スル華人側放棄ハ之ヲ尊重シ其ノ一部若クハ全部ヲ生カシムル必要アルトコロ、右企業ヲ我方獨立會社ノ創設ニヨリテ承繼セシムルニセヨ或ハ既存會社ニ委託經營セシムルニセヨ、結局ハ華人持分ニ對シ新株又ハ増株ノ交付ヲ以テ整理スルノ必要アルベク、且ツ取引所ニ於ケル其ノ自由賣買ヲ許容セザルヲ得ズ。第三ニハ右兩者ヲ通ジテ目今換物運動ニ偏倚セル華人資本ヲシテ其ノ一半ヲ證券投資ニ振向ケシメ、物價安定及ビ生産増強ノ一石二鳥ニ役立テシムルコトヲ得ベシ。

(四)法制ノ整備

在支本邦系商社ノ設立及ビ經營ヲ容易ナラシムルタメ在支事業法ヲ制定スルノ要アルハ既ニ述ベタリ。右ノ外在支本邦金融機關ガ我方並ニ支那側企業ニ金融スルニ當リ法制ノ不備ノ爲ニ困惑スルコト尠カラズ。例ヘバ工場財團抵當貸付、不動産金融等ニツキテハ我方ノ據ルベキ法規ナシ。從來英國系銀行ガ在支英國人ノミナラズ支那人ノ融資先ニ對シテモ自國法ヲ適用シ處理シ來レルハ事實ナレドモ、我方ニ於テハ其ノ點不明確ナリ。差當リ治外法權ノ枠内ニ於テ適當ナル準則ヲ制定シ、緊急必要ナル商工業資金融通ニ支障ナカラシムルコト肝要ナリ

〔參考資料〕

在支事業法案要綱

(昭和十七年九月一日事務局起案)

目次

- (一) 在支事業法案要綱
- (二) 說明
 - 一、本法制定ノ目的
 - 二、企業形態並ニ企業内容ノ制約
 - 三、華人ノ企業参加及華人資本ノ誘引
 - 四、工業金融ノ可能性賦與
 - 五、本法實施ノ要領

(一) 在支事業法案要綱

- 一、本法ハ中華民國ニ於テ營業ヲ爲スヲ主タル目的トシテ中華民國ニ本店ヲ設クル日本株式會社又ハ株式合資會社(以下在支株式會社又ハ在支株式合資會社ト稱ス)ニ之ヲ適用スルコト
- 二、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ設立ハ主務官廳ノ許可ヲ要スルコト

三、左ニ掲グル營業ヲ爲スヲ主タル目的トシテ在支株式會社又ハ在支株式合資會社ヲ設立スルコトヲ得ザルコト

(一)外國爲替ノ取引

(二)外國トノ輸出入貿易

(三)外國トノ間ノ船舶航運

但シ特ニ主務官廳ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限りニアラザルコト

四、在支株式會社及在支株式合資會社ハ日本名ノ商號ト共ニ華名ノ商號ヲ併用スルコトヲ得ルコト

前項ノ規定ニ依ル華名ノ商號ニハ株式會社又ハ株式合資會社ナル文字ヲ用フルコトヲ要セザルコト

五、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ハ中華民國國幣ヲ以テ資本ノ額ヲ定ムルコトヲ得ルコト

前項ノ規定ニ依リ資本ノ額ヲ定ムルトキハ株式ノ金額ハ國幣二百五十元ヲ下ルコトヲ得ザルコト但シ一時ニ株

金ノ全額ヲ拂込ムベキ場合ニ限り之ヲ國幣五十元迄ニ下スコトヲ得ルコト

六、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ資本金ハ二十萬圓又ハ國幣百萬元ヲ下ルコトヲ得ザルコト

七、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ株式ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要スルコト

(一)日本人ニ限り之ヲ所有シ得ルコト

(二)記名式ナルコト

(三)株主ハ議決權ヲ有スルコト

(四)取締役會ノ承認ナクシテ之ガ讓渡質入ヲ爲スコトヲ得ザルコト

主務官廳ハ前項(四)ノ取締役會ノ承認ヲ其ノ要許可事項ト爲スコトヲ得ルコト

八、前條第一項ノ規定ニ依ル株式ハ主務官廳ノ許可ヲ得タルトキニ限り總株數ノ四十パーセント迄ヲ日本人以外

ニ開放スルコトヲ得ルコト

前項ノ規定ニ依ル開放株式ニ對シテハ主務官廳ノ許可ヲ得タルトキニ限り前條第一項ノ(二)及(四)ノ規定ヲ適

用スルコトヲ要セザルコト

九、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ハ前二條ノ規定ニ依ル株式ノ外ニ左ノ條件ヲ具フル株式ヲ發行スルコト

ヲ得ルコト

(一)國籍ニ拘ラズ之ヲ所有シ得ルコト

(二)無記名式ナルコト

(三)株主ハ議決權ヲ有セザルコト

(四)取締役會ノ承認ナクシテ之ガ讓渡質入ヲ爲スコトヲ得ルコト

前項ノ規定ニ依リ株式ヲ發行スル場合ハ前二條ノ規定ニ依ル株式ヲ甲種株、本條前項ノ規定ニ依ル株式ヲ乙種株トスルコト

乙種株ノ拂込金總額ハ全拂込濟資本金ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ザルコト

一〇、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ハ特ニ主務官廳ノ許可ヲ得タル場合ノ外七、八及九ニ規定セル以外ノ株式ヲ發行スルコトヲ得ザルコト

- 一一、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ガ兩種ノ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ利益又ハ利息ノ配當ニ付株式ノ種類ニ從ヒ格別ノ規定ヲ爲スコトヲ得ルコト
- 一二、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ取締役ノ過半數、會社ヲ代表スベキ取締役アルトキハ其ノ取締役及監査役ハ日本人タルコトヲ要スルコト
- 一三、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ノ會社ヲ代表スベキ取締役及支配人ハ住居ヲ中華民國内ノ本支店所在地ニ定ムルコトヲ要スルコト
- 一四、主務官廳ハ前項ニ規定セル者ニ對シ特別ノ事情ナキ限り其ノ滞在期間ヲ指定スルコトヲ得ルコト
- 一五、主務官廳ハ在支株式會社又ハ在支株式合資會社ニ對シ特別積立金トシテ毎決算期ノ利益ノ一定率ノ積立ヲ命ズルコトヲ得ルコト但シ右特別積立金ハ商法第二百八十條ノ準備金ヲ含マザルコト
- 一六、主務官廳ハ特別積立金ノ運用方法ニ關シ特ニ指定スルコトヲ得ルコト
- 一七、在支株式會社又ハ在支株式合資會社ガ中華民國ニ於テ有スル永租權ハ之ヲ物權トシ民法中所有權ニ關スル規定ヲ準用スルコト
- 一八、前項ノ規定ニ依ル永租權ハ民法ノ規定ニ從ヒ他ノ權利ノ目的タルコトヲ得ルコト
- 一九、前條ノ規定ニ依ル權利ニ對シ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ不動産登記法ヲ準用スルコト
- 二〇、主務官廳ハ前二條ヲ基礎トシ更ニ命令ヲ以テ在支株式會社又ハ在支株式合資會社ニ對スル工場抵當法、信託法等ノ法令ノ準用ヲ定ムルコトヲ得ルコト

一八、主務官廳ハ在支株式會社又ハ在支株式合資會社ニ對シ電氣事業法、瓦斯事業法、交通事業法、銀行法、信託業法、保險業法、無盡業法、倉庫業法等ヲ適用スルニ當リテハ現地事情ニ即應スル爲必要トスル其ノ條項ノ留保、變改ヲ爲シ又ハ適用ヲ爲サザルコトヲ得ルコト

一九、本法ハ本法施行以前ニ設立セラレタル在支株式會社又ハ在支株式合資會社ニモ之ヲ適用スルコト

(二) 說 明

一、本法制定ノ目的

在支事業法制定ノ目的ハ在中支現地企業(既存ノモノ及新設セラルベキモノヲ含ム)ヲシテ戰時中ハ其ノ能力ノ最高度ノ發揮ニ依リテ我が戰力培養ニ寄與セシメ、右ヲ通ジテ戰後ニ於ケル英米勢力ノ拂拭並ニ我方方經濟實力ノ扶植確立ニ資セシメントスルニ在リ。

既ニ支那事變ノ開始以來我が在上海企業ハ從來ノ支店企業ノ形態ヨリ急速ニ現地企業ノ形態ニ轉換シ來レリ。以レ固ヨリ種々ノ理由アリト雖モ、其ノ主タル原因ハ支店企業ノ形態ヲ便利トスル從來ノ貿易海運爲替金融等ノ營業ヨリ急速ニ現地企業ノ形態ヲ便利トスル製造工業其他ノ所謂事業經營ヘト進出シ來レル點ニアルベシ。即チ、昭和十七年三月末日現在ニ於ケル本店在上海邦人株式會社二百三社中、製造工業ヲ營ムモノハ百二社ノ多キヲ數ヘ、之ニ倉庫業、港内内河及陸上運輸業ヲ營ム十五社、不動産及土木建築請負業ヲ營ム八社ヲ加フレバ、所謂「事業會社」ハ百二十五社ニシテ其他ハ七十八社ニ過ギズ。

大東亞戰爭勃發ニ依リ米、英、蘭、白等敵國企業ガ我方手中ニ歸スルト共ニ此ノ形勢ハ更ニ急轉回ヲ見ントシツツアリ。即チ、軍管理下敵國企業中ノ銀行業、保險業、貿易業、航運業等ニ關スルモノハ清算ヲ命ゼラレ、資材原料等ノ關係上繼續運營ノ不可能或ハ不必要ナルモノハ閉鎖セラレ、結局原材料ノ供給可能ニシテ之ガ繼續運營ヲ必要トスルモノノミガ使用セラレツツアリ。而シテ現在ハ何レモ軍管理ノ下ニ既存邦人企業ニ委託經營セラレアレドモ、之ガ能率ノ利用ノ爲ニハ經營者ヲシテ最高度ノ經營精神ヲ發揮セシムル形態ヘノ轉換必要ナリ。即チ、先ヅ新敵産ノ合理的取得ノ方法ヲ工夫スルト共ニ、之ヲ現物出資トシテ獨立ノ、或ハ既存ノ邦人經營ト合シタル新タナル現地企業ノ設立ハ必至ナルベシ。之ガ實現セラルルニ於テハ我方現地企業ハ茲ニ全ク面目ヲ一新セントス。

在支事業法ハ此ノ形勢ニ對處シ、(一)敵國資産ノ我方方ニ於ケル合理的取得ニ便ナラシメ、(二)日本ノ優秀ナル工業技術ノ現地ヘノ導入ヲ計リ、(三)我方方工業金融ノ可能性ヲ賦與シ、併セテ(四)華人資本ノ誘引ヲ圓滑化シ他方(五)現地ニ於ケル當局ノ企業統制ニ便宜ナラシメ、以テ現地生産増強ニ依ル戰力培養ニ資セシメントスルモノナリ。蓋シ、斯クノ如キ形勢ニ當面シテ我方方施策ヲ推進シ、而モ之ヲ現地經濟事情ノ特殊性ニ即應セシメントガ爲ニハ、現地企業ニ對シテ特殊ナル且確乎タル準備法ヲ準備スルハ第一ノ先決要件ナリ。

二、企業形態並ニ企業内容ノ制約

現地ニ於ケル生産増強ノ爲ニ上記ノ如キ施策ヲ推進セントスレバ、一面資材、動力、原料等ノ配給、資金ノ供與等ニ付キテ重點主義的保護助成ヲ加フル必要アルト共ニ、他面其ノ我方方施策ノ成果ガ確實ニ我方方手中ニ歸ス

ルコトヲ要ス。上海及中支ニ於ケル企業濫立ノ中ニアリテ保護助成ヲ加フベキ企業ハ嚴格ナル識別ヲ必要トシ、又内地ト異リ支那人及各國人ニ圍繞セラレテ我方方施策ヲ實行シ且其ノ成果ヲ確保セントスレバ慢然タル規制ヲ以テシテハ之ヲ期待シ得ルモノニアラズ。即チ、

(一)營業許可ハ全般的ニ主務官廳ノ專管トシ(要綱二)

(二)營業種目ハ爲替銀行、貿易商、海運會社等ノ其レヲ除キ製造工業、公共事業、碼頭及倉庫業、港内及内河並ニ陸上運輸業、土木建築請負業、工業及不動産金融業、又ハ之等ニ準ズルモノニ限り(要綱三)

(三)企業形態及營業規模ハ株式會社又ハ株式合資會社ニシテ(要綱一)資本金二十萬圓又ハ國幣百萬元以上、モノ(要綱六)ニ限り

(四)企業ノ支配權ヲ我方方手中ニ確保スル爲ニ株式ノ種類ニ制限ヲ附シ(要綱七及八ノ第一項)且ツ役員ノ國籍ヲ限り(要綱一二)

(五)役員ノ現地定住ノ爲住居及滞在期間ヲ拘束ス(要綱一三)ルノ必要アルベシ。

三、華人ノ企業參加及華人資本ノ誘引

次ニ考慮ヲ加フベキハ華人ノ企業參加及華人資本ノ誘引ノ問題ナリ。今次戰爭ニ依リ我方方軍管理トナリタル露國企業ハ概ネ其ノ國籍敵國ナレドモ其ノ持分ハ必ズモシ敵國人ノミニ屬セズ。特ニ華人側ノ持分大ニシテ樞軸國或ハ中立國人ノ持分モアルベシ。新敵産ヲ基礎トシテ我方方現地企業ヲ起サントスレバ、一面我方方ハ接收敵産ノ

敵國人持分ノミヲ肩代リスル建前トシ他ハ事情吟味ノ上之ヲ甦生セシメヤル用意アルト共ニ、他面之ニ依リテ該企業ニ對スル我方支配權ヲ喪失セザランコトヲ期スル工夫必要ナリ。特ニ後者ニ付テハ上海ハ今ヤ全ク我方威令下ニ歸シタリト雖モ、經濟界ニ浮游スル華人及外國人ハ必ズシモ之ヲ善意ノ者ノミト見ル能ハズ、邦人亦時局ヲ無視シテ功利ニ奔ル輩無キヲ保セズ。非常時下我方特別ノ保護助成モ其ノ實果ヲ收メ得ザル虞アルヲ以テ特ニ注意スルノ要アリ。

同時ニ現地企業ノ所要資金ノ現地調辦ノ必要ハ今後益々加重スベシ。然ルニ接收新敵產ノ量ハ龐大ニシテ、資材ノ添加ニ依リテ之ガ擴張ヲ行ハズ現狀維持ニ止マルトスルモ運轉資金ノ所要量ハ巨額ニ達スベシ。而シテ之ガ供給ハ華人資金ノ誘引ニ依ルヲ必要トシ且便ナリトス。現地企業ノ株式ノ華人ヘノ開放亦其ノ一方法ナリ。以上ノ理由ニ依リ

- (一) 會社ノ商號ハ日本名ト華名トノ併用ヲ許容シテ華人ヘノ接近ヲ計リ(要綱四)
- (二) 資本金ノ通貨ハ日本圓ノミナラズ儲備券ヲモ許容シテ華人財界トノ調和ヲ期シ(要綱五)
- (三) 株式ノ種類ヲ甲種乙種ノ二種トシテ甲種株ノ四十パーセント迄及ビ乙種株ノ全部迄ヲ日本人以外ニ開放スル道ヲ開キ且其レニ依リ我方支配權ノ喪失ヲ來サザル措置ヲ講ジ(要綱八、九、及一〇)
- (四) 役員ノ開放ハ取締役ノ半數迄ハ之ヲ許容シテ前項ノ趣旨ヲ一貫セシメ(要綱一二)
- (五) 利益ノ配當ニ對シテハ乙種株ニ對シテ中國財界ノ慣習タル官利(確定配當)及紅利(割増配當)ヲ附スルコトヲ得セシメ以テ華人資本ノ吸引ニ便ナラシム(要綱一一)

ルノ必要アルベシ。

四、工業金融ノ可能性賦與

現地企業ノ株式ノ華人ヘノ開放ニ依リテ其ノ所要資金ヲ調辦スルト共ニ我方金融機關ノ活動ニ依リテ華人資金ノ糾合ヲ計リ以テ工業資金ノ計畫的供與ヲ圖ルハ必須タリ。其ノ爲現存ノ我方商業銀行六支店及二本店ノ外ニ主トシテ工業金融ノ爲ノ資金吸收及ビ貸出ニ當ル「興業銀行」ノ設立亦必至タルベシ。

右ハ必然的ニ企業其レ自身ノ側ニ於テモ斯種金融ヲ受ケ得ル態勢ノ整備ヲ要請ス。即チ

- (一) 不動産、抵當ノ可能ナル爲永租權及永租地ノ定著物ニ對シ我國ノ土地及其ノ定著物ト同様ノ法的準據ヲ與ヘ(要綱一五、及一六)進ンデハ
 - (二) 工場、財團、抵當其他ヘノ道ヲ開キ(要綱一七)
 - (三) 會社特殊法ノ現地、即應ノ姿勢ヲ採ラシム(要綱一八)
- ルノ必要アルベシ。本項ハ在支事業法ノ根本眼目ニシテ、前段說クトコロモ其ノ爲ノ前提トシテ見ルヲ得ベキ點尠カラズ。右ト共ニ政府ノ特別ナル保護助成ヲ受ケツツ我方課稅權發動ノ留保ト治外法權ニヨル中國課稅ノ免除トニヨリテ國稅ノ負擔ヲ免レ居ル現地企業ニ對シテハ
- (四) 特別積立金ノ制度ヲ定メ其ノ運用ニ對シ主務官廳ヨリ公債買入等ヲ指定シテ之ニ國稅ニ準ズル負擔ヲ負ハシム(要綱一四)

ルコトヲ提議シタシ。

五、本法實施ノ要領

現地企業ノ再編成ハ必ズシモ本法ノ制定ヲ俟チテ之ニ着手スルヲ要セズ。否、緊急化セル生産増強ノ必要ハ可及的速カニ新敵産ノ處理ヲ推進シ、之ト既存企業トヲ一體化シテ其ノ能率の運營ヲ要請スルモノナリ。其ノ際、在支事業法ノ制定ヲ豫想シ、豫メ之ニ照應スル措置ノ講ゼラルルハ望マシキコトナリ（新敵産ノ處理ニ對スル方針及措置要領案ハ別ニ起案シタレバ茲ニハ煩ヲ避ケテ再說セズ）。

在支事業法ノ精神ニ依レバ其ノ制定ニ先ジ或ハ其ノ制定ト共ニ現地企業ハ

(一) 全ク新タニ設立セラルルモノ（恐ラク電話、電氣、瓦斯、水道、交通等ノ公共事業會社、碼頭會社、若干ノ製造工業會社ガ之ニ屬スベシ）。

(二) 既存ノ内地工業會社ノ現地支店企業ト新敵産企業トノ合體ニヨリテ新タニ成立スルモノ（恐ラク内地ノ優秀ナル技術ノ導入ヲ必要トスル若干ノ製造工業會社ガ之ニ屬スベシ）。

(三) 既存ノ現地企業ト新敵産トノ合體ニヨリテ改組擴充スルモノ（恐ラク(一)及(二)以外ノ製造工業會社ガ之ニ屬スベシ）。

(四) 既存ノ現地企業ニシテ其ノ儘存續スルモノ

ノ四種ヨリ構成セラルルニ至ルベシ。而シテ問題ハ最後ノ(四)ナルガ、在支事業法ハ之ニモ適用シテ到底之ガ適用ニ堪ヘザルガ如キ零細又ハ曖昧ナル會社ハ在株式會社ノ圈外ニ追去ルコト必要ナリ（要綱一九）。之ニ依リテ今後共水平線下ノ零細企業或ハ爲ニスル朦朧會社ノ株式組織ニ依ル設立ヲ防止シ、當局企業統制ノ施策ニ便ナラ

シムベシ。

同時ニ目今ハ我方戦力培養ニ直接間接ノ寄與アラシメンガ爲、多種ノ業種ニ付テ日本籍現地企業ヲ設立シ我方支配權ヲ確保スルノ要アレドモ之ヲ戦後經營トノ聯關ニ於テ考察スレバ輕工業特ニ雜工業ノ分野ニ於テハ將來之ヲ華人ニ肩代リスベキモノ尠カラズ。邦人企業ガ資本上技術上華人企業家ノ着手シ得ザル分野ニ進出シ、其他ハ潔ク之ヲ華人資本ノ經營ニ委ネテ主トシテ資材原料ノ取得、製品ノ販賣ニ付其ノ對外連繫ヲ必要トスル部面ヨリ之ヲ制御スルコトトシ、彼我利害錯綜ニ依ル經濟提携ノ現實ヲ創成スベシ。在支事業法ニ依ル當局企業統制ハ斯ル永キ將來ニモ着目スルノ要アリ。

第二款 物資及物價

第一項 物資交流ニ關スル措置

第一項 物資交流ニ關スル措置(案)

(昭和十七年五月二十五日提出)

一、物資交流ニ關スル措置

(一)方 針

上海ヲ中心トスル物資交流ノ再編成ハ、當面上海ヲシテ

(一)軍需物資ノ調達竝ニ軍自活ニ對スル役割

(二)占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ對スル役割

(三)對日滿北支竝ニ對南洋物資供給地トシテノ役割

等ノ任務達成ヲ目標トシテ之ヲ施策スルモノトス。而シテ右ニ關シ基本方針トシテ列舉スベキ點ニアリ。即チ

一、現在南方作戰ニ於ケル皇軍ノ嚇々タル戰果ニヨリ其ノ豊富ナル資源竝ニ廣大ナル商品市場ガ我方方ノ支配下

ニ入りタルガ、彼我間ニ物資ガ自由ニ交流スルニ到ルマデニハ今後尙相當ノ期間ヲ必要トスベシ。又從來英米ノ販賣市場タリシ南方新市場ニ對シテ我方ヨリ輸出ヲ行フニハ價格並決濟機構等ニ關シ調整或ハ整備ヲ要スル點尠シトセズ。從ツテ、目前ノ情勢ヨリスレバ上海ヲ中心トスル物資交流モ亦慢然ト南方貿易ノ再開ニノミ期待スルガ如キコトナク、寧ロ實際ニ可能ニシテ且必要ナル分野ニ對シ施策スベキモノトス。

一、斯クテ上海ヲシテ前記ノ諸役割ヲ遺憾ナク遂行セシメンガ爲、先ヅ現在停頓中ノ工業ノ早急ナル復活ヲ圖リ曲リナリニモ再生産活動ヲ再開セシムルコト最モ肝要ナリ。而シテコレガ爲ニハ、上海ト中支占據地域トヲ通ジテ可及的速カニ有機的經濟圈ヲ構成セシメ、以テ其ノ生産力ノ恢復ヲ促進スルヲ要ス。即チ、上海ノ有スル地理的並ニ歴史的条件ニ則シ、コレト最モ密接ナル關係ヲ有スル奧地トノ物資交流ノ再開促進ヲ圖ルヲ第一トシ、右ト併セテ我方方ノ指導下ニ於テ大陸内地ノ物資交流ノ再編成遂行ヲ企圖スベキモノトス。

三、現在上海ノ物資交流再開促進ニツキ急ヲ要スルハ單ニ對奧地ニノミ限ラレズ對日、對滿、對北支、或ハ對南方等何レモ緊急ヲ要スルモノナルモ、大東亞戰爭進行ノ現段階ニ於テ是等多方面トノ物資交流ヲ同時ニ施策スルノ困難ナルハ固ヨリ多言ヲ要セズ。從ツテ、先ヅ比較的可能性ヲ多分ニ有シ且ツ再生産活動ノ再開促進ニ最モ有利ナル條件ヲ具備スル對奧地ノ物資交流ノ再開ニ其ノ主力ヲ傾注シ、コレヲ以テ漸次各方面ニ對スル物資交流再開促進ノ起動力ヲラシムベキモノトス。

「以上説明(一)大東亞戰爭ニヨル上海對外貿易ノ變化參照」

右ノ基本方針ニ則リ措置スベキ要領次ノ如シ。

(二)措置要領

上海ト他地域間ノ物資交流ニ關スル措置ハ之ヲ大別シテ(一)ストツク物資處理ニ關スル措置、(二)各地別物資交流ニ關スル措置ノ二ニ分ツテ至當トス。以下之ヲ各別ニ論スベシ。

一、ストツク物資處理ニ關スル措置

何レノ方面ニ對シ物資交流ヲ企圖スルモ、其ノ際上海ノ重要性ヲ活用セント欲スレバ、先ヅ上海ヨリ對交流地ニ向ケ其ノ必要トスル物資ヲ供給シ、然ル後ニ其ノ交換物資ヲ上海ニ取得スルヲ物資交流再開ノ方式トスベシ。コノ意味ニ於テ他地域ヨリ原料物資ヲ上海ニ入レ然ル後ニコレヲ以テ上海ノ工業生産活動ノ復活並ニ上海ヨリ他地域ヘノ物資供給ヲ計畫スルガ如キハ妥當ナラズ。幸ヒ上海ニハ戰前ニ輸入セラレタル原料物資並製品ノストツク尠カラザルヲ以テ、コレヲ活用シテ物資交流再開ノ原動力トシテソノ促進ヲ圖ルモノトス。斯クテ物資交流再開ハ先ヅストツク物資ノ處理並其ノ活用ヨリ着手スベキモノトス。

上海地域ニ所在スルストツク物資ノ處理ハコレヲ(一)軍需物資、(二)物動物資、(三)上海向民需物資、(四)他地域向交流物資ノ四ニ區分シ左ノ如ク措置スルヲ適當トスベシ。

(一)軍需物資ノ供給確保並其ノ生産擴充

軍需物資ノ處理ハ大東亞戰爭勃發直後ヨリ着手セラレタルトコロナルガ、右ヲ以テ満足スルコトナク更ニ今後ハ上海ニ於テ生産可能ナル斯種物資ノ繼續的供給確保並其ノ生産擴充ヲ計ルコト急務ナルベシ。特ニ輕工業製

品ノ分野ニ於テハ單ニ中支ニ於ケル軍自活ノミナラズ、ヨリ廣汎ナル軍需物資ノ供給ヲ企圖セザルベカラズ。

(二)物動物資處理ノ重點

物動物資ハ(一)ノ要請ニ應ジ其ノ生産擴充ニ支障ナカラシムルト同時ニ我方ノ物動計畫並生産擴充計畫ニ即應セシメ、コレガタメ必要ナル重點ニ振向ケルモノトス。

(三)上海向民需物資

民需物資ノ供給確保ハ上海ノ治安維持並産業經營上不可缺ノ要件タリ。而シテ、コレガタメニハ單ニ一定數量ノ物資ヲ供給スルノミナラズ、其ノ配給並價格統制ニ必要ナル機構ヲ整備シ、民生ノ保全ニ努ムルコト肝要ナリ。現在米、小麥粉等一部食料品ニ關シテハ稍整備セラレタル統制機構アレドモ其ノ他ノ物資ハ未ダ其ノ整備全カラズ、右機構ノ確立ハ焦眉ノ急務タリ。コレガ整備ハ左ノ要領ニヨルモノトス。

(イ)配給調整綜合機關ヲ設置ス

(ロ)月額配給數量並價格等ハ右機關ノ決定ニヨル

(ハ)下部配給機構ノ整備及統制ハ各市政機關ヲシテコレニ當ラシム

而シテ、前述ノ如ク現在實施中ノ統制品目中小賣マデ一貫シテ稍統制ノ體制ヲ整備セルハ米及小麥粉其ノ他二三ノ食糧品ニ止マレリ。民需品全般ノ統制ノ如キハ固ヨリ不可能ニ屬スレドモ、以上ノ外ニ穀クトモ食用油、砂糖、燐寸、石鹼、煙草、綿製品、藥品、臘燭等ニ對シテハ同様ノ統制ヲ必要トスベシ。其ノ際輸入杜絶ノ物資ニ就テハ現有ストックヲ以テ今後尠クトモ一箇年間程度ノ需要ニ應ジ得ル如ク計畫スルヲ要ス。現状ノ儘推

移センカス種物資ノ濫費又ハ逃避等ニヨリ他地域ニ對スル交流物資ノ裏付ニ困難ヲ生ズルニ至ルベシ。

(四)他地域向交流物資

前記上海向民需物資ノ所要量ト睨ミ合セ、更ニ上海ニ對シ供給可能ナル他地域ノ交流物資ヲ對象トシテ、上海ヨリノ他地域向交流物資ハ夫レ夫レ其ノ必要量ヲ豫メ確保スルコトヲ要ス。右ノ爲ニハ單ニ既製品ノミナラズ其ノ原料物資ヲモ含メテ交流計畫ヲ樹立スベキモノニシテ從ツテ右原料ヲ使用シテ可能ナル限り上海ノ生産活動ノ再開ヲ促スコトモ亦考慮セザルベカラズ。

「以上説明(二)ストック物資ノ處理参照」

二、對奧他物資交流ニ關スル措置

現在ノ物資搬出入統制ハ敵抗戰力ノ減殺、軍票價值維持、物資取得ノ三點ヲ特ニ重要視セルガ如キモ、軍事目的完遂ノタメニハ更ニ進ンデ占據地域ニ於ケル生産力ノ恢復並民生ノ安定ヲ圖リツツ同時ニ我方ノ物資取得ノ一層ノ増加ヲ期スルノ要アリト思料ス。コレガタメニハ左ノ如ク占據地域内ニ於ケル生産力ノ恢復並民生ノ保全ニ必要ナル物資ノ供給圓滑化ヲ圖ルヲ要スベシ。

(一)現在物資移動取締規定ニヨリ搬出ヲ禁止セル第一號物資並戰爭手段ニ利用セラルル虞アル第二號物資中一部品目ハ、治安ノ確保並我方軍需充足ノタメコレガ搬出禁止ノ絶對ニ必要ナルコト言フヲ俟タザルトコロナリ。然レ共、主トシテ民需用品タル第三號物資ハ前述ノ如ク現在上海ニ相當ノストック量アルヲ以テ、コレヲ占據地域ニ於テ生産スル原料物資即チ、第四號物資取得増加ノタメ利用スルノ要アルベシ。即チ、其ノ現有ス

トツク量ト脱ミ合セ、コレガ搬出ノ圓滑化ヲ期スベキモノトス。

(二)物資ノ交流圓滑化ハ單ニ物資供給量ノ割當ヲ増加スルノミニテハ十分ナラズ。又物資ノ現状ハ對奧地交流ニ對シテ特ニ多量ヲ割當テ得ザルノ實狀ニアリ。從ツテ、單ニ多量ノ物資ヲ奧地ニ送り以テ物資交流ヲ促進セントスル方策ハ望ムベカラズ、寧ろ現在實際ニ許容シ得ル物資搬出ノ範圍ニ於テ一層其ノ效果ノ發揚ヲ期スベキナリ。即チ、奧地ニ搬出シタル物資ガ奧地ニ於ケル生産ノ恢復ヲ刺戟シ、搬出ノ結果トシテ逆ニ上海ニ對スル物資ノ搬入ヲモ自然ニ誘導スルガ如キ統制機構ノ整備ヲ必要トス。コレガタメ、物資搬出入統制機構ヲ單ニ一時的ノ臨時措置トセズ半恒久的の措置トシ、又眞ニ我方ノ意圖ヲ體シ進ンデ我方ノ統制ニ協力セントスル者ニ對シテハ華人ニモ物資搬出入ヲ解放シ以テ搬出入許可ノ特權化ヲ防グト共ニ、可能ナル限り物資配給ト收買トノ機構ヲ一元化シ、物資交流ノ圓滑化ヲ期スベキモノトス。

(三)奧地物資ノ上海搬入ノ減少ハ、前記ノ諸原因ノ外ニ買付價格ニ關聯スル困難ニ因ルトコロ尠シトセス。從來上海ノ物資ハ一般的ニ言ヘバ國外物資ガ輸入セラルル關係上奧地物資ヨリモ低ク、其ノ結果奧地物資ノ買付價格ハ制限ヲ蒙レリ。然シ乍ラ、情勢ノ變化ニ應ジ上海ヲ中心ニ占據地域ヲ對象トスル物資交流ノ經濟圏ヲ構成センガタメニハ、現在ノ諸關係ニ即應スル物價ヲ形成セシムルコトヲ要ス。右ノタメニハ奧地物資ノ買付價格モコレニ應ジ適正化ヲ圖ルベキモノトス。

右奧地物資ノ買付價格ノ適正化ハ、單ニ交流物資價格ト其レトノ關係ニ於テノミナラズ、買付物資相互ノ關係ニ於テモコレヲ考慮シ、以テ生産増加ニ資スベキモノトス。

〔以上説明(三)對奧地物資交流ノ促進參照〕

二、說 明

(一)大東亞戰爭ニヨル上海對外貿易ノ變化

一、戰前ノ上海對外貿易

上海ヲ中心トスル物資交流ハ、大東亞戰爭ノ勃發ヲ契機トシ一大轉換ノ過程ニ入レリ。從來上海ハ東亞ニ於ケル物資交流ノ一大中心地タリシノミナラズ、中國市場ヲ世界市場ニ聯繫スル最重要ナル出入口トシテノ機能ヲ果シ來レリ。然ルニ大東亞戰爭勃發以來上海ハ世界市場トノ關聯ヲ完全ニ切斷セラレ、列國ノ工業生産品ノ輸入ガ全面的ニ杜絶シ、同時ニ列國市場ヲ對象トスル工業原料品及農産品ノ輸出モ同様停止スルニ到レリ。コレガ上海及其ノヒンタイランドニ對シテ重大ナル影響ヲ齎スハ固ヨリナルモ、當面ノ問題ハ、

(一)コレニヨリヲ蒙ル我方ノ打擊ヲ最少限度ニ喰止メ

(二)大東亞戰爭ノ遂行竝ニコレト並行的ニ進メラルルベキ東亞共榮團建設ニ即應スル物資交流ノ促進

ヲ圖ルニアリ。コレ等ノ對策措置ハ、先ヅ大東亞戰爭ノ勃發ガ上海ヲ中心トスル物資交流ニ對シテ如何ナル影響ヲ及シタルカラ正確ニ把握シ、其ノ基礎ニ立脚シテ樹立セザルベカラズ。蓋シ、上海ノ發展ガ直接間接ニ歐米列

國トノ關係ニ依存スルトコロ極メテ大ナリシガタメナリ。
 上海ヲ中心トスル物資交流ハ、外國貿易ト國內貿易トニ二大別スルヲ得ベシ。但シ、其ノ意義ハ各々同一ナラズ
 當面ノ問題タル大東亞戰爭ニヨル影響ハ主トシテ外國貿易ノ變化ヲ通ジテコレヲ測定スルヲ得ベシ。
 對外貿易額 上海ノ對外貿易額ハ、日支事變前ノ平時、即チ昭和十一年度ヲ例ニトレバ輸入五億五千三百萬元、
 輸出三億六千百萬元ニ達シ、全支貿易額ニ對シ前者五八・八パーセント、後者五一・一パーセントヲ占メタリ。
 コレニヨリ上海貿易ノ地位ヲ大略推察スルヲ得ベシ。然ルニ翌十二年日支事變ガ勃發シ對外貿易ハ其ノ影響ヲ蒙
 リテ一時減少シタリシガ、昭和十三年以來急速ニ恢復シ、殊ニ昭和十五年以後ハ事變前ノ數字ヲ凌駕スルニ到レ
 リ。昭和十一年以降昭和十六年十一月迄ノ貿易額ヲ表示スレバ左ノ如シ。

上海對外貿易額換算表(註)

年	海關統計(百萬元)		法幣市中相場 ニヨル換算額(百萬元)		英貨換算額(百萬磅)	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
昭和十一年	五五三・〇	三六二・四	五五三・三	三三三・一	三三三・一	三三三・一
同 一二年	五〇八・八	四〇四・三	五〇七・八	三〇二・一	三〇二・一	三〇二・一
同 一三年	二六九・〇	一一二・一	三七六・四	一六・一	一六・一	一六・一
同 一四年	九八〇・〇	一一二・一	一、四〇八・八	三五・五	三五・五	三五・五
同 一五年	七四四・九	五九一・七	二、九七五・六	四八・七	四八・七	四八・七
同 一六年	七四〇・七	一、三六七・二	三、四〇九・七	四五・九	四五・九	四五・九
(一月—十一月)		一、〇三二・六		一、九二九・五		一、九二九・五

輸出

年	海關統計(百萬元)		法幣市中相場 ニヨル換算額(百萬元)		英貨換算額(百萬元)	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
昭和十一年	三六二・四	三六二・四	三六二・四	一一一・六	一一一・六	一一一・六
同 一二年	四〇四・三	四〇四・三	四〇四・三	一一四・一	一一四・一	一一四・一
同 一三年	一一二・一	一一二・一	一一二・一	九・五	九・五	九・五
同 一四年	五九一・七	五九一・七	五九一・七	一四・九	一四・九	一四・九
同 一五年	一、三六七・二	一、三六七・二	一、三六七・二	一一二・四	一一二・四	一一二・四
同 一六年	一、〇三二・六	一、〇三二・六	一、〇三二・六	一五・九	一五・九	一五・九
(一月—十一月)		一、〇三二・六		一、九二九・五		一、九二九・五

(備考)上海日本商工會議所「上海經濟提要」四四—四五頁及「經濟月報」

(註)海關統計ノ貿易金額ハ、海關金單位及法幣換算額ニテ示ス。而シテ、一海關金單位ハ、〇〇一九三五オンスノ金純

分ヲ基準トスル想定通貨、法幣金額ハ海關金單位ヲ法幣ノ公定相場一元——一志二片半ヲ以テ換算シタルモノナリ

然シ、法幣ノ市中相場ハ漸次下落シテ公定相場ヲ遙カニ上廻リ、右法幣換算金額ハ實際ノ貿易額ト著シク相違セル

タメ法幣市中相場及磅換算ニヨリコレヲ見ルヲ至當トス。コノ方法ハ從來「金融商業報」ガ繼續的ニ實施シ來レル

モノナリ。

右貿易表ニ現レタル輸出入ノ不均衡、即チ慢性的ノ輸入超過ハ、物資交流上見落スベカラザル重要問題ナリ。然
 シ、當面ノ問題ハ、右ノ如キ支那貿易並其ノ國民經濟ニ關スル本質的ノ問題ニ非ズシテ、寧ロ右ノ貿易額ヲ構成
 スル物資ノ種類及物資交流ノ相手國別ニアリ。即チ、現在全面的ニ停止セル第三國貿易ノ内容及其ノ大キサノ如

何ガ上海及其ノ關係範圍ニ及ボス影響ノ程度ヲ示ス指標タルモノナリ。
 對外貿易ノ商品別 上海貿易ノ商品別構成ハ、日支事變前ノ平時及事變下ニ於テハ相當顯著ナル變化ヲ遂ゲタ
 リ。今其ノ特徴的ナル變化ヲ指摘スルナラバ、輸入品ニ於テハ金屬及礦石、雜金屬製品、機械及工具、車輛及船
 舶等ノ生産財ガ減ジ、棉花、米、石炭、煙草等所謂土產品ガ反對ニ増加シ、輸出品ニ於テハ油脂、蠟、皮革類、
 茶等主トシテ工業原料品ガ減ジ、紡織纖維類、織糸、編物類等ガ増加セリ。茲ニ事變勃發後ニ於ケル上海經濟ノ
 變化竝上海奧地間ノ物資交流ニ關スル示唆ヲ汲ミ取り得ルガ、問題ノ主タル對象ハ大東亞戰爭勃發後如何ナル物
 資ノ輸出入ガ停止シタルカラ検討スルニアリ。輸出入貿易ノ物資別百分比ヲ表示スレバ左表ノ如シ。

上海輸入重要商品百分比表

	昭和一一	同 一二	同 一三	同 一四	同 一五	同 一六
米	〇・一四	〇・八一	三・二〇	〇・八二	七・四六	一九・三六
石炭	〇・五二	〇・四八	七・〇〇	四・〇六	六・五五	三・七四
棉花	六・二五	二・九七	四・二八	二七・〇一	二八・五二	二二・二二
羊毛及毛織物	四・五四	六・一五	三・三〇	三・一九	三・五〇	二・一八
金屬及礦石	一一・三四	一六・八八	九・九〇	六・〇五	六・七五	二・四一
機械及工具	六・〇四	六・九六	六・五〇	三・四八	二・六〇	一・六八
車輛及船舶	四・三五	四・四四	二・三八	一・六一	一・二二	一・二六
雜金屬製品	六・五五	五・五六	三・七五	二・四四	一・五九	一・四五

煙草	二・七五	三・一四	六・七〇	五・五二	五・五八	三・〇二
化學藥品及製藥劑	五・〇一	五・六一	五・八〇	四・九〇	四・四一	三・八七
染料及塗料	五・五二	四・七〇	五・〇四	四・〇三	二・五五	三・〇一
蠟燭石鹼、油脂、ゴム、樹脂	七・三一	七・二五	一一・三〇	七・九一	五・七二	六・三九
書籍、地圖、紙及 ウツドバルフ	七・五四	八・九四	七・七四	四・三〇	四・二三	四・五五
木材	二・三八	一・九四	一・七〇	一・九〇	二・一一	一・七三
其他	一一・七六	一一・四一	一一・四一	一一・七八	一一・二二	一一・二四
合計	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

上海輸出重要商品百分比表

	昭和一一	同 一二	同 一三	同 一四	同 一五	同 一六
紡織纖維類	一一・三六	一三・八一	一七・〇〇	二六・五四	二二・八九	一五・三八
織糸、編物等	八・〇七	六・一八	一七・六六	一三・三〇	一一・六一	一三・九〇
織物(綿及絹)	五・二〇	四・〇七	九・〇八	九・三二	八・一九	一一・九二
動物及同產品	一四・〇二	一五・五一	二〇・一八	一七・四二	一三・八四	九・四六
礦石、金屬及同製品	四・九三	八・八九	二・九五	三・四九	五・三六	七・九四
皮革類	五・八〇	六・三二	一・九二	二・二九	二・九八	三・〇二
油脂・蠟	一一・一九	一一・三三	三・三八	一・二三	二・八五	二・〇七
茶	六・九〇	五・七八	六・〇七	二・〇一	三・八〇	一・七九

第二款 物資及物價

上海再編成案

九〇

化學藥品及化學合成品	〇・六二	〇・四七	一・二三	一・八八	二・五六	一・五四
其他	二一・九一	一七・六四	二〇・五三	二二・六二	二五・六四	三〇・九八
合計	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

(備考) W. Barnett, Economic Shanghai, P.P. 153-154

但シ、一九四一年ハ海關統計一九四一年十一月ニヨリ算出

上海貿易ガ最モ繁榮ヲ示シタル昭和十五年度ヲ例ニトリ、特ニ重要ナル商品ヲ取出スナラバ、輸入ニ於テハ棉花二八・五二パーセント、米七・四六パーセント、金屬及礦石六・七五パーセント、石炭六・五五パーセント、以上四種合計額ガ約五〇パーセントヲ占メ、輸出ニ於テハ紡織纖維類二二・八九パーセント、動物及同産品一三・八四パーセント、織糸・編物等二二・八九パーセント、織物八・一九パーセント以上四種合計額ハ前者ト同様約五〇パーセントヲ占メタリ。以上輸出入重要商品ノ比較對照ニヨリ、上海ニ於ケル重要産業ハ纖維工業ガ首位ヲ占メ、其ノ原料品ハ主要部分ヲ國外ヨリ輸入シ、更ニ製品ノ販賣市場ヲ主トシテ國外ニ求メテ再輸出シツツアル關係ヲ容易ニ看取スルヲ得ベシ(註)。換言スレバ、上海ノ重要産業ハ原料品ノ供給並製品ノ販賣市場共ニ國外ニ依存シ、國內ヨリ供給スルモノハ單ニ勞働力ノミナリ。而モ勞働力ノ再生産ニ最モ必要ナル食糧品ノ主要部分ガ同じク國外ニ依存セル關係ニアリ。茲ニ奧地トノ物資交流ヲ切斷セラレタル所謂上海ノ孤島の繁榮ノ基礎的關係ヲ見出スヲ得ベシ。

(註) 海關統計ニ於テハ對香港貿易ヲ凡テ國外扱ヒトセルガ、其ノ中ノ一部分ハ香港ヲ仲介トシテ國內ニ再輸入セラルルモノアリ、從ツテ、國外輸出ノ數字ハ前記ノモノヨリモ稍低下スルモノト思考セラル。

對外貿易ノ相手國別 以上見タルガ如キ對外貿易ガ果シテ如何ナル國國ヲ對象トシテ行ハレ來リシカ、コノ問題ノ提出ハ、現在對外貿易ガ殆ンド全面的ニ停止セル状態ニ鑑ミ無意義ナルカノ如ク見ラルルガ、大東亞戰爭ニヨリ蒙ル打擊ノ程度並ニ戰爭遂行ノ過程ニ於テモ再開ノ可能性ヲ有スル對手國ノ貿易實績等、物資交流措置ニ關スル有力ナル資料ヲ提供スルモノナリ。戰前ニ於ケル貿易額ニツキ主要相手國ノ百分比ヲ示セバ左ノ如シ。

上海對外貿易主要相手國別百分比表

相手國	昭和一一					
	同 一一	同 一二	同 一三	同 一四	同 一五	同 一六
英國及其屬領	一一・六二	一一・二二	一一・八七	三三・〇四	三〇・四二	二九・〇二
英 本 國	一一・二五	一一・四八	一〇・八二	六・七二	五・五三	三・三一
英領 印 度	三・〇五	一・八〇	一四・五四	一五・五一	一六・四五	九・〇四
香 港	〇・七五	〇・七五	二・〇八	一・三八	一・六一	二・〇〇
其他英國領	六・五六	六・一九	四・四三	九・四三	六・八三	一四・六七
米國及其屬領	二四・九一	二三・四一	二三・二一	二〇・三四	三一・五五	二二・五三
米 本 國	二四・三一	二二・一九	二二・一九	一九・九五	三一・一三	二二・三三
比 律 濱	〇・五七	〇・九一	〇・九一	〇・四八	〇・四二	一・二〇
和蘭及其屬領	四・九四	五・六一	七・四二	四・六二	六・二二	一〇・五四
和 蘭 本 國	〇・五三	〇・五七	〇・五八	〇・三一	〇・三〇	〇・〇一

上海再編成案

佛領印度	四・四〇	五・〇四	六・八三	四・三二	五・九三	一〇・五三
佛領及其屬領	二・二四	二・五七	七・四四	二・九九	七・九四	一〇・七八
佛本國	一・五七	一・二八	一・五四	一・二七	〇・五〇	〇・一三
佛印	〇・六七	一・二七	五・八二	一・七八	七・四四	一〇・六五
獨逸	一九・三四	一六・二八	一二・六〇	七・八六	二・三九	三・二二
日本及其屬領	一四・三三	一五・八〇	一七・一五	一七・九四	一〇・七六	九・九八
日本本國	一三・二五	一四・七六	一三・七七	一三・八四	八・九三	七・二二
關東租借地	〇・八九	〇・七七	二・九〇	二・五二	〇・五四	一・一七
其他屬領	〇・一九	〇・三七	一・八七	一・五八	一・二九	一・六九
其他各國	一一・六三	一四・一一	二〇・三一	一三・二一	一〇・七一	一四・〇三

輸出

英國及其屬領	一三三・〇五	二四・三〇	四三・五五	三九・二二	四一・五〇	三八・五二
英本國	一〇・三四	一一・七九	一一・〇二	一一・二二	一一・二五	四・六二
英領印度	二・六五	一・四四	七・二二	五・一〇	六・三八	五・二三
香港	五・〇二	六・七二	一七・六四	一五・六三	一五・二六	一九・八三
其他英屬領	五・〇四	四・三五	六・六七	七・二七	八・一一	八・八四
米國及其屬領	三四・七一	三七・五三	一八・六八	三二・六〇	三五・三三	二六・七八
比律賓	一・四六	一・四五	二・六九	二・五三	二・三一	三・六五
和蘭及其屬領	三・三八	二・九四	三・五四	三・八九	三・六四	七・六六
和蘭本國	一一・三三	一・六八	〇・八一	〇・八六	〇・〇八	—
佛領印度	一・〇一	一一・二三	二・六五	二・九八	三・四八	七・六六
佛國及其屬領	一〇・七一	九・五四	一一・一〇	九・一四	四・六二	四・七三
佛本國	六・二八	六・四七	五・三八	四・八六	二・三一	—
佛印	〇・二五	〇・二四	一・一七	二・五四	〇・七五	四・七三
獨逸	六・一〇	九・〇四	一〇・八三	三・七七	〇・〇一	—
日本及其屬領	一六・二八	一〇・九六	八・八二	七・三五	一〇・一〇	一六・五九
日本本國	一一・九四	七・九〇	六・五九	三・八〇	四・〇五	六・五三
關東租借地	二・三六	一・八四	一・八九	二・三〇	三・二七	八・二六
其他屬領	一・九四	一・二二	〇・三四	一・二五	二・七八	一・八〇
其他各國	五・七七	五・六九	三・九三	四・一三	四・八〇	五・七二

(備考) 海關統計、昭和十六年ハ海關統計昭和十六年十一月ニヨリ算出

米本國	三三・〇一	三五・八六	一五・五九	二九・七三	三二・七二	一一・三三
比律賓	一・四六	一・四五	二・六九	二・五三	二・三一	三・六五
和蘭及其屬領	三・三八	二・九四	三・五四	三・八九	三・六四	七・六六
和蘭本國	一一・三三	一・六八	〇・八一	〇・八六	〇・〇八	—
佛領印度	一・〇一	一一・二三	二・六五	二・九八	三・四八	七・六六
佛國及其屬領	一〇・七一	九・五四	一一・一〇	九・一四	四・六二	四・七三
佛本國	六・二八	六・四七	五・三八	四・八六	二・三一	—
佛印	〇・二五	〇・二四	一・一七	二・五四	〇・七五	四・七三
獨逸	六・一〇	九・〇四	一〇・八三	三・七七	〇・〇一	—
日本及其屬領	一六・二八	一〇・九六	八・八二	七・三五	一〇・一〇	一六・五九
日本本國	一一・九四	七・九〇	六・五九	三・八〇	四・〇五	六・五三
關東租借地	二・三六	一・八四	一・八九	二・三〇	三・二七	八・二六
其他屬領	一・九四	一・二二	〇・三四	一・二五	二・七八	一・八〇
其他各國	五・七七	五・六九	三・九三	四・一三	四・八〇	五・七二

右表ニヨリ、第二次歐洲大戰方上海對外貿易ニ對シ深刻ナル影響ヲ及セル以前、即チ、昭和十五年度ノ對外貿易相手國別ヲ例ニトレバ、輸入ニ於テハ英國及其屬領三〇・四二パーセント、米國及其屬領三一・五五パーセントト、以上二國方約六〇パーセント強ヲ占メ、其ノ他ノ和蘭及其屬領、佛國及其屬領、日本及其屬領ノ三國ハイツ

レモノ〇パーセント内外、輸出ニ於テハ英國及其屬領四一・五〇パーセント、米國及其屬領三五・三三パーセント、以上二國が占ムル割合ハ實ニ總輸出額ノ約七六パーセント、其ノ他ノ和蘭及其屬領及佛國及其屬領ノ地位ハ輸入ニ比シテ遙カニ低ク五パーセント以下、日本及其屬領ハ約一〇パーセントナリ。以上ニヨリ上海ノ對外貿易ガ如何ニ英米ニ強ク依存シ、且又日本トノ貿易關係ガ意外ニ稀薄ナリシ事實ヲ知り得ベシ。更ニ對手國ノ本國及屬領別ニ檢討ヲ試ムルニ、輸入ニ於ケル棉花(英印)、米(佛印)、石炭(英印)、礦油類(蘭印)等ノ如キ特產物資ハコレヲ屬領ニ仰ギツツアリ、假リニコレ等ヲ除外スルナラバ、對外貿易ノ主要部分ハ多クハ各國共ニ本國が占メ、屬領ハ其ノ地位低シ。殊ニ東亞共榮圈内ニ位置スル各國屬領トノ物資交流ハ右ニ舉ゲタル特殊物資以外ハ其ノ貿易額極メテ少額ナリ。尤モ第二次歐洲大戰ノ擴大以後歐洲諸國トノ貿易額ガ急激ニ減ジ、反對ニ屬領トノ貿易額ガ増大シタリシガ、カカル轉換ハ上海ノ對外貿易ガ我方ノ企圖セル東亞共榮圈構成ノ方向ニ發展セシコトヲ示スモノニ非ズシテ、寧ロ上海ニ於ケル英米其ノ他列國資本ガ其ノ活動ヲ存續スルタメニ新ナル領域ヲ開拓シタル結果ナルコトヲ見落スベカラズ。

二、開戦後ノ上海對外貿易

大東亞戰爭勃發後ニ於ケル上海對外貿易ノ變化ハ、以上ニ於ケル分析ニヨリ其ノ大勢ヲ推察スルニ難カラズ。大東亞戰勃發以來上海對外貿易ノ範圍ハ日本及南方ノ一小部分ニ限定セラレ、本年第一四半期ノ貿易額ハ戰前ニ比シ、輸入約二〇パーセント、輸出約三〇パーセントニ激減セリ。斯ノ如キ貿易額ノ激減ハ、固ヨリ開戦ニ伴フ一時的ノ萎縮ナルコト瞭カニシテ、南方作戦ニ於ケル皇軍ノ赫々タル戦果ニヨリ貿易再開ノ機會遠カラズ。然シ乍ラ、當面ノ問題ハ單ニ從來ノ貿易額ヲ恢復維持スルニ非ズシテ、質的ノ轉換、即チ、戦争ノ遂行並コレニ伴フ東亞共榮圈建設ニ即應スル物資交流ノ再編成ニアリ。從ツテ、現在ノ對外貿易並近キ將來ニ再開セラルベキ貿易圈内ノ物資交流ハ右ノ如キ視角ヨリコレヲ指導セザルベカラズ。斯ル意味ニ於テ、現在並近キ將來ニ再開セラルベキ貿易圈内ノ諸條件ガ斯ル要請ニ對シテ果シテ如何ナル程度コレニ應ヘ得ルヤ、基本物資ヲ中心ニ檢討ヲ試ムレバ以下ノ如シ。

輸入物資中工業原料品並生活必需物資トシテ特ニ重要ナルモノヲ舉グレバ、棉花、羊毛、石炭、染料、金屬及米等ナリ。

棉花 昭和十五年度ニ輸入セラレタル棉花二十三萬トシ中、主要供給源別ニ輸入額ヲ列舉スレバ、英領印度十萬三千トン、米國七萬五千トン、ブラジル三萬五千トン、エジプト六千トン、英領東アフリカ四千トン、其他四千トンナリ。主要供給源ハ現在イヅレモ上海ノ貿易圏外ニアリ、從ツテ、開戦以後ニ於ケル輸入ハ全面的ニ杜絶セリ。本年第一四半期ノ輸入額ハ僅ニ七百トンニ過ギズ、近キ將來ニ大量ノ輸入ハ困難ナルベシ。

羊毛 昭和十五年度ニ於ケル各種羊毛輸入額ハ約二百八十萬疋、其ノ中濠洲約百十萬疋、英本國約八十三萬疋、米國七十三萬疋、其他約十四萬疋ナリ。開戦後ニ於ケル輸入ハ棉花ト同様殆ンド全面的ニ杜絶シ、輸入皆無ノ状態ニシテ、近キ將來ニ於テモ輸入ノ見込困難ナリ。

石炭 昭和十五年度ノ輸入額約二百萬トシ中、主要供給源ハ佛印六十四萬トン、英領インド六十二萬トン、日本六十萬トン、其他約十萬トンナリ。本年第一四半期ノ輸入額ハ僅カニ十二萬トンニ過ギズ。然シ乍ラ供給源ガイ

ヅレモ上海ノ貿易圏内ニアリ、更ニ以上ノ物資ト異リ國外依存度低キタメ、供給恢復ノ見込困難ナラズ。

染料 昭和十五年度ニ於ケルアニリン染料及其他人造染料輸入總額三百十四萬元(海關金單位以下同)中其ノ供給源別ハ獨逸百九十八萬元、米國五十九萬元、瑞西二十萬元、其他三十七萬元ナリ。開戦後ノ輸入ハ供給源ガイヅレモ上海ノ貿易圏外ニアル關係上完全ニ杜絶狀態ニアリ。

金屬及礦砂 昭和十五年度ニ於ケル金屬及礦砂輸入總額一千八百五十八萬元中、其ノ供給源別ハ、米國ガ壓倒的地位ヲ占メ一千四百八十萬元、英本國百三十四萬元、其他二百四十五萬元ナリ。本年第一四半期ノ輸入額ハ僅カニ十二萬元ニ過ギズ、殆ンド杜絶狀態ナリ。

米 昭和十五年度ノ輸入額三十九萬二千トン、主要供給源ハ佛領印度二十六萬九千トン、タイ國九萬八千トン、ビルマ二萬一千トン、其他四千トンナリ。本年第一四半期ノ輸入額ハ僅カニ四千トンナリ。然シ乍ラ供給源ガイヅレモ上海ノ貿易圏内ニアリ、近キ將來ニ輸入恢復困難ナラザルベシ。

輸出品中在要ナル地位ヲ有スルモノヲ舉グレバ、紡織纖維、織絲、編物等、織物、動物及同產品、皮革類等ナリ。其ノ動向ヲ見ルニ以下ノ如シ。

紡織纖維 昭和十五年度ニ於ケル輸出總額三億一千三百三萬元中、輸出國別ハ米國二億九百三十六萬元、英本國三千六百十九萬元、フランス二千六百二萬元、英領印度九百六十四萬元、其他三千八百八十二萬元ナリ。本年第一四半期ノ輸出額ハ四千八百九萬元、相手國ハ日本及關東租借地ノミニシテ、其ノ他ハ杜絶狀態ナリ。

織絲・編物等 昭和十五年度ノ輸出總額一億七千二百四十二萬元中、輸出國別ハ米國五千三百六十萬元、香港二

千九百十八萬元、英領印度二千八百三十三萬元、蘭領印度一千四百四十四萬元、フランス一千五十四萬元、タイ國六百七十七萬元、シンガポール四百五十三萬元、其他二千八百五十七元ナリ。英米諸國ニハ比較スベキモノナキガ、僅カ乍ラ、香港、蘭領印度、タイ國等上海ノ貿易圏内ニ對スル輸出ガ其ノ一部分ヲ占メタリ。本年第一四半期ノ輸出額ハ僅カニ二十六萬元、相手國ハフランス・タイ國ナリ。

織物(綿及絹) 昭和十五年度輸出總額一億一千二百二萬元、輸出國別ハ香港三千九百四十九萬元、英領印度八二千七百二十六萬元、タイ國九百七十六萬元、シンガポール七百六十二萬元、比律濱七百九十九萬元、蘭領印度三百五十八萬元、濠洲三百二十七萬元、其ノ他一千三百八十六萬元ナリ。相手國別狀況ハ大體ニ於テ前項織絲・編物等ト同様ナリ。本年第一四半期ノ輸出額ハ四十九萬元、タイ國、フランス及日本等ナリ。

動物及同產品(豚毛・玉子等) 昭和十五年度輸出總額ハ一億九千九百九十三萬元、輸出國別英本國九千十五萬元、米國六千七百八十四萬元、香港八百二十萬元、日本七百七十五萬元、關東州五百十六萬元、比律濱四百十六萬元、其他八百六十七萬元ナリ。本年第一四半期ノ輸出額ハ三百九十四萬元、其ノ殆ンド全額ガ日本向ナリ。

皮革類 昭和十五年度輸出總額ハ四千七十二萬元、輸出國別ハ米國三千四百五十七萬元、關東州三百五十三萬元、其他二百六十二萬元ナリ。本年第一四半期輸出總額ハ五百六十五萬元、其ノ大部分ガ關東州向ナリ。

以上ノ檢討ニヨリ、大東亞戰爭勃發以後ニ於ケル上海對外貿易ノ概要ヲ知り得ベシ。輸入ニ於テハ石炭ヲ除キ主要工業原料品、即チ、棉花、羊毛、染料、金屬等ガ全面的ニ杜絶シ、コレ等ノ物資ハ近キ將來ニ於テモ當分輸入増加ノ見込困難ナリ。輸出ニ於テハ近キ將來ニ纖維工業製品ノ販賣市場ヲ東亞共榮圏内ニ求ムルハ敢テ困難ナラザ

ルモ、原料ノ供給並價格調整等ノ諸點ニ於テ相當ノ困難ガ豫想セラル。動物及同產品、皮革類ノ輸出恢復ハ市場ノ關係ニヨリ困難ナリ。米並石炭ハ幸ヒ近キ將來輸入恢復ノ見込確實ナルモ、以上ノ諸點ガ或ル程度解決セラレザル限り見返リ物資輸出ノ點ニ於テ相當ノ困難ヲ伴フモノト思料セラル。

三、物資交流再開促進ノ基本方向

大東亞戰爭勃發以來殆ンド全面的ニ停止状態ニアル上海ノ物資交流再開ノ方途如何。勿論コノ問題ハ、單ニ上海自體ノミノ視角ニ於テコレヲ決定スベキ問題ニ非ズシテ、寧ロ我方ガ上海ヲ如何ニ活用スルカ、其ノ態度方針ニ基キテ決定セラルベキナリ。コノ點ニ關シ「上海再編成ニ對スル基本方針案」ハ、當面上海ヲシテ演ゼシムベキ役割トシテ次ノ三點ヲ指摘セリ。

(一)軍需物資ノ調達並ニ軍自活ニ對スル役割

(二)占據地經營ヲ通ジテノ對重慶攻勢ニ關スル役割

(三)對日滿北支並ニ對南洋物資供給地トシテノ役割

而シテ、更ニ其ノ一層效果の運籌ノタメニ「軍需物資ノ現地調達並ニ軍自活モ亦既往ノ蓄積ノ徵用ノミヲ以テ足レリトセズ、寧ロ今ニ於テ其ノ長期ニ亘ル繼續的供給ヲ企圖シ其ノ源泉ノ培養ヲ志向セザルベカラザル」コトヲ強調セリ。然シ乍ラ、現在ノ如ク物資交流ガ全面的ニ停止セル上海ハ、既往ニ流入シタル物資ノ單ナル貯積場ナリ。換言スレバ上海ハ文字通りノ孤島的存在ニ過ギズ、コレヲ長期ニ亘リ物資供給ノ源泉タラシムルタメニハ再生産活動ノ再開、即チ、原料物資ノ供給確保並生産設備ノ活動ヲ促進スルニアリ。

現在ノ情勢下ニ於テ再生産活動ノ再開促進ヲ圖ルタメニハ上海ト其ノヒンターランドトノ經濟的關係ヲ密接ナラシムルヲ第一要件トス。而シテ、奧地ハ原料資源供給ノ可能性(詳細ハ後述)ヲ有スルノミナラズ、又上海ニ於テ生産セラルル工業製品ノ販賣市場トシテ、曾テハ上海ノ繁榮ヲ培養シタル地域タリ。斯クテ上海ト奧地トノ物資交流促進ハ其ノ地理的歷史的條件ヲ基礎トシテソノ復活ヲ企圖シ、併セテ我方ノ指導下ニ於テ大陸内地ノ物資交流ノ再編成ヲ遂行スルモノナリ。日支事變以來比較的輕視セラレタルカノ觀アル軍事經濟相並ビテノ大陸經營ノ促進ハ茲ニ於テ其ノ意義ヲ全ウスルモノト云フベシ。

現在物資交流再開促進ノ急ヲ要スルハ單ニ奧地ノミニ限ラレズ、對日、對滿、對北支、或ハ對南方等イツレモ緊急ヲ要スルハ同様ナルモ、大東亞戰爭ノ現段階ニ於テコレ等多方面ノ物資交流ヲ同時ニ施策スルノ困難ハ固ヨリ多言ヲ要セザルトコロナリ。從ツテ、比較的可能性ヲ多分ニ有シ且ツ再生産活動ノ促進ニ最モ有利ナ條件ヲ具備スル對奧地ノ物資交流ニ其ノ主力ヲ傾注シ、以テ各方面ニ對スル物資交流促進ノ起動力ヲ茲ニ見出スハ策ヲ得タルモノト云フヲ得ベシ。

尙何レノ方面ニ對シ物資交流ヲ企圖スルモ、上海ノ重要性ヲ強調センニハ、先ヅ上海ヨリ對交流地ノ必要トスル物資ヲ送り、然ル後ニ其ノ交換物資ヲ上海ニ供給スルヲ物資交流再開ノ方式トス。コノ意味ニ於テ、地域ヨリ原料物資ヲ上海ニ入レ然ル後ニコレヲ以テ工業生産活動ノ復活並他地域ヘノ物資供給ヲ計畫スルハ妥當ナラズ。幸ヒ上海ニハ戰前ニ輸入セラレタル原料物資並製品ノストツク尠カラズ、コレヲ以テ物資交流再開ノ原動力トセザルベカラズ。物資交流再開促進ハ先ヅストツク物資ノ處理並其ノ活用ヲ以テ第一條件トス。

(二)ストック物資ノ處理

一、上海ノ物資ストック量

現在上海ノ物資ストック量ハ果シテ如何ナル程度ニアルカ。勿論日本内地ニ於ケルガ如キ正確ナル統計資料ヲ有セズ、又搬出入統制ノ困難ナル上海ニ於テストック量ヲ正確ニ知ルコトハ困難ナルガ、在荷登録其ノ他ノ統計ニヨリコレヲ推測スルノ外ナシ。在荷登録ノ數字ハ多クノ場合實際ノ量ヨリモ過少ナルヲ例トス。コノ點ヲ考慮ニ入レテ次ノ統計ヲ見ルナラバ若干ノ據リ處ヲ得ルベシ。

共同租界内工場ノ原料ストック表(日本人經營工場商社及ビ軍管理工場ヲ除ク)

金屬

壓延鋼	一、九九六・二四四キロトン
鍛鋼	〇・七五九 "
普通鑄鐵	五一〇・八九七 "
屑鐵	三五九・一八九 "
特殊壓延鋼材	七・六五七 "
特殊鍛鋼材	八・七五〇 "
マンガン鐵	〇・〇四五 "

クロム鐵	〇・〇六八キロトン
タンクス鐵	〇・〇二三 "
ニツケル鐵	〇・〇二一 "
ニツケル	〇・一七四 "
非鐵金屬及鑛石	
屑銅	一七四・七五一 "
鉛	五六・四〇二 "
鉛鑛	三六・〇六八 "
亞鉛	六・四九九 "
錫	三・八四九 "
フリキ屑	九六六・二三九 "
アンチモニー	〇・〇七九 "
水銀	二・二六八 "
アルミニウム	一三四・二三六 "
屑アルミニウム	三〇・四八〇 "
ボーキサイド	〇・八二七 "

螢石	五三・七一〇キロトン
クオライト	一五・二六七 "
ビツチ	〇〇・四五 "
黒鉛	二・七五三 "
研磨用材料	三五・八八九 "
石英	一九四・七〇五 "
珪土	九〇・六二六 "
石材	四三九・七三九 "
粘土	三・五五六 "
其他ノ鑛物材	一・六一〇 "
纖維類	
棉花	八一、八六九・五二二ピクル
羊毛	七三、七五〇・〇〇〇ポンド
人絹紡絲又織糸	一四七、〇四五・七六五 "
製紙用パルプ	一二三〇・〇〇〇英トン
西洋紙(A)	三、二七六・五〇〇連

西洋紙(B)	三、三六〇・〇〇〇ポンド
板紙(A)	一、七四八・〇〇〇 "
板紙(B)	八二・〇〇〇 "
日本紙(A)	四、四四四・四七四 "
日本紙(B)	八〇・〇〇〇連
大麻	四四・五三四キロトン
黄麻袋	三、七三〇・〇〇〇個
蘭	三、九八六・八八五ピクル
ポロ	四七・七七〇英トン
木材、原料ゴム、革類	
輸入木材(遮瘡木)	一九・七五〇米トン
原料ゴム	二七・四二六キロトン
各種化學藥品ノ鹽劑	八八五・七三一 "
化學藥品	
食鹽	五三・四八六 "
曹達灰	五八七・三九二 "
第一款 物資及物價	

苛性青連	九〇四・七五七キロトン
鹽酸	七七・二〇一
晒粉	八四・四二三
稀硝酸	三・六六七
硫酸	二六五・三九四
硼砂	二八・四九五
硼酸	六・七三〇
金屬ソヂウム	〇・〇五三
臭化物	〇・四〇一
ベンゾール	一・二四一
石炭酸	四・六〇七
カーバイト	〇・〇〇一
醋酸	一七・五六九
アセトン	三・二七三
メチール	〇・一九〇
フォルマリン	〇・四八八

アルコール(純)	一、六七一・四〇二リットル
稀アルコール	二六、八一七・〇五六
グリセリン	七・七七五七キロトン
合成染料	一〇九、六三六・一九五ポンド
コールタール蒸溜液	九〇〇・〇〇〇
黒炭	三・四六四キロトン
コバルト酸	〇・〇一三
其他染料及塗料	九一・九七四
泥繪具、石灰、漆喰等	一二・六九四
其他化學藥品	九六・七一四
亞麻仁油	〇・四四九
硬化油	七〇・二九九
カーナウバ臘	四六九・二九〇
其他ノ脂肪類及獸脂	八六・二三五
種油	一二八・七六四
生漆	七・七四九

精油	五、七七四・二二八ポンド
樟腦	〇・一六二キログラム
樟腦油	〇・〇三二
薄荷油及薄荷腦	八・一四五
酒石英	〇・〇九一
ゼラチン	〇・〇一四
アラビアゴム	〇・二七二
トラカカントゴム	〇・五〇八
シエラツク	〇・〇九一
松脂	七七・〇六二
其他ノゴム及樹脂	七二・五四一
肥料	二二二・八二二
硝酸膏達	
醫藥材料	六五・二六二キログラム
キニーネ	〇・四五〇
鹽化エメチン	

カフエイン	三・一七五キログラム
アスピリン	九・〇七二
アンチピン	五六・七〇〇
沃土	〇・一一三
葡萄酒	一七・五六九キログラム
乳糖	一・三一五
アイス	二・二八一
オリヅ油	〇・四二五
椰子油	二五三・五九四

(備考) 昭和十七年一月三十一日現在

右ハ租界内、外・華人工場ノストツク原料ノ一斑ヲ示スモノニ過ギズ、尙上海綿業ノ中樞ヲナス日本人關係工場ノ所有スル原料ストツク及商業者ノ所有スル原綿及同製品ハイヅレモ巨額ニ達シ、其ノ總價額ハ上海一ケ年間ノ需要外米ノ代金ヲ滿シ更ニ多分ノ剩餘アリト見込マル。又東亞大戰爭勃發前ニ於ケル上海ノ物價暴騰竝ニ戰爭勃發後ニ於ケル輸入杜絶ヲ見越シテ各種物資ノ思惑ガ盛ニ行ハレ、ソレ等物資ノ大部分ガ開戦後ニ實施セラレタル移動禁止ニヨリ上海ニ貯積セラレ居ルハ當然豫想セララルトコロナリ。勿論右ノ中一部分ノ軍需物資ハ軍當局ニ於テ處理セラレタルガ、其ノ他ノ民需用物資ノ相當額ヲ交流物資ノ裏付ニ充テ得ルコトハ當然豫想セララルトコ

ロナリ。

尙工業動力ノ必需物資石炭ハ、戰前ヨリノ遺憾ナキ準備ニヨリ、上海ノストツク類ハ四十萬噸ヲ遙カニ超過スルノ現況ニアリ。從ツテ、原料物資ノ補給サヘ可能ナラバ上海工業ノ復活ハ敢テ困難ナラズト思料セラル。

二、ストツク物資處理ニ關スル措置

大東亞戰爭勃發後上海ノストツク物資處理ニ關シ、我が方ニ於テ實施シタル措置及ビ其ノ後ノ經緯ヲ見ルニ、開戦ト同時ニ敵性物資ノ差押ヲ斷行シ、續テ重要物資ノ散逸ヲ防止スル目的ヲ以テ十二月十七日上海地區内ニ所在スル指定重要物資(金屬・ゴム製品・自動車・藥品・染料・顔料・油脂・脂類)ノ在荷登録ヲ命ジタリ。而シテコレガ處理ニ關シテハ、陸海軍報道部長談ヲ以テ、「申告セラレタル物資中一部ノモノハ軍ニ於テ國際法ニ準據シ適當ナル方法ニヨリ處理セラルベク、而シテ他ノモノニ關シテハ、之ヲ上海方面一般市民ノ民生ノ爲適當ナル機關ヲシテ公平且有效ニ一般人民ノ需要ニ充テシムル」旨發表セラレタリ。其ノ後本年一月二十日附ヲ以テ聲明ヲ發シ、特ニ指定シタル重要物資(十二月十七日附聲明ニヨル申告物資以外ノ物資ヲ含ム)ニ對シ一時自家用品以外ノ賣買其他所有權ノ移轉質權及ビ抵當權ノ設定等一切ノ權利ノ移動變更若ハ設定、並ニ其ノ所在ノ移動ヲ禁止シ、所要ノ物資處理ガ實施セラレタリ。斯クテ、軍當局ノ物資處理ハ順調ニ進ミ、二月十二日ノ上海方面大日本帝國陸海軍共同聲明(綿糸布・紙類・毛製品等一部民需物資ノ封印解除)及三月二十七日ノ上海方面大日本帝國陸海軍布告(重要物資ノ上海地區内ニ於ケル使用、製造及販賣ニ關シ興亞院華中連絡部ノ一元の統制)ニヨリ一應軍需物資ノ處理ヲ終リ、統制經濟ノ運営ヲ目的トスル物資統制ノ段階ニ入レリ。

然シ乍ラ、ストツク物資ノ處理ハコレニヨリ完了シタルニ非ズ。既ニ瞭ニセラレタルガ如キ方針ニ則リ物資交流ノ再開促進ヲ企圖センガタメニハ、以下ノ要領ニヨリ措置スルコトヲ要ス。

上海地域ニ所在スルストツク物資ノ處理ハ、コレヲ一、軍需物資、二、物動物資、三、上海向民需物資、四、他地域向交流物資ノ四ニ區分シ措置スモノトス。

一、軍需物資ノ供給確保並其ノ生産擴充

軍需物資ノ處理ハ、大東亞戰爭勃發直後着手セラレタルガ、更ニ今後ニ於テハ上海ニ於テ生産可能ナル物資ノ繼續的供給確保並其ノ生産擴充ハ當面ノ急務ナリ。コレハ單ニ中支ニ於ケル軍自活ノミナラズ、輕工業製品ノ分野ニ於テハヨリ廣汎ナル軍需物資ノ供給ヲ企圖セザルベカラズ。

二、物動物資處理ノ重點

物動物資ハ一ノ要請ニ應ジ其ノ生産擴充ニ支障ナカラシメ、同時ニ我が方ノ物資計畫並生産擴充計畫ニ即應シコレガタメ必要ナル重點ニ振向ケルモノトス。

三、上海向民需物資

民需物資ノ供給確保ハ治安維持並上海經營上缺クベカラザル要件タリ。而シテ、コレガタメニハ單ニ一定數量ノ物資ヲ供給スルノミナラズ、其ノ配給並價格統制ニ必要ナル機構ヲ整備シ、民生ノ保持ニ努ムルコト緊要ナリ。コノ點ニ關シ、曩ニ軍當局ハ昨年十二月十七日附抑留物資處理ニ關スル軍報道部長談ヲ以テ「ソノ他ノ物資(軍需以外ノ物資ヲ指ス)ニ至リテハ之ヲ現所有者ニ返還シ若クハ上海方面一般市民ノ幸福ノ爲之ヲ最モ有

效且ツ長期ニ亙ツテ使用シ得ル如キ計畫ニ基キ市政府、工部局、佛公董局等ノ管理下ニ置キ上海方面一般市民ノ幸福ノ爲適當配給セラルル事トナルベクト、其ノ基本方針ヲ闡明セラレタリ。然シ乍ラ、米、小麥粉等一部食品ニ關シテハ右方針ノ實現ヲ見タルモ、其ノ他ノ物資ハ未ダ配給並價格統制機構ノ整備全カラズ、右機構ノ確立ハ焦眉ノ急務ナリ。コレガ整備ハ左ノ要領ニヨルモノトス。

(一)配給調整綜合機關ノ設置

(二)月額配給數量並價格等ハ右機關ノ決定ニヨル

(三)下部配給機構ノ整備及統制ハ各行政機關ヲシテコレニ當ラシム

而シテ、現在實施中ノ統制品目中小賣マデー貫シテ稍統制ノ體制ヲ整備セルハ米及小麥粉其他二三ノ食糧品ニ止マレリ。民需品全般ノ統制ハ固ヨリ不可能ニ屬スルガ、以上ノ外ニ食用油、砂糖、燐寸、石鹼、煙草、綿製品、藥品、蠟燭等ニ對シテモ同様ノ統制ヲ必要トシ、輸入杜絶ノ物資ハストツクヲ以テ今後尠クトモ一箇年間程度ノ需要ニ應ジ得ル如ク計畫セザルベカラズ。現状ノ儘推移スルナラバ、他地域ニ對スル交流物資ノ裏付ニ困難ヲ生ズベシ。

四、他地域向交流物資

上海向民需物資ノ所要量ト睨ミ合セ、更ニ上海ニ供給可能ナル他地域ノ交流物資ヲ對象トシテソレソレ必要量ヲ豫メ確保スルコトヲ要ス。勿論コレハ單ニ既製品ノミナラズ其ノ原料物資ヲ含メテ交流計畫ヲ樹立シ、可能ナル限り生産活動ノ再開ヲ促スコト最モ肝要ナリ。

(三)對奧地物資交流ノ促進

一、日支事變下ニ於ケル對奧地物資交流ノ變化

日支事變後上海ヲ中心トスル國內物資ノ交流ハ極度ニ不振狀態ニアリ。今、試ミニ、海關統計ニヨリ上海ニ移出入セラルル土貨ノ累年狀況ヲ見ルニ、日支事變下ニ於ケル變化ガ窺ハル。

上海轉口土貨總價額表 (單位千元)

昭和	移入	移出	全支海關總額ニ對スル割合
一一	四三五、九六一	四四一、〇八七	三五・四%
一二	四三六、五三六	四一二、九三八	三七・〇%
一三	二三七、六八六	二九九、〇一〇	二八・四%
一四	二〇四、四〇〇	四四四、〇五六	二八・五%
一五	三七七、〇一八	九一〇、九一四	三三・七%
一六	二九一、〇一九	一、〇二四、四七七	二六・六%

(備考) 海關統計ニヨル

右ノ總價額ハ、轉口貨物中課税ノ對象タル土貨ノミニシテ、物資交流狀態全體ヲ表示スルモノニ非ズ。然シ乍ラ、輸入貨物ヲ含メタル總物資ノ交流狀態ガ右ト全ク異ル情勢ニアルトハ到底考ヘラレズ、一應其ノ動向ヲ示スモノト見ルヲ得ベシ。右ノ表ヲ移出入別ニ區分シテ考慮スレバ、移入額ハ減ジ、移出額ニ於テハ右期間ニ約二倍

ニ増加セリ。但シ、コノ期間中ニハ物價ガ約五倍ニ騰貴セルタメ、實質的ニハ移出モ移入ト同様減少ナリ。而シテ、斯カル轉口貿易不振ノ直接的原因ハ、改メテ指摘スル迄モナク、日支事變勃發後長江沿岸一帯ガ作戰ノタメ封鎖セラレタルタメナリ。

上海對奧地間ノ物資交流狀態全體ヲ正確ニ示ス綜合統計ヲ缺クタメ、コレヲ適確ニ把握スルコトハ極メテ困難ナル問題ナリ。然シ乍ラ、差當リノ問題ハ其ノ總金額ニ非ズ、奧地ヨリ上海ニ移入セラルル工業用原料並生活必需物資並其ノ反對ニ上海ヨリ奧地向ノ工業製品ノ移出狀況ガ如何ニ變化シタルカヲ瞭ラカニスルコトナリ。斯カル視角ヨリ各々主要物資ヲ選ミ出シ、海關統計ニヨリ累年ノ移出入狀況ヲ表示スレバ左ノ如シ。

日支事變下ニ於ケル上海轉口貿易中重要物資ノ變化

移入	石炭 (單位千トン)	棉花 (單位トン)	葉煙草 (單位トン)	米 (單位トン)	小麦 (單位トン)
昭和 一	二、九一八	八一、六九三	四四、六二六	二二一、四二九	八四、五〇一
同 一	二、二八八	七二、一六九	二七、三五八	二八九、一三六	七一、二八九
同 一	九九四	七五、七六三	一一、二二四	一四、八九七	一一、九四一
同 一	一、三九八	一一、二八〇	九、五六〇	八三	二〇
同 一	一、二三四	三、八六六	六、一六六	三	—
同 一	一、三七四	四七	一、五二九	—	二四九

昭和 一	糸 (單位トン)	布 (單位トン)	下打 (單位千打)	煙草 (單位トン)	面粉 (單位トン)
一	九五、九二八	四六、六一一	四、〇〇五	一一四、二六〇	三五二、五八六
同 一	七八、四四八	三九、四四九	三、二四七	一一〇、〇四四	二四九、五七五
同 一	六四、〇一四	二八、九六九	一、一一九	九、六八四	一七二、四三七
同 一	七〇、九二七	三四、二一八	二、二〇四	八、八〇〇	二七七、一六七
同 一	五三、五二六	三〇、九九九	一、五一〇	*九、四八六	一六五、二一七
同 一	二六、六七〇	一六、五三二	一、五九四	*五、三三二	一六〇、八二一

(備考) 海關統計ニヨル
*原表ニハ本數ヲ以テ示スモ比較ノ便宜上五十萬本ヲ一トシテ換算シ表出セリ。

右ノ表ハ、各々ノ物資ガ上海港ニ移出入シタルコトヲ示スニ過ギズ、右ノ物資ガ果シテ何處ヨリ來リ、又何處ヘ交流シタルカハ一切瞭ラカナラズ。但シ、ソレガ一應明ラカニサレタトシテモ、長江ノ封鎖以來上海ヨリ南支向ニ移出サレタル物資ガ從來トハ別ノルートニヨリ奧地ニ送り出サレタルモノモ尠カラズアリト見ラレ、其ノ關係ハ極メテ錯綜セリ。唯確實ナルハ、從來右交流物資ノ主要部分ガ上海對奧地間ヲ交流シ、又コレニヨリ中支一帯ノ經濟的發展ニ極メテ重要ナル役割ヲ果シタルコトト、日支事變以來上海ヲ中心トスル右物資ノ交流ガ減少セルコトノ二點ナリ。

斯クノ如キ對奧地物資交流ノ減少ハ、勿論事變ニヨル經濟ノ破壊並ソレニ伴フ混亂等ガ主要原因ナルコトハ勿論ナリ。然シ乍ラ、總括的ニ事變ヨル經濟ノ破壊ト云フモ、問題ノ包括スル具體的内容ハ單ニ前掲表ノ範圍ニ於テ

コレヲ見ルモ單純ナラズ。即チ、物資交流ノ狀況ハ、中支ニ於ケル劃期的ノ作戰タル一九三八年(昭和十三年)ノ翌年以後急激ニ減ジタリ。換言スレバ、直接戦闘ニヨル影響ヨリモ寧ロ攻略作戰後ニ於ケル措置ニヨリソレガ一層減少シタルコトヲ示スモノナリ。

二、我方ノ物資搬出入統制

對奧地物資交流ニ對スル我方ノ統制ハ、昭和十二年十二月南京陥落ニヨル中支作戰ノ第一段階終了後商取引ノ再開復活ト同時ニ實施セラレタリ。即チ、翌十三年軍特務機關及宣撫班並總領事館ノ保護統制下ニ於テ上海占據地間ノ商取引ガ再開セラレ、右各機關ガソレゾレ搬出入許可證ノ發給ニ當レリ。其ノ後翌十三年九月軍票工作ノ強化並作戰ノ擴大(同年十二月武漢攻略)ニ伴フ經濟工作ノ要請ニヨリ統制ガ漸次強化セラレ、翌十五年四月物資移動制限令ノ實施ニヨリ愈々統制ガ本格化シ、次デ同年六月ソレガ最大限度ニ充實セラレテ略現在ト同様ノ統制状態ニ達シタリ。現行ノ統制規定ハ十六年九月二十六日附支那派遣軍總司令部、支那方面艦隊司令部ノ揚子江下流軍占據地域物資移動取締暫行規定ニヨリ、右十五年六月以降實施ノ規定ヲ一部改正シタルモノナリ。統制規定 現在實施中ノ物資搬出入取締要項ハ左ノ如シ(昭和十六年十月一日實施)。

- 一、物資ノ敵地ニ對スル流出ハ一切之ヲ禁止ス。
- 二、左ノ物資(同規第一表第一號物資)ノ移動ハ一切之ヲ禁止ス。

但シ、軍用品及支那派遣軍總司令部又ハ支那方面艦隊司令長官ニ於テ認可セルモノヲ除ク。

第一號物資(一)兵器彈藥類(但シ國民政府軍事委員會ノ許可セルモノヲ除ク)、(二)火藥及同原料(但シ國民

政府礦務局ノ許可セルモノヲ除ク)、(三)阿片及麻藥(但シ國民政府戒煙局ノ許可セルモノヲ除ク)

三、左ノ物資(前同第四號物資)ハ軍需上必要アル場合ニ於テハ其ノ移動ヲ禁止スルコトアルベシ。

- 第四號物資(一)金屬(素材料、非鐵金屬及同製品、圓銀共)、(二)鑛石類及石炭、(三)米、麥、小麥粉、豆類
- (四)麻類及同同製品、(五)棉花、(落綿及屑綿共)、(六)羊毛、(七)皮革及毛皮、(八)牛、豚、羊、(九)葉煙草

四、左ノ物資(前同第二、第三及第四號物資)ヲ上海地區ヨリ軍占據地域内へ搬出セムトスルモノハ陸軍警備地域ニ在リテハ支那派遣軍總司令部第七號上海出張所長、海軍警備地域ニ在テハ第一經理部長ノ許可ヲ受クルモノトシ、其ノ許可證ヲ有セザルモノハ右ノ搬入又ハ積出ヲ禁止ス。

- 第二號物資(一)各種自動車及同部分品、(二)ガソリン及石油類、(三)各種機械類、(四)通信器材(部分品ヲ含ム)及電池、(五)藥品(醫療及工業用)及染料、(六)ゴム(古ゴム共)及同製品、(七)セメント、(八)鹽、(九)食用油、(十)砂糖。

- 第三號物資(一)綿絲布及同製品、(二)毛絲毛織物及同製品、(三)入絹絲布及同製品、(四)蠟燭(原料共)、(五)燐寸、(六)石鹼、(七)紙類、(八)煙草。

第四號物資前掲(略)

五、左ノ物資(前同第四號及第五號物資)ヲ軍占據地域ヨリ上海地域へ搬入又ハ江陰下流揚子江及黃浦江江岸ヨリ軍占據地外へ積出(江海關ノ輸移出ヲ許可セルモノヲ除ク)セムトスルモノハ陸軍警備地域ヨリノ分ハ支那

派遣軍總司令部第七號上海出張所長、海軍警備地域ヨリノ分ハ第一海軍經理部長ノ許可ヲ受クルモノトシ、其ノ許可證ヲ有セザルモノハ右ノ搬入又ハ積出ヲ禁止ス(少量ノ自家用物資ハ許可ヲ要セス)。

第四號物資前掲(略)

第五號物資(一)桐油、(二)豚毛、(三)豚腸、(四)薄荷、(五)生糸生糸屑、(六)繭(屑繭共)、(七)茶、(八)卵及同製品。

六、左ノ物資(前同第一號及第三號物資)ヲ江陰下流揚子江及黃浦江岸ヨリ軍占據地外へ積出(江海關ノ輸移出ヲ許可シタルモノヲ除ク)セムトスル場合ニ在リテハ前項ニ準ジ許可證ヲ有セザルモノハ其ノ積出ヲ禁止ス(少量ノ自家用物資ハ許可ヲ要セス)。

第二號物資及第三號物資前掲(略)

尙右規定ハ國民政府トノ緊密ナル連絡ノ下ニ實施セラレ、清鄉地區物資統制及運銷管理暫行辦法(昭和十六年七月十五日清鄉委員會駐蘇辦事處)及非占領地域へノ移出禁止ニ關スル告示(民國三十年九月二十四日財政部關務署)等ニヨリ一層ソノ完璧ヲ期スルコトナレリ。

統制機構 統制物資ノ搬出入ハ、各商品別ニ業者ガコレヲ擔當シ、ソレゾレ指定業者ノ組織ガ許可申請數量ノ割當並其ノ統制ニ當リ、而シテ物動物資ニ關シテハ特ニ興亞院華中連絡部ノ證明ヲ必要トス。換言スレバ奧地へノ搬出物資ノ供給ハ我方ノ物資搬出計畫ニ基キソレゾレ一定量ノ物資ヲ占據地ノ各地域ニ對シテ供給シ、又奧地ヨリノ搬入物資ハ、概ネ工業原料物資ニアリテハコレヲ需要スル有力業者或ハ國策會社ガ、又米ソノ他ノ一般需

要物資ニアリテハ有力業者ノ組合ガ地域別ニソレゾレ一定計畫數量ヲ擔當ス。以上ノ機構ニヨリ、移動制限物資ノ搬出入ハ凡テソレゾレ特定ノ組織並ニ其ノ割當ニヨリ實施セラレ、一般業者ガ搬出入ヲナスコトニ對シ制限ヲ加ヘ居レリ。

統制ノ影響 我方物資搬出入統制ガ對奧地物資交流ニ對シテ如何ナル影響ヲ齎シタルカ。結論的ニ云ヘバ、先ニ見タルガ如キ物資交流ノ減少ヲ招來シタルガ、其ノ影響具體化ノ過程ハ必ズシモ單純ナラズ、コノ分析ハ、先ヅ我方ガ企圖セル物資搬出入統制ノ目的ヲ明確ニセザルベカラズ。物資搬出入統制ハ其ノ直接的目的ニヨリ左ノ如ク分類スルヲ得ベシ。

(一)敵抗戰力ノ減殺

イ、直接間接戰闘ノ手段トナルベキ物資ノ供給遮斷

ロ、非占據地域ノ經濟封鎖

(二)軍票價值維持

(三)軍需物資ノ確保

(四)原料物資並必需物資ノ確保

右ノ中(一)ノロト、(三)及(四)トハ相互ニ密接ナル關聯ヲ有シ、非占據地域ニ對シ經濟封鎖ヲ加ヘルコトハ同時ニ非占據地域ニ於テ生産セララルル物資ヲ我方ノ手中ニ收ムル障害トモナルベシ。經濟封鎖ヲ受ケタル非占據地域ニ於テハ、從來占據地ヲ通過シテ入荷シタル物資ノ價格ガ法外ニ暴騰シ、國外トノ物資交流ヲ基礎トシテ發

達シタル經濟ノ再生産ガ困難トナリ、其ノ結果生産力ノ低下ヲ招來スルニ到ルハ當然ナリ。但シ、問題ガ右ノ範圍ニ止マル限リ我方ニハ直接何等ノ影響ヲモ實ラサザル等ナルモ、物資ノ動キハ其ノ價格ニ從ヒ、水ノ低キニ流ルル如ク、物價騰貴ノ著シキ非占據地域ニ向ツテ流レ、占據地域ニ於テ生産スル物資ヲモ吸收スルハ極メテ當然ノ歸結ナリ。物資搬出入統制ヲ必要トスル理由ノ一半ヲ茲ニ見出し得ルガ、假リニ物資搬出入統制ガ極メテ理想的ニ實施セラレタリトスルモ、ソレガ搬出入制限ノ效果ヲ目指ス限リ、非占據地域並占據地域内ニ於テモ從來他地域へ賣出スタメニ發達シタル物資ノ生産低下ハ如何トモナシ難キトコロナリ。

其ノ一例トシテ、棉花ノ生産並出廻ニ關シテ右ノ事情ノ檢討ヲ試ムベシ。周知ノ如ク、棉花ハ中國農業ニ於ケル主要農産品ニシテ中支ニ於ケル其ノ生産額ハ日支事變前約五百萬擔ニ達シタリ。然ルニ、日支事變勃發以來生産額並出廻數量共ニ激減セリ。中支棉産統計左ノ如シ。

中支棉花生産比較表 (單位千擔)

昭和七年乃至同一一年五ヶ年平均	五、三二二
同 一二年	四、二一四
同 一三年	三、四七三
同 一四年	三、三五二
同 一五年	三、〇〇〇
同 一六年	三、八七九

出廻リ狀況ノ減少ハ一層甚シキモノノ如シ。抑々中國ニ於ケル棉産ハ對日輸出ヲ目標トシテ發達シ、上海ハ主要輸出市場タリシガ、事變勃發後上海へノ出廻リガ特ニ激減セリ。棉花ノ搬入(上海)ハ前記ノ如キ統制ニヨリ我方ノ業者ガ其ノ殆ンド全部ヲ受入レツツアルガ、近年ニ於ケル取得狀況ハ、業者ノ調査ニヨレバ僅ニ百萬擔至百二十萬擔前後ニ過ギズ而シテ其ノ他密移入四十萬擔、奧地紡績用三十萬擔、座操用八十萬擔ト推算セラル。

以上ヲ要約スレバ、上海市場ニ對スル棉花出廻リノ減少ハ、生産ノ低下ト、更ニコレニ加フル密移入其他搬出入統制ニヨリ生ジタル諸關係ガ搬入ヲ妨ゲツツアリ。コノコトハ米雜穀等ニ於テモ同様ノ事實ヲ指摘シ得ルベシ。

三、對奧地物資交流促進ニ關ルス措置

我方ノ物資搬出入統制ガ對奧地物資交流ヲ阻害シツツアル事情並其ノ影響スルところ以上ノ如シ。然シ乍ラ、物資搬出入統制ヲ必要トスル軍事的理由ハ尙依然トシテ嚴存スルモ亦事實ナリ。但シ、最近ノ情勢ニ應ジ若干考慮ヲ必要トスル點ハ、現行ノ物資搬出入統制ガ大東亞戰爭前ノ上海ヲ對象トシテ實施セラレタル事實ナリ。即チ當時ノ上海ハ、租界ニ於ケル英米ノ權益ヲ通ジテ世界經濟ニ連リ、同時ニ其ノ裏面ニ重慶政權ノ觸手ガ存在セリ。然ルニ、大東亞戰爭ニヨリ英米ノ勢力ハ完全ニ一掃セラレ、同時ニ重慶政權モ亦コノ地域ニ於テ策動スルノ餘地ナカラシムルニ到レリ。斯ル意味ニ於テ、物資搬出入統制ヲ現實ノ事態ニ即應スル如ク再編成ナスハ、其ノ目的ヲ一層效果的ニ貫徹セシムルタメニモ亦必要ナリ。

現在ノ物資搬出入統制ハ、敵抗戦力ノ滅殺、軍票價值維持、物資取得ノ三點ヲ特ニ重要視セルモ、軍事目的ノ完遂ノタメニハ更ニ占據地域ニ於ケル生産力ノ恢復並民生ノ安定ヲ圖リ、同時ニ物資取得ノ増加ヲ期セザルベカラ

ズ。コレガタメニハ占據地域内ニ於ケル生産力ノ恢復並民生ノ保持ニ必要ナル物資供給ノ圓滑化ヲ圖ルコトヲ要ス。

一、現在物資移動取締規定ニヨリ搬出ヲ禁止セル第一號物資並戰爭手段ニ利用セラルル危険アル第二號物資中一部品目ハ、治安ノ確保並我方ノ軍需充足ノタメコレガ搬出禁止ハ絶対ニ必要ナルコトハ言フ俟タザルトコロナリ。然シ乍ラ、主トシテ民需用品タル第三號物資ハ、前述ノ如ク現在上海ニ相當ノストツク量アリ。更ニ占據地域ニ於テ生産スル原料物資、即チ、第四號物資取得増加ノタメ、コレガ搬出ヲ圓滑ナラシムルノ要アリ。斯ル着意ノ下ニ現有ストツク量ト睨ミ合セ、搬出ノ圓滑化ヲ期スルモノトス。

二、物資交流ノ圓滑化ハ、單ニ物資供給量ノ割當ヲ増加スルノミニテハ十分ナラズ、又物資ノ現状ハ對奧地交流ニ對シテ特ニ多量ヲ割當得ザルノ實狀ニアリ。從ツテ、特ニ多量ノ物資ヲ奧地ニ送り以テ物資交流ヲ促進セントスル方策ハ望ムベカラズ、寧ロ現在實際ニ送り得ル物資搬出ノ範圍ニ於テモ一層其ノ效果ノ發揚ヲ期スベキナリ。即チ、奧地ニ搬出シタル物資ガ再生産ノ恢復ヲ刺戟シ、搬出ト同時ニ上海ニ對スル物資ノ搬入ヲ自然ニ誘導スル統制機構ノ整備ヲ必要トス。コレガタメ、物資搬出入統制機構ヲ單ニ一時的ノ臨時措置トセズ、又物資搬出入ニ當ル者ハ、眞ニ我方ノ意圖ヲ體シ進ンデ我方ノ統制ニ協力セントスル者ニ對シテハ華人ニモコレヲ解放シ、搬出入許可ノ特權化ヲ防ギ以テ物資交流ノ圓滑化ヲ期スルモノトス。

三、奧地物資ノ上海搬入ノ減少ハ、前記ノ諸原因ノ外ニ、買付價格ニ關聯スル困難尠カラザリキ。從來上海ノ物資ハ國外物資ガ輸入セラルル關係上奧地ヨリモ低ク、其ノ結果買付價格ノ制限ヲ蒙レリ。然シ乍ラ、現實ノ情

勢ニ應ジ上海ヲ中心ニ占據地域ヲ一體トスル物資交流ノ經濟圈ヲ構成スルタメニハ、現在ノ諸關係ニ即應スル物價ヲ形成セシムルコトヲ要ス。コノタメニハ、買付物資ノ價格モコレニ應ジ適正化ヲ圖ルモノトス。

買付價格ノ適正化ハ、單ニ交流物資價格トノ關係ノミナラズ、奧地物資相互ノ關係ニ於テモコレガ適正化ヲ圖リ、生産増加ニ資スルモノトス。尙物資移動統制ニ關聯シ、上海地區内ニ於ケル物資移動許可ニ關シテモ、工業復興ノタメコレガ一層敏速ナル取扱ヒガ一般ニ要望セラル。

〔參考資料〕

一、揚子江下流軍占據地域物資移動取締暫行規定

目次

第一、總則

第二、物資移動ノ禁止及制限

第三、物資搬出入許可手續

第四、取締及罰則

附則

附表第一

附表第二

附表第三

附錄

第一總則

第一條 本規定ハ揚子江下流日本軍占據地域(以下單ニ軍占據地域ト稱ス)ニ於ケル物資移動取締ニ關シ規定スル

モノトス

第二條 敵地トノ物資交流ハ原則トシテ之ヲ遮斷スルモノトス

第三條 特定物資ノ上海地域ニ對スル搬出入並江陰下流揚子江及黃浦江江岸ヨリ軍占據地區外ヘノ積出ハ之ヲ統

制スルモノトス

本規定ニ於ケル上海地域ノ範圍ハ上海周邊ニ設クル統制線内トス

第四條 軍占據地域内部ニ於ケル物資ノ移動制限ハ特ニ規定スル場合ノ外之ヲ行ハサルモノトス

所定ノ陸海軍許可機關ノ外支那派遣軍總司令官又ハ支那方面艦隊司令長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ物資搬出入許可證又ハ之ニ類似ノ文書ヲ發給スル事ヲ得ス

第二 物資移動ノ禁止及制限

第五條 物資ノ敵地ニ對スル流出ハ一切コレヲ禁止ス

第六條 附表第一ニ掲クル第一號物資ノ移動ハ一切コレヲ禁止ス

但シ軍用品及支那派遣軍總司令官又ハ支那方面艦隊司令長官ニ於テ許可セルモノヲ除ク

第七條 附表第一ニ掲クル第四號物資ニ就テモ軍需調達上必要アル場合ニ於テハ其ノ移動ヲ制限スルコトアル

第八條 附表第一ニ掲クル第二、第三及第四號物資ヲ上海地域ヨリ軍占據地域内ヘ搬出セムトスルモノハ陸軍警

第二款 物資及物價

備地域ニ在リテハ支那派遣軍總司令部第七號上海出張所長、海軍警備地域ニ在リテハ第一海軍經理部長ノ許可ヲ受クルモノトシ其ノ許可證ヲ有セサルモノハ右ノ搬出ヲ禁止ス

第九條 附表第一ニ掲クル第四號及第五號物資ヲ軍占據地域ヨリ上海地區へ搬入又ハ江陰下流揚子江及黃浦江江岸ヨリ軍占據地域外へ積出(江海關ノ輸移出ヲ許可セルモノヲ除ク)セムトスルモノハ陸軍警備地域ヨリノ分ハ支那派遣軍總司令部第七號上海出張所長海軍警備地域ヨリノ分ハ第一海軍經理部長ノ許可ヲ受クルモノトシ其ノ許可證ヲ有セサルモノハ右ノ搬入又ハ積出ヲ禁止ス

附表第一ニ掲クル第二號及及第三號物資ヲ江陰下流揚子江及黃浦江江岸ヨリ軍占據地域外へ積出(江海關ノ輸移出ヲ許可セルモノヲ除ク)セムトスル場合ニ在リテモ前項ニ準シ許可證ヲ有セサルモノハ其ノ積出ヲ禁止ス

第十條 少量ノ自家用物資ニ就テハ前二條ノ許可ヲ要セサルモノトス
其ノ標準附録ノ如シ

第三 物資搬出入許可手續

第十一條 第八條ニ依リ搬出又ハ第九條ニ依リ搬入(積出共)ノ許可ヲ受ケムトスルモノハ前者ニ在リテハ附表第一後者ニ在リテハ附表第三ノ様式ニ依リ夫々所要事項ヲ記載シ署名捺印セル搬出(入)許可願書正副三通ヲ提出スルモノトス

第十二條 搬出入許可ノ申請ハ當該物資ノ所有者又ハ賣買契約當事者ニ於テ自ラコレヲ爲シ他ニ委任シ又ハ代行

セシムルコトヲ得ス

第十三條 搬出(入)許可證ノ交付ヲ受ケタル者ハ該許可證交付機關ノ示ス所ノ條件(許可證所載)ニ服従スルモノトス

第十四條 搬出(入)許可證ハ之ヲ他ニ賣渡シ又ハ讓渡ヲ爲スコト得ス

第四 取締及罰則

第十五條 搬出入取締特ニ上海地域ニ於テハ憲兵主トシテ之ニ當リ領事館警察、支那側警察、稅關之ニ協力スルモノトス

陸海軍警備隊陸軍特務機關又ハ上海海軍武官府、支那側軍隊ハ所要ニ應シ前項取締機關ヲ援助スルモノトス
陸海軍警備隊ハ作戰警備ノタメ必要アル場合及現地ニ取締機關ナキ場合ハ自ラ取締ヲ行フモノトス

第十六條 本規定ニ違反シ又ハ違反セムトスルモノハ軍律ニ照シ處斷セラルルモノトス

附 則

- 一、本規定ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 二、本規定ノ實施ハ揚子江航行ノ取締並ニ外人ノ通行居住等ニ關スル取締ニ關スル規定ノ適用ヲ妨グルコトナシ

附表第一

移動禁止又ハ制限物資

第一號物資

1 兵器彈藥類

(但シ國民政府軍事委員會ノ許可セルモノヲ除ク)

2 火藥及同原材料

(但シ國民政府硝磺局ノ許可セルモノヲ除ク)

3 阿片及麻藥

(但シ國民政府戒煙局ノ許可セルモノヲ除ク)

第二號物資

1 各種自動車及同部分品

2 「ガソリン」及石油類

3 各種機械類

- 4 通信器材(部分品ヲ含ム)及電池
- 5 藥品(醫療及工業用)及染料
- 6 護謄(古護謄共)及同製品
- 7 「セメント」
- 8 鹽
- 9 食用油
- 10 砂糖

第三號物資

- 1 綿絲布及同製品
- 2 毛絲毛織物及同製品
- 3 人絹絲布及同製品
- 4 蠟燭(原料共)
- 5 燐寸
- 6 石鹼
- 7 紙類
- 8 煙草

第二款 物資及物價

第四號物資

- 1 金屬(素材料、非鐵金屬及同製品、圓銀共)
 - 2 鑛石類及石炭
 - 3 米、麥、小麥粉、豆類
 - 4 麻類及同製品
 - 5 棉花(落綿及屑綿共)
 - 6 羊毛
 - 7 皮革及毛皮
 - 8 牛、豚、羊
 - 9 葉煙草
- 第五號物資
- 1 桐油
 - 2 豚毛
 - 3 豚腸
 - 4 薄荷
 - 5 生糸及生糸屑

6 繭(屑繭共)

7 茶

8 卵及同製品

(註) 一、第五號資中生糸、繭、茶、卵及同製品ニ就テハ國民政府ニ於テモ運銷許可制アリ
 二、第二號物資中「セメント」、鹽、第三號物資中綿絲布及同製品、燐寸、煙草ニ就テハ(免稅品ヲ除ク)統稅又ハ鹽稅ノ納入濟證書若クハ統稅局ノ消印アル收入印紙帖布濟又ハ鹽務局ノ運搬許可證ヲ要スルモノトス

附表第二

○出許第 號

物資搬出許可證

搬出入 (本籍地)

(現住) 電話所

(商號) 代表者氏名印

第二款 物資及物價

搬出物資	原產地又ハ製造工場	品種銘柄	數量	包裝相數	價額	單價

- 一、仕向地(荷受人)
 - 二、搬出ノ目的
 - 三、運搬徑路及運搬方法
 - 四、搬出豫定期間
- 附帶條件

- 一、物資積出及仕向地到着ノ都度現地軍官憲ニ届出テ本許可證末尾ニ搬出入數量ノ檢印ヲ受クヘシ一部搬出入ノ時亦同シ
- 二、本許可證ノ寫眞又ハ複寫若クハ本許可ニ基ク權利ノ讓渡ヲ禁止ス
- 三、搬出完了又ハ本證有效期限滿了シタル時ハ遲滯ナク届先ノ受領證ヲ添付シ本許可證ヲ返納スヘシ

有效期間

搬出檢入出檢印欄				送届地檢印欄			
月	日	數量	檢査官印	月	日	數量	檢査官印

(備考) (一)本様式ヲ以テ許可願書トシテ申請セシムルモノトス
 (二)〇印ノ箇所ニハ陸軍ニアリテハ總、海軍ニアリテハ一經ノ文字ヲ挿入ス

附表第三

◎入許第 號

物資積出入許可證

搬出入(本籍地)

(現住所)電話

第二款 物資及物價

商號
代表者氏名印

搬出物	搬入物	原產地又ハ製造工場	品種銘柄	搬入物		
				數量	包裝捆數	價額

- 一、買付地(在品場所、荷送人)
 - 二、届先(荷受人)
 - 三、搬入ノ目的
 - 四、運搬徑路及運搬方法
 - 五、搬入豫定期間
- 附帶條件

- 一、物資積出及仕向地到着ノ都度現地軍官憲ニ届出テ本許可證末尾ニ搬出(入)又ハ積出送届數量ノ檢印ヲ受ク
ヘシ一部搬出(入)又ハ積出ノ時亦同シ
- 二、本許可證ノ寫真又ハ複寫若クハ本許可證ニ基ク權利ノ讓渡ヲ禁止ス

三、搬入若クハ送届完了又ハ本證有効期限滿了シタル時ハ遲滞ナク届先ノ受領證ヲ添付シ本許可證ヲ返納スヘシ

有効期限

檢 査 官 印			送 届 地 檢 査 官 印		
月	日	數量	月	日	數量

- (備考)
- (一)本樣式ヲ以テ許可願書トシテ申請セシムルモノトス
 - (二)◎印ノ箇所ニハ陸軍ニアリテハ總、海軍ニアリテハ一經ノ文字ヲ挿入スルモノトス
 - (三)搬入又ハ積出ノ各場合ニ應ジ不要ノ文字ハ朱線ニ條ヲ以テ之ヲ抹消スルモノトス但シ本樣式ニ準據シ搬入又ハ積出各専用ノ許可證ノ作成ヲ妨ケス

△附 錄

搬出入制限物資中自家用ト認ムヘキ標準

一、搬出(上海地區ヨリ)

品	種	數量	備	考
綿	布	三ヤール	支那服一着分	
綿	糸	二オンス		
人絹	糸布	三ヤール	支那服一着分	
毛織物		三ヤール	同	
毛糸		二オンス		
煙草		百本(但葉卷ハ二五本)		
燐寸		小箱五		
砂糖		一斤	砂糖ニ還元シ得ル菓子モ同量	
鹽		一斤		
蠟燭	燭	一箱	六本	
蠟燭原料		二〇〇瓦	六個(洗濯石鹼モ同シ)	
石鹼	鹼	半打		
食用油		一瓶	約五合	

二、搬入(上海地區ヘ)

米	二庇	
小麥、小麥粉	五庇	
豆類	五升	
卵	二十個	
茶	一斤	

(備考) 一、豚毛、豚脂、桐油、棉花、生糸、生糸屑、繭ハ自家用トシテ認メス

二、本附録以外ノ物資ノ自家用標準ニ就テハ適宜認定スル所ニ依ル

二、工部局ノ物資統制

本資料ハ總領事館經濟部ノ依頼ニ依リ昭和十七年五月事務局ニ於テ作成セルモノナリ、其ノ後統制方法並價格等變更セシモノ多シ

目次

(一)工部局ノ物資統制ノ特徴ト其ノ方法

(二)物資別統制状況

第二節 物資及物價

- 一、米
- 二、小麥粉及小麥
- 三、獸
- 四、玉蜀黍及高粱
- 五、バター及人造バター
- 六、罐入乳製品
- 七、石炭及豆炭
- 八、木炭
- 九、曹達類
- 一〇、ガソリン及礦油類
- 一一、モーター油及グリイズ
- 一二、アルコール、クレオソート及ベンゾール
- 一三、インシュリン
- 一四、藥品、血清、ワクチン並外科用品
- 一五、獸脂、木蠟及棕櫚油(椰子油)

(一)工部局ノ物資統制ノ特徴ト其ノ方法

現在工部局ノ實施セル物資統制ハ、所謂本來的ノ物資統制、即チ、國民經濟ノ物動化乃至ハ生産力擴充ノ要請ニ基ク物資統制ニ非ズシテ、其ノ大部分ハ生活必需物資ノ價格統制ヲ實施スルタメノ裏付操作ヲ目的トスルモノナリ。從ツテ、物資統制ヲ目的トスル獨自ノ法的體制ヲ具備セス、其ノ多クハ價格統制ヲ目的トスル土地章程附則

第五十三條ニ其ノ法的根據ヲ置キ、價格統制ト不可分ノ關係ニアリ。

現在工部局ガ實施セル物資統制ノ方法ハコレヲ大別シテ左ノ四種ニ分チ得ル。

- (一)土地章程附則第五十三條ニヨル價格統制
 - (二)工部局ガ租界内ノ商品ヲ徵用シ配給統制ヲ實施スルモノ
 - (三)消費者ノ申告ニヨリ購買切符ヲ發行シ工部局若ハ小賣店ヨリ購入セシムルモノ
 - (四)特定ノ需要ニ充ツルタメ工部局ガ特ニ許可セルモノ以外該商品ノ移動、販賣、消費ヲ禁止セルモノ
- 右四種ノ關係ヲ簡單ニ説明スルナラバ、(一)ノ方法ハソノ適用範圍最モ廣ク且ツ(二)(三)ノ何レトモ關係シ、現行ノ物資統制ノ基礎トナレルモノナリ。(二)ノ方法ハ米、小麥粉、玉蜀黍等ノ特ニ統制ノ必要ナル重要物資ニ限ラレ、工部局ハコノタメニ該統制品ノ在庫登錄、移動禁止、強制買上等ノ強硬手段ヲ以テ臨ミ、爲メニ國際的自由都市タリシ上海ノ面貌ヲ一變セシメタルモノナリ。(三)ノ方法ハ藥品、罐入乳製品等ノ特種品ニ對シテノミコレヲ實施シ、以上ノ統制措置ト併セテ特ニ配給統制ノ效果ヲ期スルモノナリ。(四)ノ方法ハ主トシテガソリン、燃料油、潤滑油、石油等、現在ソノ供給ガ全ク杜絶シ且ツ特殊用途ニ必要ナルニ物資ニ對シテノミコレヲ實施セルモノナリ。

現在工部局ガ實施中ノ物制統制品目並ソノ方法ヲ一括シ、簡單ナル表出ヲ試ムルナラバ左ノ如シ。

工部局統制物資品目表

品名	價格統制	配給統制	在庫品申告	移動統制	強制買上
米	+	+	+	+	+
小麥粉	+	+	+	+	+
小麥粉製品	+	+	+	+	+
小麥	+	+	+	+	+
麵	+	+	+	+	+
高粱	+	+	+	+	+
玉蜀黍(粉及粒)	+	+	+	+	+
バター及人造バター	+	+	+	+	+
罐入乳製品	+	+	+	+	+
石炭	+	+	+	+	+
豆炭	+	+	+	+	+
木炭	+	+	+	+	+
曹達類	+	+	+	+	+
ガソリン及礦油類	+	+	+	+	+

モーター油・グーリス	+	+	+	+	+
アルコール・ベンゾール	+	+	+	+	+
インシユリン	+	+	+	+	+
藥品、血清、ワクチン、並外科用品	+	+	+	+	+
獸脂、木臘及棕桐油	+	+	+	+	+

(備考) 十八統制實施中ナルコトヲ示ス
 一ハ統制ヲ行ヒ居ラザルコトヲ示ス

(二) 物資別統制狀況

一、米

工部局ハ昨年五月以來米價統制ノタメ香港政廳トノ間ニ契約ヲ結ビ外米ノ輸入配給ヲ實施シ來リシガ、十月中旬以後米價暴騰ノ勢一層甚シキタメ十一月九日佛租界公董局ト協力ノ下ニ土地章程附則第五十三條ニ基キ最高公定價格(一市石二三〇元)ヲ制定シ、併セテソノ移動ニ際シ豫メ工部局ノ發行シタル移動許可證ヲ要スルコトトセリ(同日附布告)。而シテ、米價ノ最高公定價格制度徹底ノタメ、右ト同時ニ共同租界内ノ事務所、工場、病院、慈善團體及學校ニ對シ團體配給ノ申込ニ應ジ一定量宛ノ工部局米ヲ配給シ、又從來ノ指定米小賣店ノ外ニ新ニ戈登路及公平路ニ工部局米小賣販賣所ヲ設置セリ(同日附告示第五五八二號及同五五八四號)。尙買溜ヲ防止スル措置

トシテ爾後米小賣店ハ品質ノ如何ニ拘ラズ工部局ガ隨時定ムル工部局米販賣制限量ヲ超エテ外米ヲ販賣スルコトヲ禁止セリ(同日附告示第五五八五號)。

右一連ノ措置ニヨリ工部局ハ外米ノ輸入配給ヲ一應ソノ統制下ニ置クコトヲ得タリシガ、更ニ既ニ輸入濟ノ外米ニ對シテモコレヲ統制スルノ必要ヲ認メ、十一月十一日個人、銀行、商社及團體等ニ對シ自己ノ用ニ充ツルタメニ必要ナル一箇月分ノ數量ヲ超エテ米ヲ所有若クハ保管中ノ米ノ在荷量ヲ申告スルコトヲ命ジ、又共同租界内ニ所在スル總テノ碼頭倉庫及公共倉庫ニ對シテハソノ倉庫内ニアル全部ノ米ノ完全ナル一覽表ニソノ所有主若クハ保管主ノ氏名ヲ添ヘテ申告スルコトヲ命ジタリ(同日附告示五五八七號及同五五八八號)。ソノ後十二月二日以降ハ在荷申告ヲ行ハザル米ニツイテハソノ移動ヲ許可セザルコトトセリ。因ニ十一月十三日現在ヲ以テ申告セラレタル在荷米ハ總數九三六、三三七袋(浦東在荷ヲ含ム)ニ達シタリ。

十二月八日大東亞戰爭ノ勃發ニヨリ外米ノ輸入ガ完全ニ杜絶スルヤ工部局ハ非常事態ニ應ジテ米ノ配給ヲ繼續スルタメ十二月十一日附布告ヲ以テ十二月十二日以降共同租界内ニ在荷米ノ所有者ハ工部局發行ノ荷渡指圖書ト引換ニソノ在荷ヲ引渡スルコトヲ命ジ、工部局ハ引渡ヲ受ケタル在荷ニ對シ二〇ポンド一袋一五八元九五仙ノ割ニテ代價ヲ支拂フコトトセリ。爾後工部局ハ工部局ガ自ラ輸入シタル在荷米ノ外ニ一一般在荷米ヲ隨時必要ニ應ジコレヲ徵用シテ配給スルコトトセリ。

米ノ配給法ハ指定米小賣店及工部局營米販賣所ヲ通ジテ行フ一般配給ト團體配給トノ二種ノ方法ニヨレリ。

一般配給

指定小賣店ニヨル配給 昭和十七年一月十二日以降兩租界内小賣商ヲ共同租界二四五軒(舊指定店數五百餘軒)、佛租界一五二軒(舊三百餘軒)ニ制限シ右小賣商ニ對シ工部局米統制室ニ於テ每週三日各小賣店ニ對シ豫メ規定セル量ニ從ヒ左記ノ順序ニヨリ荷渡指圖書ヲ交付ス。

イ、賣渡許可証ノ交付

ロ、代金ノ支拂

ハ、荷渡指圖書ノ交付

米小賣店ハ荷渡指圖書ニヨリ工部局指定ノ倉庫ヨリ米ヲ引渡ヲ受ケ、自己ノ負擔ニヨリコレヲ店ニ運ビ工部局ノ規定ニ從ヒ一般ニ配給スルモトス。

工部局營米販賣所ニヨル配給 戈登路(蘇州河以南地區)、公平路(蘇州河以北地區)、佛租界ニ各一箇所宛アリ。販賣方法ハ稍大量ノ米ヲ販賣スル以外一人一回ニ販賣スル數量並價格一般米小賣指定店ト何等異ルトコナシ。米小賣店及工部局營米販賣ヲ通ジテ配給スル外米ノ價格及一名一回ニ渡ス米ノ量ハ、在荷量並ニ日本側ノ方針ニ則リ數次ノ改正ガ行ハレタリ。コレヲ一括シテ表示スレバ左ノ如シ。

改 正月 日	價格(元)	一名一回ニ賣渡ス量	告示番號	
昭和一六・一〇・二七	外米一市石	一一七	十六キロ	五五六六
" 一一・三	"	"	八キロ	五五七四
" 一一・九	"	一一〇	"	五五八〇

昭和一六・二・六	外米一市石	一三〇	四斗口	五六二九
"	"	"	二升	五六三六
"	"	"	三升	五六六三
"	外米三升	四・一〇	"	五六七二
昭和一七・一・二五	小紋米三升	三・二〇	"	五七四五
"	外米三升	四・三〇	三升	五七五一
"	小紋米二升	二・四〇	二升	五七六三
"	外米二升	三・〇〇	"	五七六八
昭和一七・二・九	外米一升	一・六〇	一升	五七七八
"	小紋米一升	一・三〇	"	五七七九
"	外米一升	一・七〇	"	五七九四
"	小紋米一升	一・四〇	"	"
"	外米一升	二・〇〇	"	五八三二
"	小紋米一升	一・七〇	"	"
"	外米一升	一・七〇	"	五八五四
"	外米一升新法幣二・二〇	"	"	"
"	外米一升舊法幣二・九〇	"	"	"

昭和一七・四・一四	小紋米一升新法幣一・九〇	一升	五八五四
"	小紋米一升舊法幣二・五〇	"	"
"	外米一升五合新法幣三・八〇	一升五合	五八九一、五八九三
"	外米一升五合舊法幣五・〇〇	"	"

(備考) 小紋米ハ外米下級品碎米ナリ。

米小賣店及工部局營米販賣所ノ營業日ハ一週間ノ中月火金ノ四日間トシ、月水土ノ三日間ハ米ヲ販賣シ、金曜日ハ代用食トシテ玉蜀黍粒ヲ配給シツツアリ(五月十七日以降玉蜀黍ノ販賣ヲ中止ス)。

團體配給

工部局ハ十一月九日外米最高價格公定ノ措置ヲ實施スルニ當リ共同租界内ノ事務所、工場、病院、慈善團體及學校ノ如キ一時ニ多量ノ米ヲ必要トスル團體ニ對シテハ團體配給ノ申請ヲ提出セシメ、工部局ガ定メタル一定ノ基準ニヨリ所要數量ヲ査定シ配給ヲ實施セリ。大東亞戰爭ノ勃發直後日本側當局ノ指示竝ニ其ノ後本年一月人口疎散計畫ノ實施等ニヨリソレゾレ米ノ配給量ヲ規制シタルタメ團體配給ハ多大ノ制限ヲ蒙リ配給量ヲ減ジタリ。

(備考) 昭和十七年七月六日以降從來ノ方法ヲ改メ米配給券ニヨル配給ヲ實施セリ(六月三十日告示第五九八〇號)。

二、小麥粉及小麥

小麥粉ハ米ト相竝ビテ主要食糧品タルニ鑑ミ、工部局ハソノ統制ノタメ十一月十四日小麥粉一袋以上ノ移動ニハ工部局ノ移動許可證ヲ要スルコトトシ、若シ許可證ナクシテコレヲ移動ナシタル場合ハ警察ニ於テ沒收ナス旨ヲ

告示セリ(同日附告示第五九四號)。次デ同月二十日、個人、商社、銀行及團體等ニテ自己ノ用ニ充ツルタメニ要スル一箇月分以上ノ數量ノ小麥粉ヲ所有乃至保管中ノモノハ凡ベテコレヲ工部局ニ申告セシメ(同日告示第五六〇八號)、十二月二日以降ハ豫メ工部局ニ申告ヲナシタル小麥粉ニアラザレバ移動許可證ヲ發行セザルコトトセリ(十一月二十六日附告示第五六二二號)。又同月四日外國産小麥粉ノ租界外搬出ハ一切コレヲ許可セザルコトニ改メタリ(同日附告示第五六二八號)。

以上ノ如キ方法ニヨリ租界内在荷小麥粉ノ保有確保ニ努メ、更ニ一方十二月八日共同租界内ニアル凡ベテノパン類製造業者、麵類製造業者、小賣業及其他ノ大口消費者竝ニ滬西地特別地區ニ於ケル前記業者(工部局特別税ノ納税者ニ限ル)ヨリ小麥粉ノ需要量ヲ申告セシメコレヲ登録セリ(十二月八日附告示第五六四一號)。

而シテ、小麥粉ノ小賣業者ハ十二月九日以後一人ニ對シ一回一升(一・七二ポンド)以上ヲ販賣スルコトヲ禁ジ、豫メ配給統制ノ準備ニ着手セリ(十二月八日告示第五六八三號)。コノ制限ハ配給統制ノ實施後十二月十五日、一名一市斤(五・五ポンド)ニ引上ゲタリ。

十二月十日、工部局ハ布告ヲ發シ、外國産小麥粉ノ最高價格ヲ決定シ、同時ニ小賣制限以上ノ小麥粉ヲ移動許可證ナクシテ移動スルコトヲ禁ジ、右規定量以上ノ移動許可證ノ發給ハ豫メ登録シタル指定業者及需要者ニ對シテノミコレヲナスコトトセリ。而シテ小麥粉ノ配給ハ卸商ヨリ販賣先ヲ明記シタル移動許可證ノ發給ヲ申告セシメ、コレヲ先ニ申告セシメタル大口ノ消費者ノ需要量ト對照シテ移動許可證ヲ發給ナスコトトシ、移動許可證ノ發給ヲ通ジテ配給規制ヲ實施スル方法ヲトレリ。

ソノ後工部局ハ小麥粉ノ價格統制竝ニ配給ヲ一層圓滑ナラシムルタメ工部局ハ小麥粉ニ對シテモ米ト同様ノ方法ヲ實施スルニ決シ本年二月二日以降共同租界内ニ小麥粉(輸入品)ヲ所有スル者ハ工部局發行ノ荷渡指圖引換ニソノ在荷ヲ引渡スコトヲ命ジ、荷主ニ對シテハカナダ産小麥粉一袋(四九ポンド)三六元、米國産輸出用小麥粉及外國産小麥ヲ原料トシテ上海ニ於テ製造シタル小麥粉一袋(同)三八元ヲ支拂フコトトセリ(一月三十一日附告示第五七六五號)。

小麥粉ノ價格ハ前述ノ如ク十二月十日最高價格ヲ公定シ、爾後二月五日(二月四日附告示第五七七一號)、三月十九日(三月十八日附告示第五八一六號)、四月十五日(四月十四日附告示第五八五七號)ノ三回ニ亙リ値上ヲ實施セリ。現行ノ價格左ノ如シ。

卸賣價格	一 袋(四九ポンド)	新法幣七〇・〇〇元
小賣價格	一 市斤(二・一ポンド)	二・二五
	一 ポンド	二・〇五

尙、小麥粉ノ消費規制ノタメ十二月二十一日以降小麥粉及米粉ヲ菓子類ノ製造ニ使用スルコトヲ禁ジ(十二月十九日附告示第五六八五號)、十二月二十四日附告示第五六九九號ニヨリ修正)、又小麥粉製品ノ價格ヲ適正ナラシムルタメ食パン(十二月十三日附告示第五六六〇號)、麵類(十二月二十三日附告示第五六九五號)、マカロニー等(十二月二十日附告示第五六九六號)、大餅及油炸燴(一月十二日附告示第五七四〇號)ニヨリ最高價格ヲ決定シ、ソノ後二月五日附告示第五七七三號ヲ以テ小麥粉及同製品ノ價格ヲ一括改正シ、其ノ後三月十八日(同日附告示

第五八一六號)及四月十五日(四月十四日附告示第五八五七號)ノ二回ニ亙リ値上ヲ實施セリ。
 原料小麥ニ對シテモ統制ノ必要ヲ認メ、一月十三日小麥ヲ所有シ若シハ保管中ノモノニ對シテ在荷ヲ工部局ニ
 申告セシメ、ソノ移動ニハ移動許可證ヲ必要トスルコトトセリ(同日附告示第五七四二號)。

(備考) 昭和十七年七月以降米切符制ノ實施ニ伴ヒ、食米配給切符ニテ一定量ノ小麥粉ヲ購入シ得ルコトトセリ。

三、麩

麩ハ下級生活者ノ食料並乳牛飼料トシテ重要視スベキモノナリ。大東亞戰爭ノ勃發ニヨリ總テノ食料品ノ供給ガ
 困難化シタルタメ、工部局ハ十二月十八日個人、商社、工場、團體ヲ問ハズ自己ノ一週間分ノ所要量ヲ超ヘタル
 麩ノ所有者並保管者ハ十二月二十日迄ニソノ在荷量ヲ申告スベキコトヲ命ジ、同時ニ十九日以降麩ノ移動及租界
 外搬出ハ凡テ工部局ノ移動許可證ヲ要スルコトトシ在荷ノ確保ニ努メタリ(十二月十八日附告示第五六七五號)。
 昭和十七年三月十九日以降共同租界内ニ於ケル麩ノ最高價格ヲ公定(三月十八日附告示第五八一七號)シタリシ
 ガ、其ノ後四月十七日以降右告示ヲ取消シ、共同租界内ニ於テ麩ヲ所有スルハ工部局發行荷渡指圖書引換ニ左
 ノ價格ニテ在荷ヲ引渡スコトヲ命ジタリ。

一三三ポンド一袋

儲備券五五・〇〇元

六二ポンド一袋

同 二六・五〇元

販賣ノ方法及價格ニ關シテハ未ダ其ノ具體的方法決定シ居ラズ。

四、玉蜀黍及高粱

玉蜀黍及高粱ハ麩ト同様重要ナル代用食品ナリ。工部局ハ在荷確保ノタメ一月七日玉蜀黍及高粱在荷ノ所有者ク
 ハ保管者ニソノ在荷申告ヲ命ジ、同時ニソノ移動並租界外移動ヲ禁止シ、移動ニ當リテハ工部局ノ移動許可證ヲ
 要スルコトトシ(同日附告示第五七三九號)、次デ二月二十日玉蜀黍粉及玉蜀黍粒ニ對シテモ同様在荷申告ヲ命
 ジ、ソノ移動ニ對シテ移動許可證ヲ要スルコトトセリ(同日附告示第七九三號)。

而シテ、玉蜀黍及玉蜀黍粒ヲ代用食品トシテ一般ニ供給スルタメ米及小麥粉ト同様強制買上ノ措置ヲトリ配給ヲ
 實施セリ。即チ、玉蜀黍粉三、四等品並玉蜀黍粒ニ對シテハ三月一日以降、一、二等品ニ對シテハ三月二十一日
 以降ソレヅレ買上並販賣ヲ實施スルコトトセリ(三月二十七日附告示第五八〇〇號、三月二十日附告示第五八一
 九號及同五八二〇號、四月十四日附告示第五八五三號、同五八五五號、同五八五六號)。現行ノ價格左ノ如シ。

買上價格

玉蜀黍粉一號品	一ポンド	一・二〇元
二號品	〃	一・一〇〃
三號品	〃	〇・六〇〃
玉蜀黍粒(純粹品)	〃	〇・六三〃

卸買價格

玉蜀黍粉一號品	四九ポンド一袋	新法幣八〇・〇〇元
二號品	〃	七五・〇〇〃

第二款 物資及物價

三號品	四九ポンド	新法幣七〇・〇〇
玉蜀黍粉一號品	一市斤	新法幣 二・六〇元
"	一ポンド	" 二・三五〇
"	一市斤	" 二・四〇〇
"	一ポンド	" 二・二〇〇
玉蜀黍黍	一・五升	" 一・七〇〇
"	"	舊法幣 二・二〇〇

玉蜀黍粉ノ用途ハ、一、二號品ハ家庭用小麥粉ノ代用品トシテ小麥粉ノ小口需用ニ對シテ同量ヲ購入セシメ（四月十四日附告示第五八五五號）、三號品ハ同ジク小麥粉代用品トシテパンノ製造ニ當リ小麥粉ノ一割ヲ混入使用セシムルモノトス（三月二十日附告示第五八二〇號）。又玉蜀黍粒ヲ米ノ代用品トシテ一週間ノ中金曜日ニ限り一名一・五升ヲ前記價格ニテ販賣シタリシガ（三月四日附告示第五八〇六號及四月十四日附告示第五八五三號）、五月十七日以來在荷皆無トナリ販賣ヲ中止セリ。

高粱ニ關シテハ在荷登錄以外具體的措置ハ現在未ダ決定シ居ラズ。

五、バター及人造バター

バター及人造バターハ共ニ昨年十一月小賣價格統制品トシテ指定シテ（十一月十六日附告示第五五九六號、同十二月二日附告示第五六一一號）價格統制ヲ實施シ、十二月十日更ニソノ在荷ヲ所有スル者ハ工部局ニ對シ直ニ申告スルコトヲ命ジタリ。其ノ後人造バターノ原料椰子油ノ價格ガ暴騰セシタメ、本年四月二十八日附告示第五八七五號ニヨリ人造バターノ小賣最高價格ヲ銘柄ノ別ナク一ポンドニ付儲備券十一元（包裝費込）ニ引上ゲタリ。同日右告示ニ以テ人造バター割當配給ノ準備トシテ、需要者ニ對シ工部局ニ氏名及家族員數ノ登錄ヲ憑憑セリ。（備考）昭和十七年五月以降切符配給ヲ實施セリ。

六、罐入乳製品

罐入乳製品ハ前記バター及人造バター同様第一次乃至第二次小賣價格統制品目發表ニ際シソレゾレノ價格ヲ指定シ價格統制ヲ實施シ、次デ二月九日一箱若クハ一打以上ノ在荷（煉乳、濃縮蒸發乳、粉乳等）ヲ有スル者ハ在荷申告ヲ行フベキコトヲ命ジ、三月十日以降一時販賣禁止ノ措置ヲトレリ（同日附告示第五七八〇號）。而シテ、三月一日以降外國產乳製品ノ販賣ハ許可制ヲ實施スルコトトセリ。同乳製品ヲ購買セントスル者ハ需要スル乳製品ノ種類及月額量ヲ記入シタル願書ヲ工部局ニ提出シ、工部局ハ工部局登錄濟開業醫ヨリ處方箋ノ提出アリタル時コレヲ許可スルコトトセリ。但シ、處方箋ハ病人若クハ一滿三歲未滿ノ乳幼兒ニ對シテノミ發行シ得ル規定ナリ。出願者ニ許可證ヲ下附スルニ當リテハ外國產乳製品ヲ貯藏シ居ラザル旨ノ誓約書ニ署名ヲ求メ、買溜防止ノ措置ヲトルコトトセリ。

輸入乳製品中脫脂乳製品ハ病人及乳幼兒ニ適セザルヲ以テ處方箋ヲ要セズ單ニ工部局ノ移動許可證ノミニテ購買シ得ルコトトシ、上海製罐入牛乳及粉乳ノ販賣ニ關シテハ一切制限ヲ行ハザルコトトセリ。

尙新鮮牛乳並クリームニ對シテハ三月十二日以降工部局ノ許可ナクシテ販賣價格ノ引上禁止ノ措置ヲトリ(三月十一日附告示第五八二二號)、次デ四月二十二日附告示第五八六四號ヲ以テ左記最高價格ヲ實施セリ。

A T T 級及 A 級

一クオート	備備券	四・二五元
一バイント	同	二・一五〃
半バイント	同	一・一五〃
B 級		
一クオート	備備券	三・六五元
一バイント	同	一・八五〃
半バイント	同	一・〇〇〃

七、石炭及豆炭

租界ニ於ケル石炭並ソノ製品豆炭ハ、昨年春以降日本側ノ統制ト世界的ノ船腹不足ノタメ異常ナル石炭饑饉ヲ現出セリ。工部局ハ上海電力會社ニ對スル石炭ノ供給ニ關シテハ昨年四月以來特別ノ考慮ヲ拂ヒタリシガ、ソノ後石炭饑饉ガ愈々深刻ナル状態ヲ呈スルヤソノ直接的脅威ヲ被ル工業生産ノ維持並市民ノ生活防衛ノタメ一般工業用炭、家庭用燃料タル豆炭ニ對シ供給及價格ノ統制ヲソレゾレ實施セリ。

石炭 工部局ハ工業用炭ノ供給並需要ニ關スル基礎資料ヲ得ルタメ十一月十七日工業用石炭使用者ニ對シ一ヶ月

ノ最低需要量及現在荷量ノ報告ヲ命ジタリ(同日附告示第五九九號)。次デ十二月六日工業用石炭使用者ニ對シ十二月十五日迄ニ前記申告書ヲ提出スルコトヲ促シ、申告書ヲ提出セザル者ハ今後ノ石炭手當ニ關シ工部局ノ援助ヲ要セザルモノト見做スコトトセリ(同日附告示第五六三四號)。一方石炭卸商並小賣商ニ對シテモ石炭仕入數量及賣上數量ノ申告ヲ命ジ、前記調査ノ確實ヲ期シタリ。(十二月六日附告示第五六三三號)。而シテ、石炭在荷申告書ハ十二月十三日五トシ以上石炭ノ在荷ヲ有スル者凡テニ對シソノ申告ヲ命ジ(同日附告示第五六五六號)、又石炭卸商及小賣商ニ對スル仕入並販賣量ノ申告ハ十二月二十七日改メテ一九四一年度石炭販賣ノ實績調査ヲ上海煤業同業公會ヲ通ジテ實施セリ。

以上ノ如キ調査ヲ實施シ、販賣統制實施ノ準備中偶々大東亞戰爭ガ勃發シタルタメ、十二月十日以降一籠(一二五口キ)以上ノ石炭ノ移動ヲ禁止シ、事實上一籠以上ノ販賣ニ制限ヲ加ヘ(同日附告示第五六四四號)、移動許可證ニヨル大口石炭ノ販賣ハ十二月十九日以後前記消費調査ニ基キコレヲ實施セリ(同日附告示第五六八二號)。石炭ノ價格統制ハ本年一月一日以後左ノ最高公定價格ヲ決定シ實施セリ(十二月三十一日附告示第五七二八號)。

種類別

貯炭場渡(配達料別)

開漢ランプソフト・コール	一米トン	三六〇元
同 スラックソフト・コール	〃	三六〇〃
同 ホンゲイランプ	〃	六〇〇〃
同 ナツツ	〃	六〇〇〃

第一級 物資及物價

右ノ價格ヲ超エテ石炭ヲ販賣スル者若クハ在荷アルニ拘ラズ實際ノ消費者ニ販賣スルコトヲ肯ゼザル者ニ對シテハ、(イ)石炭若クハ豆炭移動許可證ヲ發行セズ、(ロ)現在在荷ノ沒收、(ハ)將來新規仕入ヲ許サズ、以上三項ノ一若クハソノ全部ヲ適用スルコトセリ。

尙カス會社及電力會社其他特殊石炭使用上優先權アリト認メラルル産業ノタメ適性石炭ヲ確保スル目的ヲ以テ一月一日以降カルカツタ、ボルネオ、バランバン、レマンタン・アドミラルター及サマリダ炭ニ對シ工部局石炭統制委員會ノ許可シタルモノ以外ノ販賣ヲ禁止セリ(十二月三十一日附告示第五七二九號)。

ソノ後石炭ノ配給統制ハ、二月十八日日本側ノ指導ニヨリ租界内華入有力石炭業者十六社ヲ以テ大中聯煤號ヲ、更ニ其ノ下部組織ニ上海煤業商聯合會ヲソレゾレ組織セシメ、興亞院華中連絡部ト協力シ統制ニ當ルコトナレリ。

豆炭 豆炭ニ對スル統制ハ、十二月八日最高價格ヲ五〇キロ二十五元トシ、小賣商ハ一名一回ニ對シ半擔(二五キロ)以上ノ販賣ヲ禁止シ(十二月六日附告示第六三一號及同五六三二號)、販賣毎ニ購入者ノ氏名住所ヲ帳簿ニ記入セシメ買溜防止ノ措置ヲトレリ(十二月九日附告示第六五四四號)。ソノ後十二月十九日半擔以上ノ豆炭ノ移動ニ關シテハ工部局發行ノ移動許可證ノ交附ヲ得テ行ヒ得ルコトセリ(十二月十九日附告示第五六八二號)。爾後價格並販賣制限數量ニ關シ數回改正ヲ實施セリ。一括シテ表示スレバ左ノ如シ。

十二月 八日	販賣 價格	販賣制限數量 (移動許可證不要)	告示番號
十二月 八日	五〇キロ二〇元		五六三一

十二月 八日	五〇キロ二〇元	二五キロ	五六三二
一月 一日	" "	五〇キロ	五七六四
三月二四日	" 三〇元	"	五八二二

八、木 炭

木炭ニ關スル統制ハ二月四日日本側當局ノ要請ニヨリ日本側當局ニ申告シタル者以外ニ對シ在荷申告ヲ命ジタリ爾後何等ノ統制手段ヲ講ジ居ラズ(同日附告示第五七七二號)。

九、曹 達 類

麵類其他穀粉製品ノ價格公定ニ關聯シ、ソノ製造上缺クベカラザル曹達及結晶洗濯曹達ニ對シ左記販賣價格ヲ公定シ、同時ニ合成曹達灰、曹達塊及結晶洗濯曹達ノ在荷申告ヲ命ジ、ソノ移動ハ許可ヲ要スルコトトシ、又移輪出向移動許可證ハ之ヲ發行セザルコトセリ(十二月十二日附告示第五六五四號及同五六五五號)。

曹達塊賣	一市斤(一・一ポンド)	〇・五五元	一斤賣若クハ一斤未滿	〇・六〇元
結晶洗濯曹達	二〇〇ポンド一袋賣一ポンド	〇・六〇元	一ポンド賣	〇・六〇元

尙十二月十九日苛性曹達、珪酸曹達及曹達灰ニ對シテハ松脂ト共ニ重ネテ在荷申告ヲ命ジ、併セテ以上ノ原料ヲ使用スル製造業者ニ對シテソノ在荷數量並所要數量ヲ申告セシメ、移動許可證ノ發給ヲ通ジテ配給統制ヲ實施スルコトトセリ(同日附告示第五六八四號)。

十、ガソリン及礦油類

ガソリン及礦油類ノ統制ハ、大東亞戰爭ノ勃發ニヨリソノ輸入ガ完全ニ杜絶シタル事態ニ應ジ急遽實施セラレ、爾後加速度的ニ統制ヲ強化シ最モ高度ノ統制状態ニ入レリ。即チ十二月十日ガソリン燃料油及ディーゼル油ヲ所有スル者ハソノ在荷數量ヲ申告セシメ、十二月十一日以降車輛用燃料タンク以外ノ容器ニ入レタル前記物資ノ移動ハ運送統制室ニ於テ許可證ヲ交付ヲ受タルニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得ザルコトセリ。而シテ、該許可證ハ眞ニ必要缺クベカラザル移動ニ限リ發行スルモノナルコトヲ明カニセリ(同日附告示第五六四六號)。又同日五〇米ガロン以上ノ石油ヲ有スルモノハ申告ヲ要スルコトトセリ(十二月十日附告示第五六四五號)。翌日滬西越界地域ニ對シテモ同様之ヲ適用セリ(十二月十一日告示五六五一號及同五六五二號)。以上ノ措置ニヨリガソリン及燃料油石油等ノ在荷ヲ確保シタル上、十二月十三日ガソリン及燃料油ノ消費規制ノ目的ヲ以テ移動許可證ノ交付ヲ受ケタル米若クハ麥粉ヲ運送スルトラツク以外共同租界内並滬西越界地區ニ於テ運轉スルトラツクハ凡テ運送許可證ヲ要スルコトトシ、運送許可證ハ手ニテ動シ難キ食品ノ運送ニ限リ發給シ、事實上トラツクニヨリ貨物ノ運送ヲ極度ニ制限セリ(同日附告示第五六五八號)。次デ十二月十八日同様ノ目的ヲ以テ左ニ掲ゲタルモノ以外ノ家用自動車ノ使用ヲ禁止セリ(同日附告示第五六七四號)

- 一、軍隊、警察、衛生局、工部局ニ於テ必要缺クベカラザル車輛
- 二、外交官、領事館ニ屬スル自動車輛中一定數ノ車輛
- 三、公共事業會社ニ屬スル車輛
- 四、醫師及助産婦ニ屬スル自動車輛中一定數ノ車輛、但シ正當ノ理由アル場合ニ限ル

五、移動許可證若クハ運送許可證ヲ發行シタル必需品ノ運送ニ用フルトラツク等
同日工部局ハガソリンノ移動禁止並トラツク及自家用乗用車ノ使用制限ニヨリ不用トナリタルガソリンヲソノ買入ニ支拂ヒタル價格、但シ一ガロンニ付五・二〇元ヲ超エザル價格ニテ引取ニ應スベキ旨ヲ告示シ(十二月十八日附告示第五六七三號)、更ニ十二月二十六日ニ到リガソリン、ディーゼル油、燃料油及石油ノ所有者ニシテ工部局ニ對シ十二月三十日マデニソノ在荷ヲ保留シアル理由ヲ申告セシメ工部局ニ引渡スベカラザル理由ヲ明カニスベキコトヲ改メテ命ジタリ(同日附告示第五七〇八號)。
以上ノ措置ニヨリガソリン及燃料油ヲ所有スル者ハ運送許可證及自家用乗用車ノ使用許可證ヲ有スル者以外總テ工部局ニ提出セシメ特定ノ需要ニ供スルコトトナレリ。而シテ、ガソリンノ消費規制ハ自動車使用許可證ノ發行ヲ通ジテ強行セラレタリ。即チ自動車使用許可證ノ發行數ニヨリコレヲ見ルニ大東亞戰爭勃發前ノ自動車登録臺數ハ合計一、〇五九ニ達シタリシガ、十二月十八日告示第五六七四號ニヨリ同月末ニハ使用許可臺數ヲ一舉ニ九一七臺ニ激減セシメタリ。ソノ後更ニ一月二十一日及二月二十八日ヲソシゾレ期限トシ自動車使用許可證ヲ更新シ、運轉臺數ヲ更ニ強度ニ制限セリ(一月十四日附告示第五七四四號及二月十八日附告示第五七八九號)。自動車使用許可證發行數ヲ一括シテ表示スレバ左ノ如シ。

昭和十六年十二月三十一日現在	トラツク	乗用車
同 十七年 一月三十一日	一一六臺	八〇一臺
九八八臺	八〇六臺	

第二款 物資及物價

同 二月二十八日現在

トラツク乗用車合計六〇四臺

同

臨時發トラツク使用許可證一四八二臺

尙自動車使用許可證ノ交付ヲ受ケタル者ガ自己ノ保有スルガソリンヲ使用スルコトニ對シテハ特別ノ許可ヲ要セザルコトトシタリシガ、但シ自動車ヲ娛樂ノタメ或ハ私用ノタメ使用中ヲ發見シタル場合ハ工部局警察ニ於テ許可證ヲ取消スコトトシ(十二月三十一日附告示第五七一六號)、又許可證ノ交付ヲ受クルコトナク自動車ノ運轉中ヲ現認シタル時ハ初犯ノ場合ハ該車輛ノ所有者ニ對シ嚴重注意ヲ與ヘ再犯ノ場合ハ該車輛ヲ沒收スルコトヲ告示シ(一月五日附告示第五七三四號)、必要缺クベカラザルモノ以外ニガソリンヲ消費スルコトヲ極力防止スルノ措置ヲトレリ。

石油ニ關スル統制ハ、前記在荷申告ノ實施後十二月二十日以後工部局ヨリ許可證ノ交付ヲ受クルニ非ザレバ移動ヲナシ得ザルコトトシソノ消費ヲ規制セリ(十二月十九日附告示第五六七九號)

十一、モーター油及グリース

十二月十六日以後モーター油及グリースハ工部局運送統制室ノ發行スル許可證ナクシテ移動スルコトヲ禁止シ、該許可證ハ特ニ必要缺クベカラザル移動ニ限り發行スルコトトセリ。同時ニ五ガロン以上ノモーター油及五ポンド以上ノモーター油及グリース在荷ハ總テ十二月十九日迄ニ申告スルコトヲ命ジタリ。申告ヲ行ハザル在荷及許可證ナクシテ移動シタル在荷ハ沒收スルコトハ諸他ノ統制ト同様ナリ(十二月十五日附告示第五六六六號)。
尙三月二十四日工業用潤滑油及グリースニ對シテモノノ在荷ヲ有スル者ニ在荷申告ヲ命ジ、同品ノ移動禁止ニ關

シ發シタル告示ニ注意スルコトヲ促シタリ。無申告在荷並許可證ナクシテ移動セル在荷ニ對シテハ之ヲ沒收シ補償ヲ行ハザルハ一般ノ統制ニ同ジ(同日附告示第五八一三)。

十二、アルコール、クレオソート及ベンゾール

一月七日以降ガソリン補充用ノ目的ヲ以テアルコール及ベンゾールノ移動ヲ禁止シ、工部局運送許可證室ニ於テ豫メ移動許可證ノ交付ヲ受ケタル場合ニ限り移動ヲ得ルコトトセリ。但シ該許可證ハ必要已ヲ得ザル場合ニ限り發行スルコトトセリ(一月六日附告示第五七三八號)。

十三、インシュリン

インシュリンハ糖尿病及花柳病ニヨル精神病ノ治療ニ缺クベカラザル藥品ナルガ、ソノ供給ハ主トシテ獨逸及米國ヨリ輸入セラレタリ。然ルニ大東亞戰爭勃發ニヨリソノ供給ガ杜絶シタルタメ、工部局ハ在荷確保及配給統制ノ目的ヲ以テ十二月二十日醫師藥局並卸買業者ノ保有スルインシュリン及インシュリン劑ノ在荷全部ヲ同二十二日迄ニ工部局衛生局ニ引渡スルコトヲ命ジ(同日附告示第五六八六號)、インシュリンノ需要者ハ一定所要量(單位)ヲ記載セル工部局登録醫師ノ申請書ヲ提出セシメ配給スルコトトセリ(十二月二十三日附告示第五六九八號)。同藥品ハ在荷僅少ナルニモ拘ラズ、右措置ニヨリ現在モ尙需要者ニ對シ供給ヲ確保シ來レリ。

十四、藥品、血清、ワクチン並外科用品

本項品目ニ對シテハ昨年十一月以來土地章程附則第五十三條ニヨル價格統制品トシテ最高小買價格ヲ公定シ價格統制ヲ實施シ來リシガ、大東亞戰爭ノ勃發ニヨリ其ノ供給ガ困難トナリタルタメ、十二月十三日先ヅアテプリン

外六十三種ノ頭記品目ヲ指定シテ同藥品ノ所有者ニ在荷申告ヲ命ジ、大量移動ニハ移動許可證ヲ要スルコトトセリ(同日附告示第五六五九號)。翌日更ニ前記告示ノ品目ニレシテ外五十八品目ヲ追加シ同様ノ措置ヲトリ、許可證ナクシテ移動シ若クハ十二月十七日迄ニ申告ヲナサザリシ前記品目ハ之ヲ沒收スルコトアルベキ旨告示セリ(十二月十四日附告示第五六六二號)。カクテ前記醫藥用品ハ價格統制並移動許可證ノ發給ヲ通ジ統制ヲ實施シツツアリ。

十五、獸脂、木蠟及棕櫚油(椰子油)

十二月十八日獸脂、木蠟及棕櫚油ノ所有者ニソノ在荷申告ヲ命ジ、同時ニ右ノ原料ヲ使用スル製造者ニ對シソノ在荷及所要數量ヲ申告セシメ、又ソノ移動ニ當リ工部局ノ移動許可證ヲ要スルコトナリ(同日附告示第五六七一號)。右品目ハ共ニ石鹼原料トシテ使用セラレ、又棕櫚油ハ一部分人造バターノ製造ニ用セラレルモノナリ。

第二項 物價ニ關スル措置要領(案)

(昭和十七年六月十九日提出)

一、物價ニ關スル措置要領

儲備券一色化工作ノ進展ヲ契機トシテ物價ノ昂騰著シキモノアルモ、右ハ通貨事情ニ因由スルヨリモ根本的ニハ物資ノ現有ストック量ニ限リアル事、對奧地並ニ對外物資交流ノ促進並ニ當地生産ノ増強モ遽カニ其ノ成果ヲ期待シ得ザル事等ノ事情ニ基クモノナルヲ以テ、物價ニ對スル施策ノ目標ハ其ノ昂騰ノ機械的抑制乃至引下ゲニ置クコトナク、寧ロ其ノ急騰ヲ避ケ適度ノ漸騰ニ導ク程度ニ置キ、其レニ必要ナル限りニ於テ差當リ左ノ如ク措置スルモノトス。

一、我方ノ掌握セル物資ノ配給價格ヲ統制スルコト。

(一)我方ノ掌握セル物資(其ノ轉形物ヲ含ム)ニシテ價格料金を含ム統制ノ對象トナルベキモノヲ左ニ限ルコト

(イ)米

(南方入荷米及軍票米)

- (ロ) 砂糖 (軍配)
- (ハ) 食用油 (〃)
- (ニ) 煙草 (〃)
- (ホ) 燐寸 (〃)
- (ヘ) 小麥粉 (興亞院)
- (ト) 棉布 (〃)
- (チ) 石炭 (〃)
- (リ) 電力料 (〃)
- (ヌ) 瓦斯料 (〃)
- (ル) 水道料 (〃)
- (ヲ) 電話料 (〃)
- (ワ) 電車賃 (〃)
- (カ) 上海中央卸賣市場取扱品 (上海特務機關)

(二) 右物資ノ供給原價ヲ原則トシテ當分(差當リ尠クトモ三箇月間)引上ゲザルコトトシ且右ノ旨聲明スルコト但シ物資ニヨリテハ(例ヘバ石炭)若干現在價格ノ引下ゲヲ行フコト。

(三) 右物資ノ供給原價ヲ基礎トシテ市中小賣價格ヲ決定シ且ツ卸賣ヨリ小賣ニ至ル一貫シタル配給組織ヲ作ル

コト。

(四) 右物資ハ夫レ夫レ供給源ヲ異ニシ其ノ配給價格ノ統一の統制ヲ困難ナラシメ居ルニ鑑ミ關係當局代表ヨリ成ル統一配給調整委員會ヲ設クルコト。

關係當局ハ其ノ供給スル物資ノ名稱、月額配給量、供給原價及小賣價格等ニツキ同委員會ニ通告スルコト。

(五) 統一配給調整委員會ハ右通告ヲ受理スルト共ニ、總領事館、共同租界工部局、佛租界工董局及上海特別市政府等ノ經濟警察又ハ其レニ準ズル機關ト常時連絡シ、要スレバ統一經濟警察ノ組織ヲモ考慮シ、上海地區一體トシテ違反行爲ノ嚴重ナル取締ヲ行フコト。

二、一般物資ノ小賣價格ヲ統制スルコト。

(一) 一般物資トハ一ノ(一)掲記ノ物資以外ノモノヲ指スコト。

(二) 右物資ハ最高公定價格制ノ如キモノヲ布クコトナク、主トシテ暴利取締ノ見地ヨリ不當高價格ヲ取締ル程度ニ止ムルコト。

(三) 虹口其他ノ軍票建小賣價格ハ成ルベク軍票及儲備券ノ兩建(但シ軍票十八圓對儲備券百元嚴守)トシ上海地區全體トシテノ物價平準化ニ對シ併セテ不當高價格取締ニ便スルコト。

三、速カニ上海對奧地間ノ物資交流ノ促進(コレニ基ク奧地生産ノ增強ヲモ含ム)並ニ當地生産ノ增強策ヲ講ジ以テ物資供給力ノ増大ニヨル物價安定ヲ計ルコト。

二、說 明

本年二月中旬ニ於ケル軍票ノ儲備券リンクヲ發端トシテ儲備券ニヨル中支通貨統一ノ事業ガ急進展シ、六月一日以降舊法幣ノ儲備券ニヨルニ對一全面交換ノ斷行ニヨリテ其ノ結了ヲ見ントシツツアルハ周知ノ如クナルガ、其ノ間儲備券ニ對スル舊法幣ノ暴落ヲ契機トシテ一般物價ハ舊法幣建ニ於テハ勿論儲備券建ニ於テモ著シキ昂騰ヲ示スニ至レリ。

右ノ現象ノミヲ見レバ物價ノ昂騰ハ通貨事情ノ變動ト因果關係アルモノノ如クナレドモ眞實ハ必ズシモ然ラズ。舊法幣ノインフレーションハ既ニ舊法幣建物價ノ暴騰ヲ必至ナラシムル素因ヲ内包シ僅カニ英米兩國ノ爲替維持、物資供給並ニ物價統制ノ庇護ニヨリテ極端ニハ之ヲ曝露スルニ至ラザリシモノナリ。大東亞戰爭後舊法幣ニトリテノ斯カル爲替上及物資輸入上ノ支柱ハ消滅シタリ。龐大ナル舊法幣流通ノ下、物資ノ現有ストック量ニ限リアリ、且對奧地並ニ對共榮圈各地間物資交流ノ促進モ當地生産ノ増強モ遽カニ其ノ成果ヲ期待シ得ザルモノトスレバ、舊法幣建物價ノ昂騰ハ早晚不可避ナリ。舊法幣ノ儲備券ニヨルニ對一全面交換ハ寧ロ此ノ果テシナキ舊法幣建物價ノ昂騰ヨリ中支占據區物資ヲ解放シ、物價安定ノ基礎條件ノ一ヲ我方手中ニ收メントシタルモノニ外ナラス。因果ハ寧ロ逆ナリ。

固ヨリ儲備券ニヨル中支通貨ノ統一ハ物價安定ノ基礎條件ノ一ニシテ、其ノ全部ニアラズ。新通貨一色後ノ新ナル物價ガ物資交流ノ再編成促進、生産ノ復活増強ニ依リテノミ安定面ヲ見出ダスベキモノナルハ言ヲ俟タズ、今後ノ我方主要努力ガ之ニ拂ハルベキハ勿論ナレドモ、而モ其ノ成果ハ必ズシモ遽カニ之ヲ期待シ得ザルモノナルヲ以テ、物價ノ昂騰ハ必至タルベク、茲ニ暫定的ナル物價對策ヲ必要トスルニ至レルナリ。蓋シ物價ノ漸騰ハ必ズシモ之ヲ忌避スベキニアラズ、寧ロ物資交流、生産増強ノ好刺戟トナルモノナレ共、之ガ急激ナル騰貴ハ一般俸給、賃銀ソノ他ノ所得ト乖離シ民生ノ保全ヲ危殆ナラシムレベナリ。

斯クテ右ノ事情ヲ顧レバ、物價ニ對スル施策ノ目標ハ其ノ昂騰ノ機械的抑制乃至引下ゲニ置クコトナク、寧ロ其ノ急騰ヲ避ケ適度ノ漸騰ニ導ク程度ニ置クヲ良シトス。而シテ物價統制ノ效果アル施行ハ一般物價ノ最高公定價格制ノ如キ主トシテ政治力ノ發動ニヨル對策ヨリモ、主要物資ニツキ之ヲ直接配給シ且其ノ配給價格ヲ固定シ以テ一般物價ノ騰勢ヲチエツクスルノ確實制ヲ採用スルニ如カズ。是レ我方方ノ掌握セル物資(其ノ轉形物ヲ含ム)ノ配給組織整備並ニ價格統制ニ主點ヲ置キ、一般物資ニツキテハ精々暴利取締程度ノ取締ニ止メントコトヲ提唱スル所以ナリ。

我方方掌握ノ主要物資ハ軍配組合管下ノ軍票物資、興亞院管下ノ物動物資、上海特務機關指導下ノ中央市場取扱品等上海及中支主要物資ノ大半ヲ含ムモノナルヲ以テ、先ヅ之ニツキ配給組織ヲ整備シ其ノ卸賣ヨリ小賣ニ至ル價格統制ヲ行フハ第一ノ要件ナリ。而シテ右物資ノ最近ニ於ケル頻々タル値上ゲガ一般物價昂騰ニ拍車シ居ル事情ヲ眺ムレバ、鈔タトモ其ノ供給原價ヲ現狀通リトシ當分引上ゲザル事トスルニ非レバ物價對策モ得テ之ヲ口ニスベカラズ。同時ニ夫レ夫レ供給源ヲ異ニスル斯種物資ノ配給價格ヲ統一的ニ統制シ以テ物價統制ノ主要手段

トセンニハ、關係當局代表ヨリ成ル統一配給調整委員會ヲ設置シ、一面物資供給ヲ管轄スル關係當局トノ間ニ物資ノ名稱、月額配給量、供給原價及小賣價格等ニツキ協議決定スルト共ニ、他面物價統制ヲ擔當スル總領事館、工部局、公董局及市政府等ノ經濟警察トノ間ニ違反行爲ノ取締ニツキ常時連絡スルヲ要スベシ。其ノ際物資ノ供給モ物價ノ統制モ上海地區ヲ一體トシテ施策スルニ非レバ實效無カルベキ點ニツキ注意ヲ喚起シタシ。

一般物資ノ不當高價格販賣ヲ主トシテ暴利取締ノ見地ヨリ取締ルベキ點ニツキテハ敍言ヲ要セズ。元來凡テノ物資ニツキ最高公定價格制ヲ布クガ如キハ言ヒ得テ行ヒ難ク、特ニ上海乃至支那ニ於テ其ノ感ヲ強ウスルモノナルガ、唯々暴利ヲ貪ル徒輩ノ取締ハ道義上之ヲ疎カニスルヲ得ズ。一先ツ規定トシテ之ヲ明示シ、必要ニシテ可能ナル限り之ガ取締ヲ行フベキモノトス。

以上ハ中支物價ニ對スル暫定對策ニシテ固ヨリ根本的對策トハ言ヒ難シ。蓋シ物價ハ一面通貨ト物資トノ接觸面ニシテ、他面生産力ト物資トノ關聯ヲ表ハスモノナリ。斯クテ通貨面ニ於テハ儲備券ノ物資ニヨル裏付、軍票價值維持機關ノ儲備券價值維持機關ヘノ轉換、生産面ニ於テハ物資交流ノ促進、上海奧地ヲ通ジテノ生産活動ノ増強ニヨリテノミ儲備券建新物價ノ平衡ハ之ヲ期待シ得ベシ。而シテ右ニ關スル詳細ハ夫レ夫レ通貨、物資交流或ハ産業勞動ニ關スル措置要領ニ述ベタレバ就キテ參照セラルベク、茲ニハ煩ヲ避ケテ再說セズ。

〔參考資料〕

一、中支物價統制要綱試論

(昭和十七年六月一日第四委員會起案)

目次

- 序言
- (一)物價統制ノ目的
- (二)中支ニ於テ可能ナル統制手段
- (三)中支ノ特殊事情ト上記諸政策ノ調和

序言

中支ニ於ケル代表商品タル綿糸藍鳳二十番手ノ最近ノ相場ヲ見ルニ

時期	價格	指數
昨年十一月末	一一、三七〇元	一〇〇
本年二月中旬	一一、六〇〇元	一〇九
三月末	五、二五〇元	一一二
四月末	七、二〇〇元	三〇三

第一款 物資及物價

ニシテ其ノ騰勢極メテ急速ナルハ物價ニ關シ何等カノ施策ヲナスノ甚ダ急務ナルヲ思ハシム。
凡ソ物價對策ノ通貨部面、物資部面及ビ統制機構ノ三方面ヨリ考究スル必要アル處、最近ノ物價高ハ舊正月以後
ニ於テ突如急調トナリタル事實ガ示ス如ク大部分新舊法幣問題ニ端ヲ發スル通貨不安ニ基クモノニシテ、此ノ問
題ノ處理セラレザル限り一切ノ他ノ政策ハ何等ノ效果ヲ期待シ得ザル狀況ニアリ。然レ共一方ニ於テ當地財界ノ
基本狀勢ハ物資部面ニ於テモ亦一般物價高ヲ必至ナラシムルモノアリテ、此ノ方面ニ於ケル對策ヲ忽セニスベカ
ラザルト同時ニ、通貨部面ニ於テモ新舊法幣問題ノ他ニ尙幾多ノ研究スベキ問題アリ。

本論ニ於テハ通貨部面ニ關シテハ所謂新舊法幣問題ハ暫ク之ヲ問ハザルコトトシ何等カノ手段ニ依リ中支若シク
ハ上海地區ガ新法幣ニ一色化セラレルカ又ハ新舊打歩ガ確定セラレ通貨不安ハ解消スルモノト假定シ通貨部面ニ
於ケル他ノ諸方策ニ付テ考究スルコトシ、物資ノ部面ニ就テハ可及的全分野ヲ見渡シ全體的調和ヲ得タル綜合的
方法ノ樹立ニ資スルコトヲ以テ念願トスベシ。而シテ本論ニ於テハ右兩者ヲ通ジ其ノ根本ヲ論ズルニ止メ具體的
細目ニ入ルヲ得ズ、且又通貨物資兩部面ニ於ケル統制機構ノ問題ヲ詳論スルコトモ之ヲ別ノ機會ニ讓ルコトトス
ベシ。而シテ其ノ對策ニ就テハ二年乃至三年ノ先ヲ見透シタル對策モ去ル事乍ラ現下ノ急迫セル事態ニ鑑ミ專ラ
當面ノ對策ニ其ノ焦點ヲ置ク事トスベシ。

(一)物價統制ノ目的

物價統制ヲ爲スニ當リテハ何ノ爲ニ之ヲ爲スヤノ目的ヲ明確ニ意識スル事極メテ肝要ナリ。統制ノ急務ナルヲ感

ズルノ余リ無自覺ニ劃一的物價停止ヲ試ミルガ如キハ場合ニ依リ甚ダシキ弊害有ル事ヲ知ラザルベカラズ。

中支物價政策ノ目標ハ大東亞戰完途ノ一環トシテ中支ニ要求セラルルコロノモノヲ達成センガ爲ノ手段トシテ
考究セラルベキモノナル事言フ迄モ無シ。今此ノ見地ニ立テテ中支物價統制ハ何ノ爲ニ之ヲ爲スヤノ目的ヲ吟味
スレバ、左ノ三點ニ歸着スベシ。

一、最低限度ノ要求トシテ民生ノ保全治安ノ維持ニ支障無カラシムル事

二、再編成途上ノ中支就中上海ニ於テハ種々ノ企畫的施設ヲ必要トスルトコロ其等ニ對シ其ノ據ツテ立ツベキ基
礎ヲ與ヘ計畫的施策ヲ可能ナラシムル事

三、大東亞戰下ノ中支ガ果スベキ主要役割タル物資獲得ノ要求ニ應ジ就中長江筋農産地ノ生産増強ト其ノ出廻リ
確保ニ資スベキ事

右三個ノ要請ノ中第一ノ民生保全及治安維持ノ要求ヨリ見レバ中支就中上海ノ物價ハ低位ナルヲ可トスルコト論
ナキ處ニシテ能フベクンバ現在ノ物價ノ或ル程度ノ引下ゲヲ希望スベキ筋合ナリ。第二ノ要請タル經濟基調安定
ノ要求ヨリ見レバ物價ハ今後不動ナル事ヲ理想トスベシ。第三ノ要請タル生産ノ増強並ニ出廻リ確保ノ點ヨリ見
レバ物價ハ必ラスシモ之ヲ低位ニ押ヘル事ヲ得ズ、此ノ分野ニ於テ最モ工夫ヲ要スル次第ナリ。

偕而以上ノ諸要求ハ之ヲ現實ノ施策ニ適用スルナレバ必ラス相互矛盾撞着スベキヲ以テ物價統制ノ要諦ハ之等
諸要求ノ比重ヲ考慮シ事ノ前後緩急ヲ見透シテ其ノ間圓滿ナル調和ヲ得タル方法ヲ發見スルニ有リト言フベシ。

(二) 中文ニ於テ可能ナル統制手段

物價統制ヲ爲スニ當リテハ先ヅ統制者ニ與ヘラレタル手段ヲ吟味研究シテ有效ナル手段ノ發見ニ努力スルト同時ニ其等ノ手段ノ實施可能ノ程度ヲ豫メ明白ニ意識シテ統制者トシテ先ヅ自己ヲ知ルノ用意アルコト肝要ナリ。惟フニ目下ノ中支ニ於テ我等ニ與ヘラレタル統制手段ハ寧ロ甚ダ極限セラレタルモノニシテ中支物資統制ト言フモ要スルニ上海地區ニ於テ一定ノ限ラレタル範圍之ヲ爲シ得ルニ過ギズ。而シテ奧地ニ對シテハ買付物資ノ價格ノ適正化ヲ計ル事ガ殆ンド唯一ノ可能ナル施策ナリ。

以下先ヅ上海ニ於テ可能ナル統制手段ヲ通貨面及ビ通貨兩面ニ分チテ研究シ次デ奧地物資買付價值段ノ適正化ニ論及スベシ。

一、通貨部面ニ於ケル統制手段

一、通貨放出ノ抑制

現在中支ニ於ケル通貨ノ多量ナル放出ハ軍ノ現地購買、差押へ敵産ノ買收、對日輸出品ノ購入ノ三者ニ基ク。右ノ放出ガ頗ル多量ニ上ル事ハ勿論ナレ共例ヘバ之ヲ本邦ニ於ケル軍擴張ニ伴フ巨大ナル財政インフレーションニ比スレバ其ノ規模必ラズシモ大ナラズ。而シテ右三者ノ内軍ノ現地購買ヲ除キテハ其ノ放出量ハ我方方ノ裁量ニ依リ之ヲコントロールシ得ル性質ノモノタルコトハ甚ダ有利ナル點ト言フベシ。

但シ上記三者ヲ通ジテ其ノ要求ハ大東亞戰完遂ノ目的ヨリ見テ中支物價抑制ノ要求ニ優先スル場合頗ル多キヲ以

テ、中支物價對策ノ見地ヨリ其ノ放出ノ規正ヲ求ムルハ却ツテ主客顛倒トナル事アルヲ忘ルベカラズ。依而此ノ分野ニ於テハ所詮徹底シタル施策ハ之ヲ期待シ得ザルモノト言フノ外ナシ。

二、過剩購買力ノ吸收

過剩購買力ノ吸收ハ物價抑制ノ見地ヨリ見テ甚ダ有效ナルノミナラズ、現地通貨獲得ノ要求ヨリスルモ極メ肝要ナリ。其ノ手段トシテ考ヘラルルモノヲ列舉シ其ノ實施ノ能否ヲ研究スレバ次ノ如シ。

(イ) 公債及債券ノ發行

公債發行ガ過剩購買力吸收トシテ第一ニ考ヘラルル正統派的手段タルハ言フ迄モナシ。其ノ發行主體トシテハ南京政府工部局等ヲ舉グベキ處通貨問題紛糾セル今日ニ於テハ遺憾乍ラ殆ド其ノ可能性ヲ斷タレタルガ如シ。尤モ公債發行ニ代ル手段トシテ、邦人銀行若クハ本邦有力商社ノ信用ヲ利用シテ短期ノ社債ヲ發行セシムルノ途、及ビ軍票ニ對スル華人ノ買氣ヲ利用シテ本邦公債ヲ當地ニ於テ華人ニ賣却スルノ途ハ之ナキニ非サルベシ。右ノ場合證券面ヲ圓價トシテ不安ナル法幣ヨリ逃避セントスル華人要求ヲ利用セントスルニハ爲替技術上若干ノ工夫ヲ必要トシ、又當地ノ高金利ノ負擔ヲ回避セントスル爲ニハ割引可能性ノ賦與ニ付特ニ工作スルコトヲ必要トスベシ。

右ノ外富籤付債券ノ發行等アルモ要スルニ末稍的手段ニシテ多クヲ期待シ得ザルモノト認メラル。

(ロ) 本邦有力商社株式ノ華人ヘノ開放

在支若シクハ在日ノ邦人有力商社ノ株式ヲ華人ニ開放スルトスレバ、圓價ヲ現在ノ特別圓並ノ十五圓ト見ルモ

一億元ヲ得ル爲ニハ僅カニ一千五百萬圓ヲ以テ足ル計算ナリ。假リニ中支那振興株式會社ノ拂込資本金四千五百萬圓ト同程度ノ開放ヲ爲ストセバ優ニ三億元ノ資金ヲ吸收シ得ベク此ノ手段ガ甚ダ有效ナルハ論ナキトコロナリ。開放スベキ株式トシテハ邦人商社ノ外ニ軍管理下ノ敵性商社ノ敵性國人所有部分ヲモ舉ゲ得ベク、而シテ此ノ關係ニ於テハ上海株式取引所ヲ再開センムル事ガ頗ル有力ナル補助手段トナルベキ事ハ注目ノ要アリ。開放株式ガ圓價ナル場合ニハ爲替技術ノ工夫ヲ必要トスルコトハ公社債ノ場合ト同様ナリ。

(ハ) 金塊ノ賣却

内地金塊買上相場ト當地金條相場ノ兩者ヨリ採算スレバ僅カニ一千萬圓ノ金塊賣却ヲ以テ優ニ二億元ノ舊法幣對價ヲ獲得シ得ベク前記邦商株式ノ開放ニモ優ル有效手段タリ。問題ハ市場ノ吸收力如何ナルモ(一)ニ述ベタル我方ノ資金放出旺盛ニシテ市場ニ遊資横溢スル時ハ自ら吸收力モ増大スル關係ニアル事注目ヲ要ス。

尙金條ニ關シテ忘ルベカラザルハ其ノ値段ガ一般物價ノ指標トナル事ニシテ華人ハ金條ノ騰貴ヲ眺メテ一般物價ノ買漁リヲ爲ス傾向アリ。故ニ我方ノ金塊賣却ニ依リ金條値段ヲ低位ニ保ツ事ヲ得バ一般物價維持ニ對シ極メテ效果アル次第ナリ。

(ニ) 預金ノ吸收

本邦ニ於テハ預金吸收モ亦貯蓄獎勵ノ題目下ニ相當ノ役割ヲ演ジツツ有レ共當地ニ於テハ本邦銀行ガ華人預金ヲ吸收スル事ハ其ノ多キヲ望ミ得ズ華人銀行ガ預金吸收ヲ爲ストモ本邦ニ於ケルガ如ク之ヲ以テ公債ヲ引受ケシムルガ如キコトハ不可能ナルヲ以テ總ジテ當地ニ於テハ預金吸收ハ過剩購買力吸收上左迄有力ナル手段トハ

認メ難シ。

三、銀行ヲ通ジテ爲ス資金統制

邦人銀行ノ法幣資金ハ既ニ完全ニ當局ノ統制下ニ有ルヲ以テ之ヲ強化スベキ余地ナシ。華人銀行ニ對シテハ目下ノトコロ協調ヲ求メ居ル程度ニテ敢テ統制ヲ加フル迄ニ至リ居ラザルヲ以テ一應ノ理念トシテハ資金統制ノ餘地アルモノト認メザルヲ得ズ。殊ニ最近銀行ニヨル物資買溜ノ頗ル旺盛ナルヲ傳ヘラレ、中ニハ其ノ目的ヲ以テ銀行ヲ設立スルモノスラアリト云ハルルニ於テハ此ノ方面ニ於テ施策スルノ急務ナルヲ認ムル論者ハ少カラサル實情ナリ。然レ共内地ニ於テ資金統制ガ頗ル重要視セラルル所以ハ投資ノ方向ヲ國家ノ企劃性ニ一致セシメントスルコトニ重點アル爲ニシテ當地事情トハ趣ヲ異ニスルノミナラズ、物資買付資金ノ如キ商業的資金ヲ統制スルコトハ至難ニシテ此ノ方向ニ深入リスルトキハ却テ經濟活動ヲ萎微セシムル結果トナルコトヲ惧ル。依ツテ將來ニ於テモ此ノ分野ニ於テハ前記(二)ニ述ベタル過剩購買力吸收ニ關シ我方ガ施策ヲ爲ス場合夫レニ協力セシムル程度ヲ以テ足レリトスベキガ如シ。尤モ新銀行ヲ設立スルコト等ヲ許可制トスルガ如キ程度ノ統制ハ即時實施スベキモノナルベシ。

四、軍票トノ比率ノ確定

中支通貨ガ新法幣ニ統一セラレタル場合新法幣價值維持政策トシテ最モ有效ナルベキハ軍票トノ比率ノ確定ナリ。若シ今後軍票ニ對スル新券ノ價值ガ低落ヲ重ヌルニ於テハ到底新券物價ヲ維持スル事ヲ得ズ。依而新舊法幣問題解決ノ後ハ對軍票ノ一定率ニ依ル可及的自由ナル交換ヲ許容スルコト物價政策上缺クベカラザル要件ナリ。

但シ今後ノ見透ヨリ言ヘバ、物價維持ニ關シテ凡ユル施策ヲ施ストモ尙其ノ漸騰ハ免レ得ザルベキニ依リ、軍票ノ現地購買力ハ漸減シ軍ノ經理トシテハ次第ニ困難ヲ加フル事ヲ豫想セザルヲ得ズ。若シ其ノ際軍票ノ對法幣價值ノ引上ゲヲ圖ルトセバ即チ軍經理ノ利益ノ爲ニ中支物價ノ安定ヲ犠牲ニスルモノニシテ、其ノ事ノ輕重ヨリ見テ吾人ハ之ヲ贊スル能ハズ。軍經理ノ所要ハ之ヲ他ノ手段ニ依リテ達成スル道ヲ開カレン事ヲ希望セザルヲ得ザル次第ナリ。

五、他地域トノ爲替交流ノ開始

凡ソ通貨ハ對内購買力ヲ代表スルノミナラズ對外購買力ヲ代表スルモノタラザルベカラザルヲ以テ若シ今後本邦其ノ他共榮國各地ニ對スル現在ノ梗塞セル爲替交流ヲ疎通スルコトヲ得ルトセバ其ノ事自體既ニ通貨價值維持ノ極メテ有效ナル手段タリ。今日往時ノ所謂自由爲替ヲ希ミ得ザル事ハ勿論ナレ共統制下ノ制限セラレタル爲替交流ト雖モ尙且ツ其ノ通貨ニ國際性ヲ附與スルモノトシテ對内價值ノ増強ニモ役立つモノタルナリ。

今若シ中支通貨ノ對日本圓相場ヲ確定シ得ルトセバ其レニ優ルモノナキ事勿論ナラ、對日相場ノ確定ハ北支圓元バーノ轍ヲ踏ムモノニシテ本邦ニ對シ重大ナル負擔ヲ課スルニ非レバ有名無實ニ陥ル事必然タリ。依而現狀ニ於テハ對日及ビ共榮國ノ爲替交流開始ヲ以テ満足シ相場ノ確定ハ希ミ得ベカラザルモノト認ムベキナリ。

二、物資部面ニ於ケル統制手段

一、生産ノ増強

凡ソ物價統制問題ニ於テ其ノ最根本ノ方策ハ生産ノ増強ニ有ル事言フ迄モナシ。物價統制ヲ通貨部面ニ於テノミテモ其ノ方策ガ單ニ最高價格ノ決定乃至配給統制ノ範圍ヲ出デザルニ於テハ尙事ノ中核ヲ逸セルモノト言ハザルヲ得ズ。要之物價統制ハ究局スル處生産ノ増強ヲ得テ初メテ到達シ得ルモノタル事ヲ牢記スルヲ要ス。

今中支ニ於ケル生産ノ増強ハ如何ナル方面ニ於テ可能ナルヤヲ見ルニ奧地農業振興ト上海ニ於ケル既存ノ諸工業ノ獎勵ノ二大方面ヲ離レザルベシ。此ノ二方面ニ付テ具體的ニ生産増強ノ方策ヲ考究スル事ハ本論ノ範圍外ナルヲ以テ茲ニハ單ニ物價統制策ヲ考慮スル場合凡テノ對策ハ此ノ二方面ノ生産増強方策ト調和スルモノタルヲ要スルノ一事ヲ強調シ置クニ止ムベシ。

二、輸移入ノ促進

輸入ノ促進ガ低物價誘導ニ甚ダ效果有ルベキコトハ論ズル迄モナシ。現在ノ狀況ニ於テハ遺憾ナラ種々ノ制限上其ノ多キヲ望ミ得ザルモ凡ユル機會、凡ユル方法ヲ講ジテ其ノ促進ヲ計ル用意ハ一日モ之ヲ忽ニスベカラズ。而シテ其ノ輸入セラルル物資ハ米、石炭乃至工業原料品等ヲ最モ歡迎スベキコト勿論ナルモ經濟ノ融通性ト聯關性トニ基キ凡ソ物資ノ輸入ナル限り如何ナル物資ト雖必ズ何等カノ方面ニ於テ低物價誘導ニ貢獻スルモノナルコトヲ忘ルベカラズ。而シテ現在共榮國各地域ハ各別ニ統制セラルル結果各地域間ノ輸移入ハ自ラバーター制ヲ帶ビ一對一ニ制限セラルル傾向アレ共、凡ソバーターハ最モ能率低キ取引方法ニシテ又一對一ノ制限ハ必然的ニ取引ノ萎縮ヲ招來スルモノタリ。今英米ヲ對手トシテ乾坤一擲ノ經濟戰ヲ爲スニ當リテハ各地域共相依リ相扶クル大乘の襟度ヲ持シテ速カニ一對一ノ制約ノ如キハ之ヲ脱却シ、其ノ貸借尻ノ決濟ノ如キハ東亞全局ノ綜合的見地

ヨリ一年二年ノ長期計畫ニヨリ處理セラルルノ制度ヲ確立スル必要アリト言フベシ。

三、物資交流ノ圓滑化

物資ハ其ノ使用セラルベキ時ニ其ノ使用セラルベキ場所ニ存在シテ初メテ其ノ價值ヲ發揮シ得ルモノナレバ物資交流トハ取りモ直サズ物資ヲシテ其ノ價值アラシムル所以ナリ。換言スレバ物資ノ交流ハ物資生産ノ一部若シクハ其ノ延長ト見ルベキモノニシテ之ヲ他ニシテハ一切ノ生産モ徒爾ニ終ルト言フモ過言ニ非ズ。現在ノ中支ニ於テハ特ニ此ノ部面ニ付改良施策シ得ベキ事多シ。其ノ具體的考究ハ別論ニ譲ラザルヲ得ザルモ唯茲ニ一言スベキハ中國ノ經濟ハ畢竟スルニ全體的一體ニシテ之ヲ分割統制スレバ其ノ經濟力ハ著シク弱體化スルノ一事ナリ。

四、在庫品ノ計畫的配給

生産増強モ輸入促進モ現實問題トシテ直チニ多クヲ期待シ得ズトスレバ自ラ既存在在庫品ノ計畫的配給ノ必要ヲ生ズル事多言ヲ要セズ。其ノ配給計畫トシテハ消費資材ニアリテハ今後ノ供給ト睨ミ合セテ所謂喰ヒ延シノ意味ニ於テ計畫セラルベク、原料資材ニ於テハ今後ノ生産計畫ニ基キ重點主義的配給ヲ計ルベキモノナル事亦言ハズシテ明ナリ。物價統制ノ見地ヨリ見レバ其ノ配給價格ノ決定ニ當リテ最モ工夫ノ必要アル處其ノ要點ハ價格決定ガ商取引ノ實際ヨリ見テ無理ナラズ關係者ノ企業性ヲ破壊セズ取引ノ運行ヲ阻害セザルコトニアリト言フベシ。何トナレバ其等ハ延イテ生産ノ阻害トナリ所謂角ヲ撓メテ牛ヲ殺スノ結果トナルベキヲ以テナリ。配給ヲ爲スベキ商品ニ付テハ生活必需品就中食料品ノ配給ヲ最モ效果多キモノトナシ、其ノ切符制ニヨル配給ニ迄進ム事ヲ得バ甚ダ可ナルモ其ノ爲ニ必要ナル物資ノ確保及ビ機構ノ整備ノ點ヨリ見テ急速ナル實施ハ期待シ得ザルベシ。依

而現状ニ於テハ寧ロ工部局ニ於テ既ニ實施中ノ食用米ノ配給等ノ強化ニ向ツテ努力ヲ集中スル事可ナルベシ。

五、公定價格制ノ實施

物資統制手段トシテ通常ノ場合先ヅ考慮ニ上ルモノハ此ノ公定價格制ノ實施ナリ。然ルニ價格ヲ公定シテ其ノ違反者ヲ處罰セザレバ公定ハ無意義ト化シ、違反者ノ處罰規定ヲ設ケテ之ヲ實行シ得ズトスレバ寧ロ弊害ノミ多カルベシ。今中支ニ於テ果シテ違反者ノ處罰ヲ以テ公定價格制ノ實行ヲ期シ得ルヤ否ヤ問ハバ何人モ其ノ不可能ナル事ヲ疑ハズ。論者ニ依ツテハ公定價格設定ハ單ニ懸ケ聲タルヲ以テ満足シ其ノ嚴格ナル實行ヲ要求セズトモ尙若干ノ價值アルベシト爲ス者有レ共斯クノ如キハ單ニ法ノ威嚴ヲ損スルノミニシテ寧ロ無之ニ如カザルベシ。依而結論トシテハ中支ニ於テハ前掲(四)ニ説キタル在庫品ノ配給統制ヲ伴フ場合ニ於テノミ價格ノ公定ヲ爲シ其他ノ場合ハ敢テ問ハザル事ヲ可トスルト言ハザルヲ得ズ。蓋シ人の資材不足ノ今日勞シテ效ナキ方策ハ之ヲ實施セザルニ如カザルコト萬々ナルノミナラズ凡ユル統制ハ常ニ生産増強ノ主目的ヲ阻害スル傾向アリ且又人心離反ノ原因トモナルベキヲ以テナリ。

六、思惑取引ノ禁壓

思惑的買占メヲ禁壓スル事ヲ得バ其ノ可ナルヤ論ナシ。然レ共此ノ場合ニ於テモ其ノ禁壓ハ同時ニ物資流動ヲ阻害シ出廻リヲ梗塞シ延イテ生産ノ萎微ヲ結果スルモノタルヲ以テ、中支ノ現狀ヨリ見レバ其ノ禁壓ガ齎ラス利益ヨリハ其ノ弊害ノ大ナリト認メザルヲ得ズ。依ツテ思惑取引ノ禁壓モ亦少數ノ極メテ限ラレタル場合ニノミ之ヲ試ムベキモノト言フベシ。

三、奧地買付値段ノ適正化

以上上海ニ於ケル通貨物資兩方面ノ統制手段ヲ述ベタル處奧地ニ於ケル物價問題ハ上海ニ於ケル諸統制ノ延長トシテ考慮スベキモノ無之ニハ非ザレ共結局ノ處奧地物資買付値段ノ適正化ヲ計ルコトガ奧地物價政策上施策シ得ベキ唯一ノ方策タルモノト言フベシ。此ノ關係ニ於テ考慮スベキ要點ハ

(イ)買付價格ガ一般物價ニ及ボス影響

(ロ)買付價格ガ生産及ビ出廻リニ及ボス影響

ノ二點ナル處(イ)ノ關係ヨリスレバ其ノ低位ナルヲ欲スベキ事勿論ナレ共(ロ)ノ關係ハ一層重要ナルヲ以テ此ノ點ニ重點ヲ置キテ決定スル事必要ナリ。而シテ此ノ關係ニ於テ特ニ注意ヲ要スルハ農産品相互間ノ價格比率ガ適正ナルベキ事ニシテ此ノ點ノ巧ナル按配ニ依リテ例ヘバ小麦ノ耕作ヲ棉花ノ夫ニ移行セシムル等ノ施策モ可能ナルベシ。又農産物對消費物資例ヘバ綿布等ノ如キモノノ價格比率ガ適正ナル事ハ最モ肝要ニシテ此ノ點ノ措置ヲ誤ルトキハ單ニ出廻リノ杜絶ノミナラズ次年度ニ於ケル作付ノ減少ヲ招來スベシ。

(三)中支ノ特殊事情ト上記諸政策ノ調和

以上中支ノ現状ニ鑑ミ可能ナルベキ統制手段ヲ一應吟味シ終リタルヲ以テ(一)ニ述ベタル中支物價統制ノ三大目的ヲ想起シツツ之等諸手段ノ配合調和ニ就テ一言シ之ヲ以テ本論ノ結論トスベシ。

物價統制ノ三大目的中第三ノ生産増強ノ見地ガ最モ重ンゼラルベキモノナル事ハ既ニ述ベタル通りナレ共最近ノ

物價狀勢ヨリ見レバ民生ノ保持乃至治安ノ維持ノ見地ニ立ツ物價抑制ノ必要ハ頗ル顯著ナルモノアリテ之ニ對スル施策ハ遷延ヲ許サズ。

而シテ目下ノ中支特殊事情トシテ特ニ注意スベキモノハ

(イ)中支就中上海ハ最近迄所謂自由主義ノ經濟ノ本據タリシ所ニシテ其ノ統制經濟ヘノ移行ハ到底一朝一夕ニ之ヲ望ムベカラズ。若シ統制經濟組合ノ完備ヲ俟ツテ初メテ可能ナルガ如キ物價統制策ヲ實施セントスルニ於テハ其ノ手遅レトナルベキ事明瞭ナリ。

(ニ)現地ノ我方諸機關ノ構成ハ多様ニシテ一元的施策ニ不便ナル事情アルノミナラズ、工部局公董局トノ關係、國民政府トノ關係亦錯雜シ居ル事ハ物價統制上ニ於テ急速ニ徹底シタル方策ヲ實施スル事ヲ不可能ナラシメルモノナリ。

(ハ)我方威令下ノ地域ハ必ラズシモ廣大ナラズ敵地ト見ルベキモノト占領地トハ時ニ交錯シ居ルノミナラズ我方施策ノ對象トシテ眺ムベキ所謂中支ナル概念ノ中ニハ軍事上ニ於ケル敵地ヲモ包含セシムル必要アル事ハ物價問題ヲ考究スル場合ニ於テ之ヲ忘ルベカラズ。

(ニ)中支經濟工作ノ行フベキ途ハ結局奧地依存ニシテ奧地農産品ヲ買付ケテ軍ノ所要ニ充ツルト共ニ對日、滿北支向輸出ヲ爲サントガ主要目的ナリ。而シテ奧地物價買付ノ爲ニハ奧地ヘ供給スベキ消費物資ノ生産ヲ必要トスルヲ以テ其ノ爲ニ上海ノ既存諸工業ヲ活用シ而シテ能ク可クシバ之ヲ南洋方面ニモ輸出シテ奧地ニ産出セザル原料資材ヲ南方諸國ニ求メントスルコトガ其ノ究局ノ狙ヒナリ。

以上ノ諸事情ヲ考慮シツツ曩ニ述ベタル各種ノ統制手段ヲ通觀シ全體ノ調和ノ上ニ立チタル指導理念ヲ追求スレバ凡ソ次ノ六項ニ到達スベシ。之ヲ以テ本論ノ結論トセン。

(一)生産ノ増強就中奥地物資ノ出廻リヲ主眼トスベキモノナルヲ以テ統制手段ノ相互間ニ於テ矛盾ヲ生ズル場合、例ヘバ資金難ニ依リ休業中ノ工場ニ資金ヲ供スルハ生産増強ノ見地ヨリハ賛成スベキモ資金放出抑制ノ見地ヨリハ之ヲ禁壓スベキモノナル等ノ場合ニハ必ラズ生産増強ノ要求ヲ優先セシムルヲ要ス。同様ノ事ハ在庫品ノ計畫的配給、公定價格制、思惑取引ノ禁止等ノ各局面ニ於テ屢々發生スベキモ決シテ統制ヲシテ統制ノ爲ノ統制ニ終ラシメザル要ス。

(二)差シ當リ物資交流ノ圓滑化ヲ計ル事ニ重點ヲ置クベシ。何トナレバ物資ノ交流ハ生産ノ一部ト見做スベキ事肝要ナルノミナラズ、資材難ノ現狀ニ於テ他ノ生産増強手段ハ容易ニ達成シ難キニ拘ラズ此ノ局面ノミハ單ニ爲政者ノ技術ヲ以テ達成シ得ベケレバナリ。

(三)右二點ヲ最重要視シタル上、之ニ妨ゲトナラザル範圍ニ於テ通貨部面及物資部面ニ於ケル通常ノ統制手段、例ヘバ「銀行ヲ通ジテ爲ス資金統制」「公定價格制ノ實施」「思惑取引ノ禁壓」ノ如キ施策ヲ爲スベシ。

(四)通貨部面ニ於ケル「軍票トノ比率決定」「他地域トノ爲替交流ノ開始」「物資部面ニ於ケル「輪移入ノ促進」等ハ夫々獨立ノ政策ナルヲ以テ固ヨリ何等ノ顧慮ナク全力ヲ擧ゲテ其ノ實現ヲ計ルベキモノナリ。

(五)通貨數量統制ノ分野ニ於テハ資金放出ノ規制ニ多クヲ期待シ得ズトスレバ資金回収ノ部面ニ最大ノ努力ヲ傾ケ放出量ノ大半ハ之ヲ回收シ得ル如ク施策スルコトヲ理想トスベシ。尤モ生産増強策ガ成功スレバ其ノ程

度放出過剩ハ意トスルニ足ラザルニ至ルベキコトハ云フ迄モナシ。

(六)上海ノ物價ハ民生ノ保全及治安維持ノ諸點上、速カニ能フ限り之ヲ抑制セサルベカラザルモ奥地物資買付値段ハ上海物價トノ價格比ニ於テ農民ノ農產物賣却ヲ刺戟スル程度高位ニ保ツベク其ノ結果上海物價ヲ更ニ昂騰セシムルガ如キ惡循環ヲ生ズルモ已ヲ得ズ。何トナレバ奥地物資ノ無理ナル安價買付ハ生産萎縮ノ自滅手段ナルヲ以テナリ。但シ此ノ如キ事情ヲ生ゼザラシムルコトガ物價統制ノ目的ナルハ言フ迄モナシ。

二、中支物價問題試論

(昭和十七年七月一日第四委員會起案)

目次

序言

- (一)通貨面に於ケル新事態ニ基ク中支經濟界制約
- (二)中支經濟工作ノ基本方向ト物價統制ノ目的
- (三)我方行政力ノ限界
- (四)物價統制ノ基本的方向

序言

通貨問題ガ二對一全面交換ノ完了ニ依リ一應ノ段階ニ到達シタ今日當面ノ問題ハ物價統制デアル。此ノ問題ヲ論

ズルニ付テハ前提トシテ先ツ通貨面ニ於ケル新事態ハ今後ノ中支經濟ニ對シ如何ナル制約ヲ與ヘルカヲ豫想シ次ニ右ノ制約ノ下ニ於テ我方經濟工作ノ基本的方向ハ如何様ナルベキカラ明確ニシ第三ニ右二點トノ關係ニ於テ中支物價統制ノ目的如何ヲ研究シ第四ニ物價統制ヲ爲スニ付テノ我方ノ行政的能力ノ限界ハ何ノ程度デアアルカヲ判定スル事ガ必要デアアル。

依而本論ニ於テハ章ヲ追フテ右ノ諸點ヲ研究シ然ル後之等ノ研究ニ立却スル全體的措置ニ述ベルコトトスル。

(一)通貨貨ニ於ケル新事態ニ基ク中支經濟界制約

通貨面ニ於ケル新事態下ノ中支經濟ハ次ノ如キ根本的制約ヲ受クルモノト觀察スル。

一、上海、南京等全面交換實施地區ハ舊法幣經濟ト隔絶スル。其ノ程度ハ通貨面ニ於テ今後ノ新舊法幣ノ交換ヲ認メル程度如何ニ依ツテ強弱ガアルガ上海、南京等流通禁止ヲ行ツタ地區ニ於テハ今後金融業者ニ依ル新舊法幣ノ交換乃至ハ奧地向舊法幣送金ノ如キハ勿論許サレザルトコロデアアル。從ツテ新舊兩地區ノ隔絶ハ頗ル強イモノト見ネバナラス。

二、我方ハ舊法幣經濟ト一應絶縁スルノデアアルカラ今後奧地物資買付ニハ我方方生産物資ノ直接ノ裏付ヲ必要トスル事態ヲ現出スルデアラウ。

(我方方舊法幣ヲ所有スル間ハ勿論夫ヲ以テ奧地物資ヲ買付ケ得ルガ其ノ總量ニハ限りガアラウ)

三、奧地ガ新法幣地區トナルニ從ツテ新法幣ニ依リ奧地物資ノ買付ガ出來ル様ニナル事ハ勿論デアアルガ其ノ時迄

ハ未ダ相當時間ガアルノミナラス新券ノ擴充其ノガノモ實ハ我方方生産物資ノ裏付ナシデハ出來ル事デハナイト思ハネバナラス。

四、右ノ新舊兩地區ノ隔絶ハ恰モ曾テ軍票圖ガ法幣圖ニ對立シタト同様デアアルガ今後ノ新舊兩地區ノ隔絶ハ軍票ノ場合ヨリモ強イト見ネバナラス。何トナレバ軍票ノ場合ニハ本邦銀行ニ依ル廣汎ナル統制賣買ガアリ其ノ外ニモ錢莊ニ依ル交換ガ著シク發達シテキタガ今後舊法幣流通禁止區域ニ於テハ錢莊ノ交換ヲ認メル事ヲ得ズ僅カニ其ノ周邊ニ於テ之ヲ默認スル程度デアアラウシ本邦銀行ノ交換モ亦勿論期待シ得ナイカラデアアル。

五、新舊兩地區ノ隔絶ガ甚シイトスレバ兩地區ノ物價モ亦自ラ相離レタモノトナラウ。從ツテ物價面ニ於テハ復數價格ノ可能性ヲ生ジ配給面ニ於テモ特殊ナル考慮ヲ拂フベキ事態トナルダロウ。

(二)中支經濟工作ノ基本方向ト物價統制ノ目的

中支經濟工作ノ根本ノ狙ヒハ大東亞戰完遂ノ爲ノ物資獲得ニアル。其ノ物資ハ奧地生産ヲ主トスル。然ルニ奧地物資獲得ノ爲ニハ今後見返リ物資ヲ缺クコトヲ得ザル状態ニナツタトスレバ將來ノ奧地物資獲得量ハ日本及ビ共榮園地域ヨリ供給量ト上海自體ノ生産量トノ總和ヲ出デナイコトトナル。

前者ノ供給ヲ何ノ程度受ケ得ルヤハ中央ニ於テ中支物資獲得ノ必要性ト見比ベテ經濟作戰ノ根本問題トシテ決定サレルトコロニ俟タネバナラス。從ツテ中支トシテハ其ノ第一ノ關心事ハ上海自體ノ生産量ヲ増大スルコトニアラネバナラス、次ニ其ノ生産物資ト日本及ビ共榮園地域ヨリ供給セラルル物資トノ總量ヲ最モ有效ニ活用シ最大

限度ノ奥地生産物資ヲ獲得スル事デアラネバナラス。物價統制ノ必要モ亦右ノ基本方向ニ基クモノデアツテ其ノ目的ヲ要約スレバ次ノ三點ニ歸着スル。

- 一、最少限度ノ要求トシテ上海ノ民生保持ニ支障ナカラシムルコト
- 二、必要ナル範圍ノ計畫經濟ヲ可能ナラシメ再生産過程ノ運行ニ支障ナカシムルコト
- 三、對奥地關係ニ於テ最大限ノ物資獲得ニ貢獻スベキコト

(三)我が方行政力ノ限界

物價統制ニ關スル我方ノ行政的能力ノ限度ハ現在ノトコロ甚ダ狭少ナモノデアリ其ノ強化ハ或ル程度可能デア
ルガ尙相當ノ時日ヲ要スルモノト認メネバナラス。其ノ理由ハ(1)我方各機構ノ複雜性(2)人員ノ限度(3)支
那ニ對スル知識經驗ノ程度(4)支那語能力ノ限度(5)租界及比中支一般ノ現状ノ複雜性(6)統制經濟ニ不適當ナ
ル華人ノ國民性(7)抗日意識ノ殘存(8)共榮圈ノ必然性ニ對スル華人ノ認識不足等ノ原因ニ因ルモノデアツテ到
底一朝一夕ニハ如何トモナラナイ。依而物資ノ物價統制ハ右ノ事實ニ即スルモノデナケレバナラス。

(四)物價統制ノ基方的方向

前章迄ニ論ジタ諸點ヲ考慮シテ上海地區ノ物價統制ノ基本的方向ヲ述ブレバ次ノ通りデアル。

一、生産面

上海地區ノ生産増強ハ奥地物資獲得ノ物價ヲ造出スル意味ニ於テ最モ肝要ナモノデアアルバカリデナク生産増強
ハ即チ物價維持策デアル。

今茲ニ生産増強ノ方策ヲ述ブルコトハ其ノ處デナイガ次ノ二ツノ關係ヲ一言シテ置カネバナラス。

(イ)物價統制ニ關スル方策ガ生産増強ト矛盾スル物資ニハ生産増強ニ之ヲ讓ラネバナラス。例ヘバ通貨收縮
ハ物價統制上有利デアアルガ生産資金ノ貸出ハ引キ緊メテハナラヌト言フガ如キデアル。

(ロ)統制ハ必ラス自由ノ束縛即チ多クノ物資ニ生産活動ノ阻害デアアルコトヲ忘レテハナラス。目下ノ場合最
モ有效ナル生産増強策ハ華人ニ對シ我方統制ノ限界即チ彼等ニ許サル自由ノ範圍ト彼等ノ活動ノ向フ
ベキ方向トヲ教ヘ彼等ニイニシアテイブト工夫カトニ依ツテ目下ノ條件ノ下ニ於ケル新分野ヲ開拓セシ
ムルコトデアアルガ其ノ爲ニハ物價維持ノ爲ニスル統制ガ行キ過ギザルコトガ最モ肝要デアル。

二、交流面

物資ノ交流ハ生産ノ延長トモ認ムベキモノデアツテ生産増強ガ即チ物價維持策デアアルト同様ノ意味ニ於テ物資
交流ノ促進ハ即チ物價維持策デアル。中支ノ現状ニ於テ物資交流ノ促進ヲ計リ得ル大キナ分野ハ對奥地關係デ
アツタノデアアルガ通貨面ニ於ケル新舊兩地區ノ隔絶ニ依ツテ全ク別箇ノ事態ガ展開シタ。今後暫ラクノ間ハ對
奥地ノ物資ノ提供ハ奥地生産物資獲得ノ物資トシテノミ之ヲ考慮スベキモノデアツテ其ノ提供ノ方法竝ニ價格
ニ付テハ大イナル工夫ヲ必要トスルガ一般ニ對奥地交流物資ヲ自由ニシテ中支全體ノ經濟活動ヲ昂揚スルトイ
フ方策ノ如キハ暫ラク斷念セザルヲ得ザルトコロデアル。對奥地以外ノ物資交流ニ付テハ今日ハ暫ラク之ヲ措